(日刊)
（明治四十一年十月二十八日第三種郵便物認可）
昭和四年十二月十七日
THE MANSHU NIPPO
（火曜日）
第六千四百八十號
（一）

夕刊
滿洲日報
十二月十六日
發行所 滿洲日報社

支那側が前進を阻止し國際列車遂に立往生
支那軍の非違を蔽はんが爲め
免渡河から引返すか

【ハルビン特電十五日發】國際列車は十五日午後三時、牙克石に向ふ準備中、胡軍長から突然前進中止方を通告し來たので車掌、リリストンの米國領事は海拉爾道尹を介して支那側の戰線下を離れ牙克石以西が危險とあるも吾等は其目的を達成するため其後の保護を支那側に斷探せず故に國際列車の前進を認むべきであると嚴重なる交渉をなしたが何故か支那側は飽くまで引留策をとり已むなく此報を得た八木、ハンソンの日、米兩國總領事は直ちに張學良氏に交渉を開始したが一行は飽くまで其所志を遂行するため決死の覺悟である、支那側が理由なき阻止策に出た原因は

一、軍隊内部の亂脈を知られることを恐れ
二、海拉爾邦人六十名、英米會社銀行員等の被害其他掠奪の跡の暴露を掩蔽せんとすること
三、ロシア側から支那をして海拉爾に入ることを阻止せしめた等の説が下されてゐるが、右はハバロフスクの露支交渉の反映と見られ一行は免渡河に立往生し或はこれより餘儀なく引返さねばならぬかと

露支交渉成否觀測
哈市支那官邊では樂觀

【ハルビン特電十五日發】蔡運升全權一行は十三日午後四時半ハバロフスクに到着し驛にはシマノフスキー氏が出迎へ驛頭に於て兩國全權は外交的辭令を交換し愈々十四日から正式會議を開催したのであるが、會議の進行は樂觀三樣の觀測が下され一部では一週千里に交渉は解決すると報じ他方では雙方の意見に相當懸隔あり樂觀を許さずと稱し、ロシア側は幾分讓歩をせぬ限り早急に解決することは至難であると説くものあり、樂觀者は蔡全權は

二三日中 本協定を成立せしめ歸還の途につくであらうと云ふが當地支那側官邊の消息により と交渉はスラスラと解決し、メリニコフ氏は蔡氏と共にハルビンに來るであらうと語つてゐる從つて

一、國境に於ける兩軍隊の撤退
二、損害賠償問題
三、兩國拘禁者の釋放

の如き大綱原則のみを取極め細目に亘つては勞農側代表がハルビンに

國際聯盟新東洋支部長大内博士

聯盟衛生部防疫醫、醫學博士大内恒氏は今度國際聯盟東洋支部長に榮進しいよ／＼今月下旬任地シンガポールに赴くことゝなつた、大内氏は警視廳の流むだ細菌學の泰斗として有名な人である【寫眞は警視廳衛生部に於ける大内氏】

張行政長官留任決定

【ハルビン特電十六日發】行政長官張景惠氏は呂榮寰氏と共に引責辭表を出したが吉林張作相氏が極力慰留を勸告したので露支交渉進展と其後の狀勢により一先づ留任することになり莫德惠氏も張行政長官の留任を希望し東北政府の對外的面子を保つことに決したと

に到着した後解決し支那禁者の釋放については政治的性質を有するものは

全部釋放 することにし、ストツペドイツ總領事が松浦鎭のロシア人拘禁者を十七日調査總察し釋放の具體的方法を決するであらうと報ぜられてゐる

石軍に降服勸告
飛行機で傳單を撒布

【南京十六日發電】津浦線上の石友三軍の情況偵察に從事中の飛行機報告なりとて航空部側より發表したところによれば石友三軍は今のところ南京攻擊の模樣なく中央軍飛行機は盛んに傳單を撒布し石軍兵士に中央歸順を勸告しつゝありと

行を各機關に通告すると共に近く募債に着手すると

遼寧省内債
二百萬元發行

【奉天特電十六日發】遼寧省政府首席は財政整理のため内債發行計畫中であつたが今回内債二百萬元發

我全權一行
シカゴを見物

【シカゴ十五日發電】若槻全權一行は本日午前九時當地通過、警察署では自動車四臺に私服巡査二十餘名を乘込ませ一行の前後を嚴重に警戒し市中觀光の時も同樣の警護をなした、停車場には木村領事夫妻以下日本在留民有志が出迎へた

軍縮の最大難關は佛の補助艦要求量
日本の對米七割要求に比して
實に十四萬の超過

【東京十六日發電】來るべき軍縮會議の最大難關はフランスの補助艦要求量の如何にかゝつてゐることが最近明瞭となつて來た、即ち海軍會議に於て補助艦の

制限協定 が成立しなかつたのは英、米が佛に對して水上補助艦、潛水艦合計十八萬八千餘噸を押しつけんとせるに對し佛は水上補助艦三十三萬噸、潛水艦九萬噸合計四十二萬噸を要求せるに原因してゐる、然るに最近に於ける佛の補助艦要求は華府會議當時の要求量を遙かに超過し、水上補助艦三十九萬噸、潛水艦十三萬噸合計五十二萬噸にして之を英米假協定の英國保有量五十六萬九千噸に比すれば

九割二分 强となり、英、米が來るべき軍縮會議にて佛に對し英の三割五分即ち十九萬九千噸を押つけんとする意圖から見れば比率に於て五割七分、噸數に於て三十二萬二千噸を增加することになり、而も日本の對米七割要求の三十八萬一千噸をも遙かに超過することゝ實に十四萬噸である、來るべき會議に於て此間の

各國主張 殊に佛國の要求態度こそ其成行は重大視さるゝに至つたのである

主力艦のみに關聯した補助艦何等制限なく且に來るべき會議は華府會議とは獨立に不制限に出發點を置き茲に始めて補助艦の英、米均勢を生じ其結果日、佛伊を加へて新たに補助艦の制限

根據薄弱な反對
英米一部の宣傳か
現狀維持

【東京十六日發電】我國の補助艦對米七割要求はワシントン條約に規定された主力艦の六割を增率するものであり又主力艦英、米、日各一〇、一〇、六と關聯して決定したワシントン條約第十九條の太平洋に於ける防備

現狀維持 を變更するものであるとの理由を以て英、米殊にアメリカは我國の七割主張に極力反對してゐるもの如くであるが元來華府條約は主力艦のみを制限したもので補助艦に及ばざるものであり而して太平洋の防備制限は

荻川放談（133）
商賣（其三）

商賣の競爭から、一般小賣商が滿鐵消費組合の撤廢なんかを云ふな、其競爭からだとすれば他にいふべき事があるとは、嘗にも述べたところなるが、くれ／＼も此等のことを戒む、官廳の收入を增加して、之で或る施設をとならばまだしも、消費組合に課税して買ひ、それで業者を囲

まさんとする如き、業者がそれに間むものでないのみか、それは道理が通ふゆえに、世間の同情も小賣商側を去るべし、一體にしても、全體にしても、小賣商は自己の窮況を脱せんとして、業者にのみ盲突く。

◇

そうして自己が時代の趨勢に順應するに、如何の方法を以てすべきやを究むること薄し、そこへ時代の趨勢は、滿鐵會社なく新しき競爭者を送つて來る、殊に滿鐵消費組合のみならんや、新聞紙の報ずるところによると、年が改まると、大連にはチユリン商會や、松坂屋や、白木屋やの滿出を見ると云ふではないか、時代は斯うである、荻川放談は滿日のものなるが故に、滿日が滿鐵の機關紙ぢやとて、滿鐵消費組合の肩を持つのでない、滿洲に於ける邦人發展の爲に、此言葉を費すのである、十連と限らず、こゝ在滿洲邦人小賣商の奮發が大切ぢや。

◇

小賣商ばかりぢやない、まだ一般も序に更に筆を進めると、小に在滿邦人が餘り萎縮し過ぎはせぬか、尤も滿鐵の使命からせば、その縮らるゝに惡い點を見すべきでない、滿鐵は之を知るが故に遂夫は縮らるゝ度に餘り笑ひを見せ過ぎた、それが習ひとなつて、一時は縮るよりも寧ふが如きことにもなり、その惰力からして咲はんが爲に先づ吠えるようなことも行はれ、一にも滿鐵、二にも滿鐵、滿鐵を向ふに廻さねば、在滿邦人ぢやないと云つた惡い氣見も出て動もすると現在の對滿鐵問題にも正鵠を得ぬものがある、之に就きこゝでちよつと或る一支那人の言草を紹介しよう。

◇

それは遣次の〔滿鐵〕値下問題で、在支那人の一言草は、あれだけの値下なら、支那人としては之を一般の問題として取扱はない、生活程度の低き支那人にとりては、此値下とて寔に難有いが、在滿日本人の生活程度からすると、上海どころでは云はずもがな中滿どころでは、一寸の活動見物をも節ゆるれば、そのくらゐの節約は出來る、下駄どころとて往くも石炭を焚き得るものならば日々の菓子や果物の間食を減じても、そのくらゐの節約は出來る、されば云つて、石炭を使ひ得ぬものとて、あれだけの値下からの一般物價低落で、どれだけの利得を受け得ようぞと、氣焔は更に續くのである。

米大統領に對し極力諒解を求む
英に影響せぬ範圍で

【シカゴ十五日發電】若槻全權等は十六日午後二時十五分ホワイトハウスに大統領フーヴアー氏を訪問する筈である、日本全權と大統領との會見は各方面より深甚の注意を拂はれ居り其成行如何はロンドンの本會議に至大の影響を及ぼすやも知れぬが、若槻全權等は此會見に於て出淵大使の下交渉に引續き日本の正當の主張につきフーヴアー大統領の諒解に努むべく大統領の日樣如何で其他の論議を進むるとならう、然し日本全權としてはワシントン滯在中直接イギリスに影響する問題には關與せぬ方針である

定をなさんとするもので日本はまだ曾て主力艦の

六割比率 を補助艦に就て受諾せんとした事なく英、米が今や突如根據薄弱な理由を以て我七割要求を拒否せんとする如きは儘めにせんとする英、米一部の宣傳ならんと政府當局は見てゐる

政友會の對議會策
樂悲兩論に岐る
和戰兩樣の準備せん

【東京十六日發電】政友會は議會開會前に越後鐵道疑獄事件が進展して内閣は崩壞するものとの期待を持つてゐたが、事態は期待を裏切り此儘の狀態を以て議會に入るべき形勢となつたので改めて議會に對

對議會策 を樹て議會に絶對多數を制する在野黨としての戰略と戰略とを整へる必要に迫られるが、大體の意嚮を綜合するに現閣僚の身邊に關する疑獄事件は假令議會開會前に進展せずとも來春早々十日頃より二十日頃にかけて即ち休會明け前迄には必ず一切が明るみに曝け出され内閣は瓦解すべき運命にあるを以て議長候補を始め院内役員常任委員長等も之を考慮に入れ銓衡すべきである

種々意見 は分れ未だ黨としての統一的見解をなす者と一旦議會に入る以上政府は疑獄事件を有耶無耶に葬る戰略上よりしても必らず議會を解散すべきを以て之を豫期として準備すべしと見る者と假令疑獄が進展せずとも議會解散と極つてゐる譯ではない政府は解散するにはそれだけの理由がなければならぬ無鐵砲に黨略上解散すべきでない、殊に外、軍縮會議を控へ、内、金解禁の重大問題を解決すべき時に必要なき解散を斷行するは國政に忠なるものにあらず此點は在野黨としても十分考慮に入れ徒らなる政爭を激成するが如き態度は愼しむべきであると自重論を唱ふる者と兩樣の的確なる態度を決定するに至らず要するに和戰兩樣の態度をとるべし

貴族院各派が政界淨化を叫ぶ
近く運動具體化せん

【東京十六日發電】疑獄事件に對しては同成會方面にても郷誠之助見が强硬に主張されつゝあつて今や政界淨化の氣運は貴族院各派を風靡しつゝあり殊に藤田謙一氏が過般東京商工會議所會頭に再選された事に對しても不快不滿の聲が揚げられて居り來る十八日の同和會の會合に依つて淨化運動が具體化さるゝに於ては此會派は又之に刺戟され相當問題化さるべく勞々貴族院の淨化運動の成行は頗る注目されてゐる

以て對議會策を整へると共に既に時局の推移を注視するの方針を以て方針を練る事となつた

大衆黨の年次大會

【東京十六日發電】日本大衆黨では十五日本年度大會を芝公園協調會館に開會出席せる代議員二百五十名、中央執行委員長麻生久氏議長となり濱口内閣は恰も自由主義の如くなるもその本質は露骨なるブルジヨアジーの代辯者であると喝破して拍手を浴び更に來るべき選擧に於ける無産黨の活動を高調して正午休憩、午後三時半再開暫時間に入り分裂反對同盟（舊無産大衆黨）問題に關する本部報告の質問が出たが、統制攪亂者としてあつさり撤退され五時半散會した、然し十六日の大會には堺利彦氏一派に對する除名取消要求が提出され一波瀾免れぬであらう

一國の代表でもお關所は通せぬ
國境守備支那兵に阻止され
蔡氏一行立往生の卷

◇…露支交渉の全權に表として、ハバロフスクに特派された蔡運升氏の一行を乘せた特別列車が去る十日ハルビンを出發し十一日朝ボグラの國境に到着し愈々これから露領の會議地へと乘込まんとした際、國境を守備してゐた吉林軍丁超氏部下の邊防隊は「この隧道に總司令から何等の命令が來てをらぬから全權であらうが何であらうが通過はまかりならぬ」

と關所止めをした

◇…面喰らつたのは蔡運升代表で「何だい、一國を代表してロシアと交渉に行くを通過せしめぬとは怪しからぬ」と氣色ばんでみてもそれは總に釘で、總司令吉林總司令部の命令が下らぬと一歩も通むことはできない

◇…一行は電話で總司令部に「どうか隧道を通過できるやう命令を出してくれ」と交渉し、總司令部では吉林の張作相主席に打電する

と云ふ大騷ぎ、ヤツと蔡代表の意が通じ第一隧道の石コロが取り除かれたのが十二日午前八時、ホツとした蔡代表は第二隧道を拔け出ると、ハバロフスク市から一行の到着が遲いので途中で何か間違ひが出來たのではないかとシマノフスキー代表が隧道の入口まで出迎へそこで兩代表はシヤンペンの盃を舉げて握手した

◇…支那側全權がボグラ國境一帶の立往生は單に支那ならではみられぬ圖であつたとの話、これは支那軍隊の嚴重な半面も窺はれるが聞くと冒へば命令が行渡つてをらぬ言めである國境の隧道は露支紛爭の發生と同時に支那側は國境を封鎖するため隧道内に爆藥裝置の石塊を充滿し萬一の場合に備へてゐたのであつた（ハルビン特信）

華府の共産黨員政府攻擊の示威
檢束者の釋放を命じた後
フーヴアー大統領の皮肉

【ワシントン十四日發電】當地の共産主義青年多數はスチムソン國務長官の露支紛爭に對する態度抗議書の失敗や排日暴動に對する米官憲の非を鳴らした多數の旗を立てゝ大統領官邸の周圍を練り廻つて政府攻擊の大示威運動を試みた官憲側はこれを追ひ散らし内三十名以上を無許可隊伍行進の理由で檢束した、フーヴアー大統領は此事を聞くや直に檢束者の釋放を命じ左の如く皮肉つた

若い連中を一晩牢屋へ入れることは彼等に「主義に殉じた者」と云ふ名前を極めて廉價に與へることになるばかりだ、彼等は要するに「導き方を過られた者」であるに過ぎぬのだからホームへ歸し親達の膝元へ送り屆けてやれば良いのである

遼陽工場閉鎖は事情止むを得ぬ
その善後策は總裁も考慮
大平滿鐵副總裁談

滿鐵遼陽工場の閉鎖問題は何も最近擡頭したといふ譯のものではない、前から當然今日の運命を免れることの出來ない事情のもとにあつたもので仙石總裁も「よからう」といふことから來年一月十五日限り

閉鎖する ことに決定したのである、遼陽工場が日露戰前露國が建設經營してゐたのを戰後滿鐵に引繼いだもので同工場の建物は頗る工場の機械設備も全く古く又一方大滿鐵として沙河口に工場を新設し設備が最新式によつて完成された今日何も同工場が製作修理等を守ち受けてる事情は滿鐵社内のみならず在滿邦人も充分知悉してゐる筈と思ふ、工場閉鎖は遼陽在住民から云へば

お困りて あらうから遼陽工場の設備が同隊はするが滿鐵といふ大きな立場から見ると沙河口工場の設備が完成して仕事を待つてゐるに拘らず舊式の遼陽工場を新設備に改善して遼陽在住民のためその繁榮を助長せしむるといふ譯にもいかぬ、假りにまた遼陽工場の閉鎖を今後一ケ年延期した所で遼陽在住民永遠の繁榮策が生れるといふことでもあるまい、滿鐵當業の

大局から 見ても遼陽工場を存續せしめるため沙河口工場を遊ばせて置くといふ譯にもいくまいぢやないか、遼陽在住民も充分其の間の事情を酌んで諒とせられたいと思ふ、工場閉鎖については總裁も相當考へを持つてゐられるやうだが將の移轉增改築もせねばなるまい、窯業試驗所長の補充は十六日總裁に相談する積りである、總裁の上京期は大體二十一日出帆のはいかる丸と豫定してゐる

重役會議 は十九日迄に濟む豫定であるから、十日は休養されるんぢやないかと想つてゐる、總裁の十連クラブ會長は十五日御承諾を得た、支那人を入れないから承諾されなかつた譯ではない從來支那人も加入していゝことになつてゐるが只加入者がなかつたまでゝある

滿鐵豫算案けふ提出
關東廳當局へ

滿鐵神鞭理事及び竹中經理部長は十六日午前九時半滿鐵來年度豫算書を携帶し旅順關東廳に提出同日歸連した

人事

▲吉村幸吉氏（國際運輸重役）十六日入港香港丸にて歸任
▲高見三吉氏（大阪商船支店長）同上
▲草間茂登氏（關東廳滿洲候所長）同上
▲有馬邊氏（大連市會議員）同上
▲田丸信俊氏（海事協會員）同上

大觀小觀

國際列車の免渡河立往生は話だけでも寒い／＼。

◇

雪の興安嶺を越えて蒙古の胡風は零下五十度に下る。

◇

それを阻止しやうとするのは支那側か、ロシア側か。

◇

掠奪狼藉の跡は北滿の雪でも掩き消すべくもないか。

◇

これから先は危險、危險と逃げ口上はよいが、然らば海拉爾や、滿洲里の邦人を何として呉れる。

◇

尼港事件の二の舞は先刻御免蒙りたいから。

◇

小幡氏の評判、支那ではよいといふ。日本ではよいから不思議だ良藥は口に苦しか。

◇

良藥といへば上海臨時法院會議で米國が最も支那の要求を拔き鎗した。

◇

支那の現實がかつて來ると、苦藥を呑したくなるのが當然か。

天氣豫報

十七日（北西の風）曇後降雪模樣

各地の温度

	昨日最低	十一時
大連	零下九、七	零下七、〇
旅順	同 八、八	同 一、〇
營口	同一五、五	同 九、〇
奉天	同一四、二	同 八、二
長春	同一五、〇	同 七、四

滿洲共產黨事件公判第四日目開廷

審問中に被告の松良が卒倒 傍聽席女性で賑ふ

滿洲共產黨事件公判第四日目は十六日午前十時より法院一號法廷に於いて開かれたが、當日は神明高女五年生三十七名が石川校長に引率され傍聽に來り其他若い女性の傍聽多く賑めしい法廷に珍しく和かな氣を湛へてゐた

先づ松良一萬太の審問に入り生立に就いて訊問ありマルクス**主義研究**の動機に就いては

仲間と讀書會をやつて居たのであつてマルクス主義をのみ研究したのではなく當時福本和夫の書等讀んでみたが分らず途中で止めた

と陳述し更に裁判長よりマルクス主義とは怎んなものかと聞かれ「分りません」と答へた時松良は卒倒し床板に後頭部を打つて人事不省に陷つたが、傍に居た八幡、秀島等に介抱され廷丁に連れられて**辯護士室**に休憩し裁判長は松良の取調を一時中止を宣して大中島保住の審問に移る、中島は滿鐵大連圖書館から營口圖書館に轉じた經歷を述べ營口に行つてから野球や庭球に熱中したので餘り讀書もせず又マルクス主義に就いても法政學院在學當時下村教授から「マルクス主義とは經濟學に基礎をおいた社會學だ」と聞いたのみで詳しい事は知らぬ

と供述しケルン協議會に就いての事實を前被告同樣否認した、此時松良恢復して出廷、裁判長及び他の被告等に「すみませんでした」と挨拶して椅子を許されて審問に答へ、傭人聯盟を組織する目的に就いては前被告と同樣、我々傭人の利益を擁護する爲めと答へ次いで明晰な口調で

松田さんは九人も家族のある家計**不如意**な中にも當時から我々の爲にも一身上の危險を忘れて盡してくれ松田さんの人格を尊敬してゐた者は私ばかりでなく澤山の人は皆松田さんを慕つて居ましたが、松田さんが收監されてから夫等の人々が家族の爲に寄附金を募集せんとした時多額な金が集つたのですが何故か當時金を集めた人等は馘首されて了ひ家族の許には遂に一錢も屆きませんでした

と力を籠めて松田を**賞揚して** 裁判長より豫審の私有財產制度の否認云々の記錄を讀み上げられ「そんな事の意味も判らないし考へもしませんでした」と否認して下る、次に小林周三は永い間の未決生活に窶れを見せて審問に答へ

三重縣桑名小學校五年生の當時から近所の織物工場に雇はれて苦學を續け貧しい穀物商であつた父にも十二歲の時**死別し** 多くの弟妹と共に育つたが更に十九歲の時工場閉鎖と同時に小學校時代の恩師の世話に依り米滿三十里堡の野田斧吉氏方の農園に雇はれ毎月十五圓貰ふ給料の中から十圓を郷里母の許に送金してゐた生活の苦勞を述べ最初クリスチヤンであつたが其後マルクスに關する本を讀む內信仰を失ひ同時に主人の氣持を害して遂に昨年六月農園を出て**營口に** 松田を頼つて同家に寄寓するに至つた徑路を細々と陳述した

裁判長より豫審終結書を讀み上げられ「そんな難しい言葉は判りません」と答へ更に

お前は改造等を讀んでゐたのだからこんな直譯的な言葉を知らない筈は無いぢやないか

と問かれ「直譯」と云ふ語が解せず傍聽の**女學生等**を笑はせる、次に阿部義照呼ばれ日給六十錢の鐵道省驛手時代より大正十三年一月滿鐵に入社した迄の徑路を述べ昨年末約八百圓蓄つたので上京して早稻田工手學校に入學せんと驛を辭め營口の兄の許に行つてゐたが田中歸男から頼まれてビラ郵送を手傳つて遂に擧げられた事實を陳述する

更にケルン**協議會の**事を聞かれ「ケルンなんて知りませんが松田さんに勸誘され傭人聯盟に入つて居ましたが滿鐵を辭めたので聯盟の方も自然脫會した事と思つてゐました」と答へ十二時閉廷す

昨夕の雪に禍されてまた電信線が不通

陸線全滅で奥地との連絡に苦心を重ねる當局

十五日午後四時に於ける遞信局管內電信狀態は既報の如く瓦子嶺を除く外は各線開通し、電話は大連旅順間三回線のみ開通してゐたが午後四時過ぎより又降り始めた雪の爲めに電信線は瓦大障碍を起し午後十時頃に至り大連東京及大連旅順線を殘し其の他の陸線は再び全部不通となつたので遞信局では大連東京線の大連奉天間を奉天局に切替へ奥地との聯絡に備ふると共に朝鮮方面發着信は長崎線經由內地を迂回せしめて通信の疏通を圖る一方障碍地點には係員を總動員して之が復舊工事に努めつゝあるが昨今の天候では或は回復までには相當長時間を要するかも知れない模樣である、又電話線も旅順線以外の開通は目下のところ見込立たず電信線開通より相當後れるのを免れないと

不可抗力と遞信當局の辯明

復舊の見込み立たず 非難の聲さへ揚がる

空前の大被害を蒙り通信杜絕に陷つた遞信局では不眠不休の努力により十五日午前中に電信の殆ど全部を復舊せしめ、午後中には殘る大連城子疃間の電信と電信全線を開通せしむる見込であつたが昨夜の降雪に一たまりもなく別項の如く電話電信とも再び全部不通に瀕するに至つた、而して之が復舊も目下のところ確實な見込立たず、當局の損害は固より商業上や一般通信上の有形無形の損失は莫大なものであるために斯る事態に陷つたのは遞信局に遺憾の點なきやとの聲を聞くにやつたが專門家の意見當局評せば絕對に不可抗力であると辯明して居る

雨が氷結しその重量で斷線

空前の混亂狀態は遺憾 櫻井遞信局長語る

未曾有の通信混亂狀態に陷つたのは遺憾である、かねてより架線工事には慎重の考慮を加へて居り、十八米突の風速や膝沒の積雪には何等**大被害を**受けたことなく將來も脅威を感じない自信があるが從來にない降雨の氷結には施すべき術がない、この點はかねてより豫想されてゐたことで不幸にして今回而も多くは堅固なる新線がやられた譯である、然しそれが不可抗力であることは今回氷結重量が電線自重の五六倍以上に達した爲め其の重みに堪へ兼ね且つ極度の冷却が電線の弱點を益々脆弱にしたため頻々として斷線したもので線は**電柱を倒し** 電柱は各柱の緊張した均衡を容易に破つて被害を擴大して行つた、なほ電柱と電線子の氷結は送電氣を地下に導いて地點を生じこれが爲にも通信の進行を大いに妨げた譯である

然しご覽の通り局內も從業員も總動員して復舊に死力を盡してゐるから天候がこれ以上に惡化しない限り早急に開通せしむる見込である、次に復舊に要する費用の支辨に就ては繰くりが出來ることになつてゐる、無論**將來も**かゝる被害を豫想されるので十分研究を進むることはいふ迄もないが太線を用ひたり電柱を補強することは經費上實現が困難であらう

◇―雪に埋る師走の街頭―

埠頭の「年末警戒」

昨年よりも嚴重に 愈よけふから開始

恒例の如く埠頭における年末警戒は愈々十六日具體的に成案なり即日施行さるゝ事となつた、即ち本年に比較して到着特產數量は夥だしいもので從つて特に警戒を要する意味から水上署においては警戒期を二期に分ち第一期は廿日迄とし此の四日三人一組の私服巡邏隊二班を編成一班は北大山通海岸より西海岸附近に至る一帶を取締り一班は夜間の出港船舶の取締をなす事となり廿一日以後は一組三人のものを四組編成夜間は深更に至るまで徹底的取締ると同時に埠頭監視係りにおいても既に年末警戒を行ひ二人一組の監視隊を嚴に構內に放つて居ると

雪に凍てついた街に漸く歲晩氣分漂ふ

商店街を彩る歲の市

四谷より馬糞路つゞき枯野哉といつた武藏野に山の手銀座の新裝が出現する世の中であるから大連に浪銀商店の一角ぐらゐが出來たからとて何も驚くことではない、が歲の瀨は街々として明瞭し來り、歲晩氣分は全市に漲溢といふところ、數日來の險惡なる天候にも拘らず、綺めの十五日も過ぎて師走は動く、まづ振り出しは浪速町から、歲の市、大賣出しと兩側には人氣吸取のデコレーション、自轉車、自動車、道ゆく人もいそいそしてゐる、大山通は浪速町のやうに勢町賣出しでなく個々別々に浮び出したやうに賑やかに景氣をつけてゐる、三越なども年末間際といふ物凄振りボーナスの一杯機嫌で何とか行進曲を唄つて隣國たるところも見くはない、伊勢町から紀伊町こゝも全町內が揃つて大賣出しに景氣をつけてゐる、信濃町市場は依然として雜然たる歲末氣分を發揮し、それから常盤橋の電車交叉點場は例によつて歲のあわただしさを示し、それから連鎖商店はなかなかの人出、何とか通りの何とかいふ角の店で、例のマネキンが出演とあつて人の黑山、歲晩といつても未だ十五日過ぎた許り、いよいよとなられば年末の現實氣分に晒られぬ、たゞ物見高い大連人がヅラリと立つ、マネキンの前は更に見出來ぬ、連鎖商店を裏手に廻ると、共進會の跡といつたやうな感じ、半成といはんか未成といつたところである、そして全市に凍てついた歲末氣分である

航空觀測を大連でも始める

中央氣象臺や飛行場と草間所長の打合せ

航空觀測の重要件に關し中央氣象臺並びに各地飛行場と種々交涉中であつた關東廳觀測所長草間茂登氏は十六日入港香港丸で**歸任した**が船中語る

今度の上京は主として航空觀測に關する要件を帶びたもので、特に來年四月よりは三日毎の定期航空が毎日と云ふ樣になるため、これによつて當地測候所の重大性は愈々大きくなつたので航空氣象觀測器を設備する事となり、中央氣象臺等に了解を得て購入契約を果して來たものである、同器は航空に必要な上層の氣流等を觀測する望遠鏡の樣な仕掛のもので今後定期航空路の**發達と**共に非常に重要な役目を果すものである、それに今度は中央氣象臺その他の測候所飛行場等と連絡を計へ際用いる電文の符號に關する詳細な約束をして來た、これは航空事業上一番肝心な事であると思ふ、それに私は所澤その他の飛行場を視察したが航空に關する色々な設備に非常に參考になつた、箱根龜山等にも航空氣象臺が新設されるが、やがて大連を初め空路における重要な地點にはドンドン**設置さ**れねば嘘である、とにかくこれからは私達の仕事は更に忙しくなり更に責任を負はされたのである

貨物列車運行順調

けふ廿個列車到着の筈

吹雪のため大障害を被つてゐた滿鐵線列車運行は十五日夜頃より復舊全線各驛に停滯してゐた貨物列車は順調になり十六日は埠頭到着だけでも二十個列車位を見る豫定で埠頭作業は大繁忙を呈するだらうと見られてゐる

また元の商賣に舞ひ戻つた東亞を振出の女優都さくら

十六日入港香港丸、サロンで記者とキネで女優をしてゐた都さくらが對坐する

「どうして商賣換をしたんです」

「そうしなければならなくなつたんですわ」

「好い人でも出來たんでせう、それとも借金でも出來たんですか」

「いやよ、そんな事はありません だけど前の商賣で來たんでしたら好いけど商賣を換えて來たんではつまりませんわ」

「今度は何處から出ますか」

「北村席からよ、こちは初めてなんですからいじめない樣にして下さいね」

「あなたの主演した何とかの朧月とか云ふ寫眞が今こちらに上映されてゐますよ」

「まあそうですか」

そして都さくらは岡山の藝妓からキネマへ走り出して、また元の左褄へ舞ひ戻つたのである【寫眞はけふ船中の都さくら】

下り貨車中止

十六日午前十時滿鐵々道部に達した報告によれば、昨夜來の吹雪で大石橋驛のインターロッキングがまたまた凍結し上下線の列車運行に多分の支障を來したゝめ下り線貨物列車三個列車の大連發を中止せしめるに至つた

臺灣も同樣不景氣

吉村國際重役談

國際運輸重役吉村英吉氏は約三週間に亘り臺灣における同社支店を視察中であつたが十六日入港香港丸で歸任した、同氏に訪ふと

臺灣支店を視察して來た、臺北高雄に行つたが何と云つても臺灣も緊縮が祟つて不景氣な事と云つたらお話にならぬ、あちらの店を縮小する件、對しては色々批評されると思つたが案外スラスラと運んだ、此等を考へても不景氣ぶりが窺はれるよ、縮小の內容はお話は出來ないが、本社の方に一寸と云ふ方針で進まなくてはなるまいそれに私はこちらの總會に出席しなかつたので其模樣は解らなかつたが順調に行つたのは喜ぶべきである

漁船の難破

損害約六千圓

十三日前よりの大暴風雪のため十二日旅順を出帆した發動機漁船大德丸（十五噸船長本田仲七）は十四日午前二時頃西三山島附近で難破し約六千圓程の損害を受けたが幸ひ乘組員七名はどうやら生命丈は助かつたと

伏見町郵便局電報配達開始

遞信局では伏見町郵便所に電報配達事務を開始し十六日より電氣遊園、大連運動場間一圓の電報配達を初めた

獻金者氏名

十三日以後の獻金左の如し

▲十圓 雙宮町金光教會 ▲三十圓 修養團大連電氣支部 ▲十一圓四十六錢 神明高女三年梅組 ▲十圓 千草町二〇 川井靜 ▲十圓 初音町二五七 平田光雄 ▲一圓 黃金町一五一 森川良子

大連丸延着

大連丸は豫定より遲れ十六日午後三時甲埠頭の西大汽本式碇泊が

入つたが、同船には國際運輸事務局次長杉村陽太郎氏が乘船してゐると

現金を拐帶

市內小崗子福德街二五番地朱洪仁方義弟房昭緣（二三）は十五日午後二時ごろ朱の依賴によつて西崗街一七一番地店益順興へ現金百六十圓小切手百二十圓を預金すべく赴いたが、小切手のみを預金して現金を持つたまゝ何れへか逃走姿を晦ましたので朱洪仁は十五日小崗子署へ取押へ方を願ひ出た

人妻の家出

市內監部通り五一番地小野英夫內縫の美山下芳子（二三）は十五日午前九時ごろ無斷家出したまゝ行方不明となつたので夫英夫は十六日各警察署へ搜査願を出した

靴泥棒檢擧

十五日午後一時ごろ市內尾上町六十番地附近を靴を多數もつて徘徊して居る擧動不審の支那人を小崗子署員が發見本署に引致して取調べたところ此の男は山東省生れ市內奧町九四無職趙慶祥（二六）と稱し靴專門の玄關荒しであることが判明した尙現在までに自白した餘罪數十件に上ると

酌婦逃亡

原籍大阪市當時逢坂町太平樂の抱酌婦加留多事谷本タミ（二七）は本月十三日午前八時頃何氣ない樣子で外出した儘到頭今日まで歸つて來ず十六日大連署へ搜査願を提出したが本人は中肉中脊色黑き女であると

救世軍バザー

西廣場の救世軍家庭團にては十七日十八日の兩日西廣場救世軍會館でバザーを開き子供洋服編物手藝品を一般に賣販く外に市內一流商店の出張もあり市價の一割安にて文房具セト物履物毛糸類を提供すると

平安異香 (201)

葉多默太郎作
中一彌畫

さすらひ（七）

五條通を東へ出抜けて、加茂川堤に立つたおつねは、それから、一、二、三と、柳を數へながら川上の方へ歩いて行つた。

歩いてゐるうちに、妙に氣が沈んで、悲しい氣持になるのだつた。白まゝな浮氣はして來たが、まだ男を寶物にはしたことのないおつねである。

「遂々落ちるところへ落ちてしまつたよ、あたし……」

呟いたが、すぐ、また被衣の襟の中で唇が動いた。

「だが、仕方がないぢやないか、あの生臙の幸坊を落すのは可哀さうだから——さうだね、秋風のせいだらう。秋風つてものは、妙に人の心を滅入らせるものだから——」

四・五、六と數へて七ツ目の柳へ來ると、つゝつゝと、堤の斜面を滑り下りて、

「父ちゃん！ 九六父ちゃんて人の船はこれだね」

葦蔭から灯の洩れてゐる川舟へ呼びかけたと、

「誰だ。大きな聲をしやがつて」

大きないがぐり頭がぬつと出る。

「あんたが、九六さん？」

「さうだよ、お前は誰だ」

「山の内のお龍婆さんから聞いて來たんだがね山の内のお龍婆さん知つてるかね」

「あゝ、判つてゐるよまあ入んな。お龍婆から來たといや、用向も大概知れてゐる。お前も發身が一てんだらう」

「あゝ、まあさうなんですよ」

いひながら、鶏のやうに伸びた九六の手をかりて、ぽんと川船へ飛込んだのがおつねの日納め。何處かに鶏が鳴いて、川面が白め初めるまで姿を見せなかつた。が、九六は出たり入つたり、宵の口から夜中まで、忙しさうに立廻つてゐた。

「おや旦那、またお近いうちに」

といつて漕ぎ出したと思ふと、何歳からか代りの舟を連れて來て

「へい、旦那、お危なうござんす足下に氣をおつけなすつて——いへ滅相もない、嘘など申しますものか、まつたく初心な娘なんで」

ぽんと船の中へ突き落す——といふ按排式。おつねは堤の鄙の中に立つて、

「父ちゃん、ぢや歸るよ」

「おうさうか。で、なにか、今夜も來るだらうな」

「これだけあると二日や三日はもつだらうから、無くなつた頃にまた來るとしようよ」

「慾のねエ野郎だ」

外は川風、ぞつと秋が身にしみて、思はず被衣の襟をしめたが、川船の肌のぬくみを身に感じると、川船のしめつぽい寢床をでも思ひ出したのか、

「厭なもんだね」

ペッと唾を吐いてすたすた歩き出した。

もとの五條通を眞直に西へ、それから八條へ下つて眞西へ行くと

「あ、さうだ」

何時か幸と一緒に來たとのある幸の家の前へ出てゐるのだつた。あひ變らず、葎の茂つた中に門が傾いてゐる。

「可哀さうに。家は潰れて、一家離散か」

呟いて行過ぎようとした時、門の中に一人の男の立姿が見えた。

男は、卒塔婆のやうに、雑草の中にぽんやりと立つてゐるのだつた。どうするでもなく、ぢつと立ちつくしてゐる。

「氣違ひか知ら」

そのまゝ歩き出さうとすると、その足音に驚いて、はつとなつて振返り、おつねを見ると飛出したが、その瞬間、ふと思ひ當ることがあつて、

「あゝ一寸、一寸お待ちよ、兄さん！」

おつねは呼びかけた。

映畫と演藝

松竹映畫の配給問題
浪速館に毎週一本だけ配給

大連映畫界は昨報の如く映畫配給系統に關して各種の流言蜚語が傳へられつゝあつてその内最も映畫界から注目されてゐたのは浪速館が近く松竹映畫のセカンド館となるが如く宣傳されたことでその成行は興味を以て見られてゐたがこの程南帝國館主の關連及び其他關係方面よりの情報により其眞相が明確となつた模様である

即ち今回の松竹映畫に關する運動は元帝國館主の林幸四郎氏及び井上松竹關西支店次長の姻戚關係に當る大檢當屋の吉田氏が中心となつて小田演藝館主と契約をなし浪速館に松竹映畫の全プロを吉田氏より配給すべく計畫したものであるが結局南帝國館主の手を經て來る十七日より毎週一本づゝ二番線松竹の映畫を賃貸にて浪速館に配給することとなり問題は一段落となつたもので上阪運動中であつた吉田氏も昨夜歸連した、尚浪速館にて松竹映畫をプロに編成するH取は未定であるが、帝國館よりの配給豫定は配給開始第一週は右太衛門映畫「三下野郎」第二週は溝田映畫「森の鍛冶屋」第三週は阪妻映畫「近藤勇」である、右に關し南帝國館主は語る

浪速館に松竹の全プロが配給されるといふことは絶對にありません、そして配給は私の手を經ることになつてゐます、いろいろた噂があるやうですが、何れも所謂流言蜚語に過ぎません

噂話

今しばらくは胃はぬの花といふ正月番組の噂に上る作品は▲「ショー、ボート」「四枚の羽根」「レッド、スキン」「キートンのカメラマン」「街の天使」「野鎌王」「ベンハー」が西洋もの▲H本映畫では「三の凱歌」「一条張鐵法」「都會交響樂」「不壊の白珠」「愛染地獄」「摩天樓」「地に歎く者」「情熱の一夜」「大尉の娘」「西南戰爭」等々▲常盤座の第一週プロを播ビラから見ると「ヴォルガ」と嵐寛壽郎の「右門一番手柄」で解説者は里見凌洋氏が光つてゐる▲けふの香港丸で帝キネにゐた都さくらが北村監督に來たが、女優名そのまゝでお披露目といふ設もあるさうだ▲何處迄も興味をそゝり興行價値をつけようといふ作戰ではある

映畫説明雑考（下）

速水一雄

「酔はすこと」は説明技術の内ではこれが最も熟練を要することであり、同時に重要な役割を演じてゐて、説明の巧拙は實にこの如何にあると云つても決して誇張した言葉の綾ではない。

これに就て少し考へて見たい。これは演藝に於ても同様であるが例へば過日上映された「第七天國」の可憐な乙女ダイアンが姉の苛酷な鞭に打たれ、路上に嫋々として悲痛の叫びを上げてゐる、勿論觀衆は乙女に同情して、婦人等は大半涙を流してゐる、然してその悲しみは、涙は、決して世上自己が經驗する如き不愉快なものでも、不快なものでもなく、終了の後に來る感情は、ア、好かつた！面白かつた！といふに言はれぬ快感に浸誘される。前記の場合、可憐な乙女に同情する、それと反對に姉の不法を極度に憎惡する然しこの憎惡の感も決して觀客を不愉快にはしない、返つて姉の打下す鞭が激しいほど、乙女が悲痛を絶叫すればするほどこの映畫が觀衆に快感を與へ得ることに非運ひはない。觀客は何故この苦惱と悲慘に直面し乍らそれが演劇や映畫の場合にのみ愉快を感じるか、悲哀の快感！この不可思議な感情は主として人間の有つ審美的感覚に因するのである。これから見れば「酔はすこと」が説明に如何に重要であるかが判る、私達が映畫の美的價値を享受するには映畫の生命に浸入し、更に自己自身の内容にまで體驗し、生活しなければならない。例へば「非常線」に就て云へば、私的感情とか倫理的好惡とかいふ總念を一掃して全く映畫に我れを委ねてノーラン探偵と共に悲しみ、喜び、憩ひ、そこに映畫もなく、自己もなく、即ち主客兩觀の無關心なる融合が行はれて始めて、ノーランの生命は躍々として激蕩崇高な美を私達の胸に移植することが出來るのである。これを思へば、客觀的叙事的映畫説明が如何に無力であるかゞ明かである。ハーゲマンも（俳優論）俳優は舞臺の上で崩壊の俳優と口を利くだけのやうに見えるが、その實それと同時に幾千百の觀衆に話しかけるといふ、頗る困難な二元主義を實行せねばならない。と云つて、舞臺部話術が如何に熟練を要する困難な事柄であるかを説いてゐる、これは勿論俳優についてであるが、映畫説明に於ても決して無意義な言葉ではない。

映畫そのものは數百年の後もなほ存續するが、説明者の不思議な藝術は瞬間に官能の傍を通り過ぎる、その魅力は共と共に死し、音響が耳の中に消えると共に刹那の藝術であるのに、その脈ひは一時的である、故によき説明者は現在を惜んで用ひねばならない。

だが、大連にあて、果して誰にこの香味を呈し得るであらうか。大連説明者達よ健在なれ。

廿二票―二票の大差で 石本市長彈劾案可決す
七委員を擧げ事務管理、出納檢査
紛糾した大連市會

第四十四回大連市會は十六日午後一時二十五分開會、これよりさき議場外は傍聴人詳々と詰かけ開場と共に座席を埋め百五十餘名と算せられた、出席議員二十八名提案された議案即ち意見書案二通次の如し

意見書案

石本鏆太郎君は市長就任以來既に十ヶ月、その間毫も經綸の見るべきものなく信を内外に失ふ人事行政を誤りては市事務を澁滯せしめ公約を蹂躙しては市會を紛糾せしむ、大連市政の荒廢今日より甚しきはなし（以上同文）市長は其實を負ひ速に辭職すべし右市制第十一條に依り意見書提出候也（石本鏆太郎殿）監督官廳は法規の定むる所に依り宜しく處置を執られむことを望む、右市制第十一條に依り意見書提出候也（田中千吉殿、太田政弘殿）

開議劈頭 大内議員より「名は意見書なるも實は辭任勸告であり彈劾である、市政布かれて幾年ならずして單に市長に辭職を迫るのみか一歩誤れば自治の干渉となる處ある監督權發動を待望せざるを得ざるが如き場合に立至つたことは遺憾である、石本君は就任以來十ヶ月、何等市長としての抱負經綸を行ふたのを見ず啻に高遠なる識見理想に接せざるのみかその

提唱する 市場及衛生作業の改善に於てすら實績が擧つてゐない、斯て市政は荒廢して熄まざるのみか更に市長が主催する公の會合に參ずることを快しとせぬもの多く、殉職巡査救濟會や昭和製鋼所設置期成運動の如き、市長が中心たるが故に參與を喜ばざる者續出するに至つては又何をか云はんやである、人事行政については情實因緣に囚はれ十數名の犧牲者を出し、有給案提出に對しては公約を履行せざる故に市政を極度に荒廢せしめ、またこれが履行されざる限り今後益々紛糾を擴大し官

監督權の 發動を獲るは賭易き所である、我等は切に石本君の辭職を勸告せざるを得ぬ」

次に立石議員左の如く所謂有給案公約の内容を報告し、大内議員に劣らず激越慷慨の口調もて論を進め屢々野次飛び議場騒然たるものがある

今日市會の紛糾は有給案問題が主因である、先づ我等が調停の意思を表明したのは擁護派に對して也、同派では進退兩難の折柄雙手を擧げて之を納れ次に我滿鐵派では容易に動かなかつたが極力我等が勸說したので漸く意動いた、革新派は市長就任當初より徹頭徹尾市長のため應諾せず、支那議員は紛糾解決の意味に於て贊意を表した、かくの如く内交渉を終へたるのち作成した調停案は所謂公約の内容であつて、市長の推薦したる助役、收入役を市會が承認し、その人選は市長と我等が打合せを爲すこととし

議長には 最年長者を推すこととし、以上を條件に石本君は十一月に有給市長案を提出することにより圓滿辭職を爲すこととしたのである、而してこれは各派代表者に表明したが擁護派の若月、相川、故副島三君より石本氏を辭職せしむること明に表面に現はすは面白からず、お互の腹に納めておくといふことであつた、而して滿鐵側では有給案を九月に提出することを主張し擁護派では一月か二月に提出することを希望したが、結局十一月と決定し、かくて各派の代表者は助役室に參集して革新派の外全派が確然と上記の公約を締結したものである

此の場合 革新派のみは贊意を表しなかつたが十一月迄成行を傍觀するとの約束を得た、然るに十一月二十六日市長より會見の申込あり意外にも「有給案を提出せんと思ふが後任市長問題で紛糾するが如きことあらば市民に申譯なし」とのことで我等は「石本君は公約により有給案を提出すれば足る、後任市長は市會が全責任をもつて解決する」と答へ有耶無耶に終つたかくて公約は蹂躙され反古となり延いて今日の狀態に立至つた以上市長は速に自決すべきである

と約一時間にわたり詳細に說明するところあり、これに對し石本市長より縷々辯明的答辯があつた（其の要領は左記の聲明に示すが如きものである）次に宮崎議員より石本市長

不信任を 强調したるのち意見書可決により市長は自決するや、それとも市會を解散するやと詰め寄り降壇した（この時消燈したので十分間休憩）次に金井議員より

有給案は禁約なり暗黒政治なりと評するものがあるが、我等は俯仰天地に恥ぢない、我等は石本君の晩節をけがさざるために努力したが事茲に至つたのは遺憾である

と述べたるのち市長の實績例へば市場及衛生施設や人事異動を解剖して非を鳴らし、且つ視察議員派遣費支出の不當や公約不履行を初め市民の師表たるべき道義念に缺如してゐる事を極言して降壇この時小野議員より反對意見なきにつき討論を略し採決せんことを動議を出し成立したが仙波議員は

一身上に 就き辯明ありと稱し種々辯論のうち金井議員之に應酬し議場は物凄く緊張して折々猛烈な野次が飛ぶ、以上終つて投票採決に入り二十三對三票を以て可決された、時に同六時、次に小野議員より

不信任案成立の上は關東州市制第十一條第二項 市會は市の事務に關する書類及び計算書を檢閱し市長の報告を請求して事務の管理、議決の執行及出納を檢査することを得るにより之を行使すべく七名の委員を定むべしと緊急動議を提出し連記記名投票により小野、高橋、佐多、三田、岡本、三宅の諸氏が當選し六時半散會した、因に石本市長は同夜左の如き聲明書を發表し毛頭辭職の意無きを明にしたが、意見書を民政署並に關東廳に進達することについては十七日午前其の手續きをとる旨答ふるところがあつた

紛糾したきのふの大連市會

石本市長聲明書

本日市會に於て余に對する不信任的意味の意見書が可決されたことは衷心遺憾とする所である其の理由として擧げらるゝ所を觀るに第一經綸抱負の問題であるが、私が市長として就任以來僅に十ヶ月此の間前理事者の編成に依る豫算及諸般の事業に就ては市會の意志を愼重し且市民の實狀を考察して

専心一意 市政の發達向上に努めてゐる、而かも財界の現狀に顧みて出來得る限り經費の節約を考慮し之が實現に力めてゐる、從て私が市長としての經綸に付ては昭和五年度豫算の作成に依て始めて批判を受くべきである、依て今日直ちに信を内外に失ふと言ふが如きは斷じて當らぬと思ふ、第二の理由とする人事行政の問題は事主觀的の問題にして各人各樣の見解あらむ、而かも現在に於て何等の指摘さるべき失態なく前述の理由の下に人件費其他に於て年額十萬四千圓の整理節約を斷行し得たる事實に徵するも明かである、最後に

公約云々 の問題であるが、本件に關しては既に市會に於て河内山議員の質問に對し答辯したるが如く會議錄が公約なきことを證明してゐるから茲に歸附の要はないと思ふ、要は市政上各般の問題に付き一意專心之が發達改善に努めてゐる從つて本日の決議に對しては遺憾ながら同意を表することが出來ない

立往生の國際列車 免渡河發、西進す
海拉爾に居留の邦人六十名の消息判明も近し

【ハルビン十六日發電】海拉爾、滿洲里の外國人救濟の國際列車免渡河以西への運行開始につきハルビン領事館は東鐵と交渉中であるが、他方免渡河の第二軍長胡毓坤氏より東鐵あて右列車は十六日朝免渡河より更に西進した旨來電あつた、滿洲里の東方二百六十九キロの牙克石海拉爾間は一週數回自動車が通つて居るので一行は之を利用し目を刺す寒氣と鬪ひつゝ多少の危險を犯し決死的意氣込みて海拉爾に乘り込む模樣、斯くて一月餘に亙り消息を斷つた海拉爾邦人六十名の運命はもとより滿洲里の消息も多少判然しよう、尚免渡河以西ハルビン間の電信電話は不通なりと

滿洲里邦人の被害
婦人一名即死し一名は負傷
田中駐剳領事の報告

【ハルビン電十六日發】去月廿七日田中領事からの電報が滿鐵を經由し十一日、當地に着したによると滿洲里の食糧は本年末まであるも燃料は三ケ月よりなく日本領事館に流彈飛來の際は日本婦人一名即死し一名負傷したと報じて來た

滿洲の將來
太平洋調査會の反響
(C)……保々隆矣

顧くれば十一月五日午前九時京都ホテルに集れる各委員は從來と異り四個の圓卓會議の各員悉く三階ロビーに集まれとの通知があつた、全員會議の下に前夜の討論が繼續されるのである。

總長は世界的教育學者キルパトリック博士である、溫厚なる博士は先づ徐氏に向つて、前夜の所說を確めた、これに對し、松岡氏は「昨夜の徐氏の演說は早口で多少聽取し難い點もあつたが余に對する挑戰的議論に容喙せりと前提し

此度は原稿もなく毅然たる態度と嚴正確の英語で述べ始めた。曰く。

一、滿洲に於ける治安維持の問題であるが、日本の鐵道守備隊は約七千人である、此僅々の七千の軍隊が狹小なる鐵道附屬地に配置され居るから、これが滿洲全般の平和を維持することは不可能であるとの言であるが、此守備隊の背後には日本政府あり日本の陸海軍がある、此背後の力と能く訓練されたる軍隊の威力が治安の保持者である、徐氏は滿洲の地形が然らしむると言ふ、然らば日本軍駐屯以前に滿洲に内亂が繰返されなかつたのか、又た滿洲の人口の激增は支那人口の稠密と言ふが、年々數十萬の人々が海を越えて山東より寒き滿洲に來るのは何故か彼等の故鄉が爭亂と匪賊の横行の爲め、安寧の地を求める結果ではないか

二、又た滿洲に於て日本が經濟的發展に努力し貢獻して居る、徐氏は余の言を以て虛僞なりと言ふが、徐氏の示す貿易表は實は支那全般に關するもので、余が示せるは滿洲の正確なる表である、余が指示せるは一九〇七年の支那貿易を一〇〇とし、一九二五年度の支那貿易額を比較すれば前者は一〇〇――二二六で滿洲のそれは一〇〇――五三六である、即ち支那本土では二倍弱なるに反し滿洲は五倍強である此現象は日本の力ではないか

三、徐氏は日本が支那と協力し居ると言ふは嘘であると言ひ洮庫門鐵道を例示せしが、此問題は日露戰役後小村全權が北京政府と談判した結果、北京政府は滿鐵の並行線を敷設せぬ事を約束せしが、後に此事情を秘密にして米國資本家を誘ひ敷設せむとしたので、日本の反對にあひ中止したのである、支那が不誠實であるのみである

四、徐氏は支那が滿鐵を通じて日本より得て居る便益に比し支那は過分の支拂ひをなして居ると言ふが、事實は明白に反對である、例へば滿鐵のみを見ても株主は僅少の配當であるに反し使用支那人には年額二千萬圓を支拂ひ、其他各般の方面より支那人のポケットに入る金は莫大である、猶額大の日本の權益增城内に日本がどれだけの犧牲を拂つて居るか、徐君よ一考して貰ひ度い

回顧すれば日清戰役の結果南滿洲の大部分は日本に割讓されて居たのである、而して三國干涉後は支那は滿洲を擧げてロシアに委ねた、日本は自己生存の爲め十萬の生靈と廿億の金を投じ國運を賭して戰つたのである、而して此結果、支那は一文をも支拂はずして滿洲をロシアより受取ることが出來たではないか

松岡氏の舌端は今は火を吐くのである

更に奇怪なる一事がある、それは日露戰爭に先立ち支那は密かに李鴻章をしてロシアのロバノフ氏と攻守同盟の密約を結んで居つた、當時吾人にして此事を知り居れば、今日此席上に於て徐君と滿洲問題を辯する機會はなかつた筈である、滿洲は完全に日本の領土となつて了つて居た筈である

かゝる沿革を知らずして滿洲問題は決して解決しない、見よ北滿洲には戰雲たなびいて居るではないか、脅威が來りつゝあるではないか太平洋の不凍港へ進出はスラヴ民族の宿願ではないか、向後支那は斯かる場合よく領土保安をなし得るや、第二の李鴻章なきを保するや

と前夜の徐君の論旨を徹底的に駁擊し冷水を打つたる如く靜聽し日本ビイキの外人中には「これで溜飲が下つた」と言つた人もあり又新渡戸博士の如き「日本人の國際會議で此の如き立派なる（英語）演說を聞いた事がない」と激賞せられて居る相である（金井清氏談）

斯くて松岡氏は一躍して京都會議のヒーローとなつて終つたのである否これによつて動もすれば受太刀にならんとした日本側が内外人に好評さるゝの一大轉換をなし列席の有力者を首肯せしむることが出來た、想へば前夜の徐氏の非禮奇襲が反つて良好の結果を招いた世上の事は矢張り「塞翁が馬」か

今日の滿洲を實地見聞に
杉村國際聯盟事務次長
きのふ上海から來連

永らく本部にあつた國際聯盟事務局次長杉村陽太郎氏はさきに京都において開催された太平洋會議に出席、その後赴滬して約二週間に亘り上海を中心とするその地一帶の經濟狀態その他を視察研究してゐたが、既報の如く十六日入港の大連丸にて來連したが同船は風雪のため定期より遅延し滿鐵關係、關東廳關係より出迎へ人頗る多數で賑はつた、サロンに同氏を訪ふと偉大な

巨軀に あふれる如な親しみを現はして語る

今度は特に上海と滿洲をよく見て來やうと云ふのでブラリと來た、上海に於いては二週間ほど主として經濟的方面の事柄につき見且つ聽きして來た、南京政府の動き、即ち蔣介石氏一派の今後の態度なんてものに興味はあるだらうが何だか煩はしく感ぜられる自分はズッと國際聯盟の本部の方に居たものであるが要するに國際聯盟がどの程度まで聯盟國に働きかけるかと云ふことは

具體的 には述べられないこと、絕對に最初の聯盟の立題旨の如く國内的の事には干與しない事になつてゐるのである、從つて各國がそれ〴〵自分の國の物資で他國をはからうなんて事は決して出來ない事で、例へば英米兩國の間におけるの尺度でアフリカの土人國を計る事は初めから出來ない問題ではなからうか、要するに國際政治といふものは國内政治の反映であると云ふ事は判然と云つても間違ひはないと思ふ、とにかく自分が

滿洲に 來たのは單に地理や理論等の書かれたものによつて得た知識は何もならないと思ひ、何れにしても實地に見聞したものでないと駄目であると思つたから來たもので、こちらには北京の書記官時代にも何度も來たものだが、今日の滿洲を見るべくやつて來た、十七日は滿鐵に行つてよくこちらの事情を聽いた上總べてのプログラムを作る、特に鞍山、撫順をよく見ようと考へてゐるその上朝鮮經由歸京

正月は 是非東京で迎へるつもりでゐる

なほ氏は上陸と共にヤマトホテルに向つた（寫眞は杉村氏）

滿鐵課長級小異動
奉天地方事務所長には小倉氏
十六日午後發表さる

滿鐵では過般來大平副總裁の手により空席中であつた興業部庶務課長、東京支社庶務課長、經理部會計課長代理及び太田奉天地方事務所長の洋行による後任に對する補充者の人選中であつたが十四日最後の成案を得たので十六日午後仙石總裁の出社と共にその決裁を仰ぎ同三時木村人事課長より左の如く發表を見るに至つた

鐵道部勤務職員參事　小須田常三郎
興業部庶務課長を命ず
總裁室人事課勞務係主任職員參事　二村光三
總裁室社會課長を命ず
總裁室社會課長職員參事　小倉鐸二
奉天地方事務所長を命ず
東京支社運輸課長職員參事　平山敬三
東京支社庶務課長兼務を命ず
地方部衛生課庶務係主任職員參事　廣崎浩一
經理部會計課長代理を命ず
奉天地方事務所長職員參事　太田雅夫
地方部勤務を命ず
興業部長兼興業部庶務課長　田村羊三
兼務を免ず
東京支社長兼東京支社庶務課長　入江正太郎
兼務を免ず

關東廳豫算 ドウやら持直す
大藏當局と極力折衝の結果 新規要求も一部復活

昭和五年度の關東廳國費豫算は既報の如く目下大藏省主計局に於て查定中で今日までの結果は既定經費其他は内地各府縣同樣事務費一割五分は最高三割、金額に於て約百五十萬圓の大削減を加へられ更に新規事業計畫に對する要求豫算は殆ど漏るゝところなく削除或は

撤回を 要求され全く關東廳の面目丸潰れの形であつたが、在京中の西山財務部長、大内警務局長等の請訓により極力主計當局に對し豫算の復活を折衝したる結果十六日に至り既定經費は約百萬圓内外にまた新規要求も三民政支署の民政署昇格を初め警務局刑事課の新設、稅制改正調查並に土木關係では大連地方法院、旅順郵便局の新築等漸く復活したる旨本廳へ入電があつた、尚この外明年度の

重要なる 新事業 たる鹽業試驗場新設費二十一萬圓及び輸出稅徵收制度實施費二十三萬圓は遂に主計局の承認するところとならず結局西山財務部長は太田長官の意を體し、十七日の閣議に之等を提出して最後の折衝を試みることゝなつた

消費組合の積極活動と對策
社會問題として解決せん
商議役員會で決定

大連商工會議所役員會は十六日午後三時から開會、篠崎書記長から過般開催された日本商工會議所聯合會の經過報告あり當日の

議題たる 昭和製鋼所設置及びこれに伴ふ關稅制度改善の件につき横田副會頭より今日までの運動經過の報告があり、更に今後も引續き從來の變らざる方針の下に運動を繼續するに決定、次いで關稅制度改善に關する件に移つたが、同問題は對外關係があるため

秘密會と なすことゝなり協議を後廻しとなし、次は最近市中商人間に問題となつてゐる滿鐵消費組合の對策に關する件に就き左の如く千田議員より緊急提案があつた、即ち

消費組合のデパート式經營は市中商人に影響重大で會議所としても滿洲は特殊地域といふ見地から之を社會問題的に解決すべく何等かの對策を講ずる必要があり依つて調査機關を設置して具體的運動を進めたい

之に對し滿場異議なく贊成し直ちに商業部委員會に一任することゝなつたが同委員會では

之が對策 の成案を得次第更に役員會に諮ることに決し四時三十分休會、これより關稅制度改善

奉派の軍制改革
明年二月迄に卅萬人徵兵
四月より訓練實施

【奉天十六日發電】奉天軍の軍制改革、徵兵制度の實施は既に久しき以前よりの懸案とされてゐたが張學良氏は今回の西部國境における對露軍事行動に支那側が慘敗したるは畢竟兵卒の素質が悪く何等軍事的訓練を經てゐないものであることに基因するものとして急遽右徵兵制度を施行することに決し各關係處所に其旨通達を發したがそれによると募兵は土地二十天地以上の所有者より一名宛を徵兵し之に一ケ年訓練を施したる後正規兵とする豫定で明年二月までに三十萬人の徵兵者を選定四月一日より實施することになつてゐる

小幡公使に反對
奉天外交協會が飛檄

【奉天十六日發電】佐分利公使の後任に小幡公使が擬せらるゝや支那各團體は何れもこれに反對してゐるが奉天外交協會に於ても本月十日各地團體に對し左の如き反對宣傳書を發送した

聞くところによれば日本政府は佐分利公使の後任として小幡氏を銓衡してゐるといふが小幡氏は先年駐支公使たりしことあり廿一箇條問題を始め巨額の日支秘密借款を締結したる經歷を有し支那にとりては頗る注意する人物である、依つてこの際各地の外交協會及び對露後援會及び民衆は聯合して小幡氏の駐支公使就任を拒絕すべし云々

華商の金融難に 日支貿易も不安
貸倒れで相當損害

【奉天特電十六日發】最近滿支紛爭と財政難で奉天省城は極度に金融逼迫し華商間の倒産者は續出する有樣であるが新正月を目睫に控へ益々深刻化しつゝあるので華商間では一大恐慌を來しつゝあり一方内地邦商側も緊縮と消費節約で不況を呈し金融全く杜絶の狀態であるがため日支商取引も前途不安に驅られ沿線各地から商工會議所に事情調査に來る商へ絕え間なく貸倒れも相當免れまいと云はれてゐる

大衆黨大會
議會解散決議

【東京十六日發電】日本大衆黨大會第二日は十六日午前十時三十分より協調會館に開會し「第五十七議會を直に解散すべし」との要求を政府に提出する事を滿場一致可決し、淺原、河上兩代議士、麻生黨首外數名は直ちに官邸に濱口首相を訪問し右決議文を手交した

……問題につき總會が開かれた

陸軍始觀兵式
諸兵指揮官發表

【東京十六日發電】一月八日代々木練兵場に行はれる陸軍始觀兵式諸兵指揮官以下左の如く發表された

昭和五年陸軍始觀兵式諸兵指揮官被仰付　陸軍中將　長谷川直敏
同參謀長被仰付　陸軍少將　小磯國昭

滿鐵豫算を說明
神鞭理事等

滿鐵の明五年度豫算は十四日關東廳に提出されたので關東廳では直にこれが查定に取掛ることゝなつたが、十六日滿鐵よりは神鞭理事、竹中經理部長、長山主計課長が關東廳に到り長官應接室に於て太田長官、水谷地方課長、日下文書課長、中谷警務局長等に對し豫算の概略を說明し正午は官邸に於て午餐の饗應を受け、更に官邸大廣間に於て夜に入るまで豫算の内容に就き詳細なる說明を試み質疑應答するところあつたが、關東廳では右說明に基き研究を遂げ仙石總裁上京までには決定承認するであらうと

ハンガリー賠償 强制を勸告

【パリー十五日發電】第二回海牙會議の難關と見らるゝハンガリーの賠償問題に關しフランスは五大債權國がハンガリーに對し何等かの强壓手段に出ることを勸告したがイタリーは大贊成である

勞農通商出張所員

勞農ロシア日本通商部大連出張所員に新に正式任命されたラズモフスキーは豫て上京本部と打合中の所十六日入港香港丸にて歸連した尚同船では同國外交使パウルバブロフスキー氏アレキサンドウバラーフ氏の兩氏も乘船してゐたが兩氏は浦鹽より日本經由來連したものだと

人事

▲杉村陽太郎氏（國際聯盟事務局次長）十六日入港大連丸にて來連

安樂椅子

露國政府の穀類買上はあく迄强制的に行はれ集め得た穀類をモスクワ市内に貯藏するため適當な不用の建物が見つかつたらドシ〳〵國家保安部に通知するやうにとの布令を出した▲然しモスクウの住宅難、事務所難は有名なものでさうした餘地は一寸一分もない。だから教會や寺院などは片つぱしから徵發される▲それから穀物を入れる袋も問題でボーイ、スカウトが市内を戸別訪問して袋の寄贈を求めるやら消費組合員が一箇二十四錢位で買上げるやら大した騷ぎである▲其他の都市では手つ取り速いが田舍へ行くと可なり隱匿が多い▲中露のペンサでは穀米屋が穀類隱匿の廉で婦人官吏から告發されたのに恨みを抱き同官吏の住宅を燒き拂つた爲め主人は銃殺、共犯の作は十ケ年禁錮に處せられた▲さうした事件は隨所に演ぜられ政府筋でも大分手を燒いてゐる

特産

現物後場（銀建）

品名	寄付	大引
混保大豆（袋込）（裸物）	六四五〇	六四六〇
普通大豆 出來高 三十車	袋物裸物出來不申	
豆粕 出來高 二萬枚	二一六五	二一六五
豆油 出來高 三百箱	一七七五	一七七五
高粱 出來高 二車	四三二〇	四三二〇
包米	出來不申	

錢鈔

定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	八〇五	八〇四	七九〇	七九〇

出來高 期近二百卅二萬圓

現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	八〇〇	一一四〇	一四三〇
二時半	八〇〇	一一四〇	一四三五
三時半	―	―	―

出來高（銀對金 二萬七千圓）（銀對洋 三千圓）

商品

後場

銘柄	約定期	値段	枚數
蔴袋（保合）			
鐵筋	延十二月末	三〇、七	一〇
同	延四月末	三〇、四	一〇

出來高 二萬枚　綿糸布、麥粉 出來不申

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十二月	二八五五	二八五六
一月	二八二四	二八二七
二月	二八二〇	二八二四

東京期米

限月	後場寄	後場引
十二月	二七五八	二七五六
一月	二八〇八	二八〇四
二月	二八二〇	二八二〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
十二月	一九〇五〇	一九一〇〇
一月	一九二五〇	一九二二〇
二月	一九三三〇	一九二八〇
三月	一九三〇〇	一九三三〇
四月	一九二〇〇	一九四五〇
五月	一九四九〇	一九五〇〇
六月	一九五八〇	一九六二〇

軍閥抗爭の業火

滿洲日報

……るものが餘りに度を失し例の文弱に陷るや北狄、西戎などの攪亂するところとなり漢民族の司配權を喪失するやうなことが起つたのである。但し往昔の文化なるものは今日の如き組織、機構を有するものでないから淸朝の末期等にありても浙江、湖南方面にありては燕京を凌ぐの文運を示したことさへある。かゝる場合にあつては自然地方分權の遠心力が中央集權の求心力を抑制する傾向さへ認められるのである。

◇

國都を北京から南京に遷移することの出來たといふことは反對に現在の國民政府を北平に逆戻りさするも大小、新舊の軍閥は兎もかく一般民衆は必ずしも痛痒相關せぬものともいへる。いや國都を洛陽に移すも可なり杭州に持ち行くも惡くなく、太原や奉天も漢口、廣東でさへも占據する軍閥の勢力如何によつては天下に號令することの出來る中央都市たらしめ得ぬことはない。かくの如き狀態は何を物語るかといふに經濟や交通あらゆる文化の點からして一ツの首都となり得るだけの條件を具備した中央がないといふことに歸着するのである。孫文の遺訓なりとして北京から南京に移轉したけれども蔣介石氏らに好都合なりといふのみにて支那全國の首府たるためには缺陷が多きに失するやうである。たゞ寧ろ北平の方がといふるのは必ずしも北方に偏してはないのである。

◇

地方分權論といふものは昔から支那において相當に考へられて來たのであるが昔からまた中央にあるものは地方分權の遠心力に抑壓せられ久しきを保つことの出來ぬのも示す通りである。淸朝のや中央集權、地方統一といふことについては五千年の歷史中、最も困難を極めたといはるるにも拘らず髮賊の亂を初めとし地方遠心の反撥は殆んど全淸朝を通じ年中行事であつたともいへ得る、共和革命以後にあつても中央集權を企てたものは悉く倒されてゐる、世凱のやうな人物にしても失敗、段祺瑞、馮玉祥、閻錫山氏ら作霖、悉く然り、而して成るべく北京から遠ざかつた石、入りの野心を抑制した所以は中央集權の地位に立つも比例して實力を藁ふことの不可能を知り寧ろ紛糾の渦中に投じ得ざる標的たらんことを避けた……

……氏の軍政府が發生するや否や、閻錫山、馮玉祥氏らが如何なる態度に出づるや。徐源泉、唐生智、何健氏らの抗爭が如何に展開するや將來の政局は事實に徴するの外はないが併し蔣介石氏らが辛うじて國民政府の存在を南京に維持し得たりとしても、その實勢力は長江下游一帶より遠くに及ぼし得ぬことだけは豫見し得るやうである。果して然らば蔣介石氏の智略により支那が南京における國民政府の下に中央集權の實が擧げられ地方分權は統制せらるべしなどの豫想は空想と斷ずるの外なく中華國の民衆には氣の毒千萬ではあるが新らしい革命支那も依然として五千年來の歷史を繰り返し相當に長い歲月の間、大小、新舊軍閥の抗爭は排絶することと不可能なりと諦めねばなるまい。とにかく共和革命十八年ぐらゐでは尨大なる支那の歷史を次ぎの時代に馴致することは出來ぬのである。軍閥抗爭の業火は容易に終熄せぬやうである。

副管理局長の權限を擴張
支那側の意嚮だが露國側では肯かぬ

【ハルビン發】露支正式會議に支那側が提案する問題は

一、一九二四年の露支、奉露協定の精神を遵守すること
二、東支鐵道は七月十日前の原狀に恢復する（これは其後約五ヶ月間支那側が管理してゐた東支の收入及新規事業、新に人事採用をした點其他一切の問題は放棄することを意味する）
三、白系ロシア人は採用しない
四、鐵道警備權の折半は支那の主權を尊重し斷然拒絶する
五、東支管理局長及副局長は新に任命のこと

等でロシヤ側は第五の條項に既に

承認を與へ

支那側は呂榮寰督辦を罷免したので紛爭當初の兩國責任者は双務的に自決した爲め問題は赤化宣傳の取締、白系ロシア人の解散は合理的に解決し殘されたものは管理局長の權限と損害賠償の二點であるが、局長の權限縮小は奉露協定調印後直に支那はロシヤに提案し解決を計るべきが當然であつたが、其の代り支那側の副局長の任命をロシヤは承認したので支那側は其の副局長の權限を擴張しやうとするのが問題となつてゐるのである、これは理事會を有し支那側が東支の最高代表たる

督辦を任命

してゐる點からロシヤとしても管理局長の權限を縮小されることには反對する强固態度を有してゐる

市會議員辭職せよ

茂星　端

已れ等が選擧した市長を自分勝手にやめさせ樣とする不信任案が大連市會に提出される相だが甚だ解し難い事だ、何と考へても不可思議だ、問題は石本氏が市長に選擧せらるゝ時の口約であるが之は市長になる迄の單なる過程で銃口を放れし彈丸は射手の意思により左右することが出來ないと同じである。

若し石本市長が十一月になつて有給市長制案を出して退任するといふ口約とした事が事實であつたとしたならば、そんな口約をする市會議員の頭の程度が知れる、僅か半年位市長にして置いて何をさせ樣としたのだ、不眞面目千萬と云はねばならぬ。

今や各都市は市長の有給制度を漸次名譽職の制度になさんとする趨勢にある、然るに時代に逆行して有給市長制度となすが如きは自治の圓滿なる發達を阻害するものと云はねばならぬ、市會は公器である、市會議員の私情を訴ふる場所ではない、個人の體面や何かは問題とする處ではない、市民淸きひたい眞心よりの投票である、然るに豫想を裏切り輕率なる口約をしたり輕率なる市長選擧をしたり事毎に事端を釀し徒らに市政を攪亂する諸君は何をもつて市民に謝する、半歲でやめる口約をしてあるのにやめないから不信任案を提出するといふ諸君はそんな約束を重んじない樣な者を選擧した不明と愧ぢないか、市長の不信任案より先に石本市長を選擧し今又不信任案提出に贊成する諸君は潔く辭職した方がよいと思ふ、自治體には闘爭の觀念を容れてはならない、爭ひのある自治體は壞滅すると云ふ、協調を保てとイルケは云つて居る、協調を保てないものは自治に參與せしめてはならぬ。

石炭購入者注意

市內實見生

當時緊縮節約で各家庭に種々研究される樣ですが、多期必要品たる石炭購入に邦人は餘り無關心なるに驚く、電話にて半噸なり一噸なりの注文すると各販賣店は斤量に不足無く麻袋に入れ封緘するが支那人運搬夫中には途中でボロ買ひと聯絡を取り例へば神明町方面へ配達する品を近江町派出所の下町古籍古物買の宅に持廻り封緘を開き一噸中百五十斤以上窃み取り又元の通り封緘して購入者へ配達すると云つたあんばい、斯樣な事は購入者の損失のみならず販賣店の信用にも關する事故當局では十分取締つて貰ひたいと思ふ、勿論購入者自身は十分注意すべきである

東北電政監督處改稱と異動

【ハルビン發】東北電政監督處を撤廢し東北電政管理局と改稱し局長に顧宗林氏任命され、電政監督代理蔣斌氏は郵傳處長に、無線電監督の李德晉氏は副處長に任命され、管理局は東北四省に於ける無電、有電、電話其他一切の通信機關を統制し郵政に關する行政を監督することになつたが、地方の長途電話の建設に關してはこれを東北交通委員會に於て決定すべきであるが、或は電政管理局が處理すべきであるか目下當局者にて研究中である

露支交渉は容易に樂觀は出來ない
ス獨逸總領事語る

【ハルビン發】ハバロフスク市における露支交渉に就きストツペドイツ總領事は

露支交渉は十四日から開始され一週間後には何とか解決し多少は判るだらうが、双方の提案條項はさう簡單にできない、松浦鎭の拘禁ロシア及十月革命のために逮捕されたもの等の釋放に就いては松浦鎭のものは七月十日以後のものであるから釋放するに支那は同意するも、五月のソウエート總領事館の檢擧で逮捕した三十六名のものに對しては支那側は除外するであらう、七月十日以後の原狀と云ふのが其等の點に關係をもつてゐる、自分はこの火曜日（十七日）に松浦鎭を觀察することにしてゐる、尚は傳家甸の監獄は傳へられる程設備は惡くない

と語つた、因にハバロフスクに於ける露支正式會議の原則取極めは一週間後に決定し直に拘禁者の相互釋放が決定するであらうと

コロンバイルに蒙古軍駐屯
一掃は容易でない

【ハルビン發】支那側西部最前線からの報道によると、海拉爾以西はロシア側に保障占領されコロンバイルには既に蒙古兵が駐屯し兵權を握つてゐる、蒙古軍は全部外蒙とは云へぬが彼等の軍隊がコロンバイル政廳及び護衛と稱して駐屯してゐることは支那當局としては苦痛で、しかも其等の蒙古軍は外蒙から支援のため派遣されてゐるとすれば縱々露支交渉が成立してもコロンバイルの蒙古軍は恐らく無條件では撤退しないであらう支那側としては勢ひ其の場合は力によらねばならぬが蒙古軍の背後に眞のリーダーとなつてゐるものは赤軍であり、ソウエートとの關係も相當深い譯であるとすれば支那としては容易に手が出されぬのである、從つてコロンバイルの蒙古軍一掃は困難であるがヘイラル一帶に蒙軍の駐屯せることは直接ソウエートと關係はないので支那としてこれを如何に處分するか問題であると見られてゐる

各鐵道を調査
東北交通委員會

【吉林發】傳ふる所に依れば最近吉長、吉敦、吉海各鐵路局は東北交通委員會より中露事件發生後東北省における各鐵道の營業上に大なる影響を及ぼしたるは無論なるが、茲に各鐵道の運輸狀況及軍隊輸送辦理の狀況等を明確に調査する爲め今回王中人等多數の調査員を東北各鐵道に派遣する事に決定の旨通令に接したと

監禁露人の復舊を要求
支那側では承知せぬ

【ハルビン發】拘禁中のソウエート人を支那側が釋放することはソウエートに監禁されてゐる支那人の釋放と双務的に解決するに承認を與へてゐるが、松浦鎭に拘禁中の一千二百餘名のロシヤ人を若し釋放した場合ソウエート側は其儘七月十日以前の東支原狀回復を理由として直に原職に復せしめることを支那側に要求し、支那側はこれに對し東鐵の原狀回復は七月十日前とするに反對はないが、拘禁者は赤化宣傳の陰謀を計畫したものでロシヤ政府が一九二四年の奉露協定を尊重し第六條の赤化宣傳を禁止する誠意を有するものとせば拘禁者は全部一時本國に歸還せしめることが正當で且つ合理的であると反駁し釋放問題に關しても意見の相違を來してゐると傳へられるが、和平交渉の成立を妨げる程度には至らず圓滿解決するものとみられてゐる

南征雜錄 (60)

難波勝治

未開の東岸（上）

若し臺灣島を中斷して之を東西に分類すれば、基隆港は正に東部臺灣に組入れらるべき位置にあるが、實際問題としては少くとも澳底以南を東海岸と稱する事が適當であらう、それだけ基隆以西と以東とは觸目の風物が旅行者に異つた氣分を與へる、尤も同じ東岸でも宜蘭鐵道の終點蘇澳と、それから先の

斷岸地帶 以南とは更に著るしく相違し、後者は最近まで化外の蠻域視されて居たのである、基隆から蘇澳までの宜蘭線は延長六十一哩二分、八堵までの二哩二分間を縱貫線に沿ふて走り、同驛に於て始めて本支兩線が東西に岐れるのだが、それから澳底までの二十哩三分間は、山を踰え、谷を跨り、十六七ヶ所の大小隧道を出入して、佳景奇勝の時に目を惹くほどの者はないが、この邊一帶は臺灣中屈指の有用礦物埋藏地で、四脚亭、猴硐、三貂嶺等の各驛から、何れも年額二十萬噸近くの石炭を積出し

殊に瑞芳 を中心に九份、金瓜、武丹坑等の諸金山があつて一時ほどの產額はないが毎年約百萬圓の金銅鑛を內地に移出して居る、頂雙溪は、その西方に淸朝時代の史跡ある三貂嶺が聳へて居り、又明治二十八年澳底から御進軍遊ばされた北白川宮殿下の遺跡もある、炎威灼くが如き眞夏の一夜を過させ給ふた鍛冶屋の陋屋は、今猶潺湲たる溪流を前にした丘上に昔を語り顏である、殿下が上陸された地點は大關貫寮庄と澳底との中間にあつて、明治三十九年樺山總督に依つて記念碑が建られた澳底……それは如何にも

地勢に適 はしい名稱である、狹い險しい谷間を潛つて出た汽車の窓から、白砂黑礁の濱邊を隔てゝ望んだ太平洋の一碧は、そよふく海風を滿喫して一しほ胸の淸々しさを覺しめる、宜蘭八景の一たる東溟曉日は大里驛の大里に與へられた讚辭だが、驛の南方一里三十町に古來險難を以て聞えた草嶺があつて、隧道の延長七千百二呎、大正十三年に竣工した本島最長の掘鑿工事である、大溪を過ぎ、龜山を過ぎ、外澳を過ぎて、頭圍驛より始めて宜蘭平野に差懸るのだが、其處から宜蘭までの約七哩間は、東部臺灣中最も多くの

名所古蹟 を有する地帶である、平野開拓の始祖吳沙を奉祀した佛祖廟、礁溪溫泉、楓樹林、五峰旗山の瀑、龜山島の遠望など野趣横溢の間に悠揚たる別天地の觀がある、宜蘭は人口二萬四千二百餘、孔子廟、五穀廟、公園、神社、溫泉等を有する東岸第一の都會だが、併し最も將來ある新市街はそれから約八哩を距る羅東であらう、前に述べた太平山檜林への森林鐵道は、この地から濁水溪を傳ふて西南二十二哩餘に延長し、羅東を落花生油、檜材、樟腦、麻、油及び米等の集散市場たらしめたが、人口一萬三千餘、年々急速の進步を遂げつゝある

宜蘭線の 終點蘇澳は人口約一萬二千、南北西の三面に山岳をめぐらし、灣內深く東海岸第一の良港だが、基隆港を距る海上五十浬、宜蘭地方への物資を吞吐して重要の地位を占めて居る、停車場の南三十二町に南分澳の漁港があつて、港內の面積一萬四千坪、干潮時の水深六尺乃至九尺、延長六百七十餘間の岸壁を有して漁船の繋留に便して居る、蘇澳港の主なる物產は樟腦、木材、炭酸水、大理石、スレート、鰹節、鯖魚等だが、近年珊瑚樹の漁撈に手を染めて基隆と對抗して居るとか、若し目下開鑿中の花蓮港への自動車道路が完成したら、その繁榮は更に今日に倍するものがあらう。

【寫眞は蘇澳南方澳漁港】

けふの放送　支那語會話

第三十一回　秩父固太郎

1 一向少見　2 僭們老沒見了　3 府上都好啊　4 托福、您府上好啊　5 叫您惦記着　6 短過去請安　7 不敢當、您很忙　8 倒沒甚麼忙的　9 請到我家罷　10 改天去請安　11 您多偺有工夫　12 禮拜有工夫　13 僭們禮拜日罷　14 好、我找您去　15 您甚麼時候見去　16 甚麼時候見都行　17 我一天都沒事　18 那麼早九點罷　19 好、我在家裡候着您　20 今兒僭們兩便

譯文

1 近頃お目に掛かりませんね
2 お互樣にとんと御會ひしません
3 御宅は皆樣御達者ですか
4 お蔭樣で、お宅はお變り有りませんか
5 有難う御座ゐます（御心に懸けられて）
6 御機嫌伺にも上りませんで失禮して居ります
7 恐れ入ります、貴方は非常に御多忙ですもの
8 別に何も忙しくは有りませんが
9 私の宅へ入らつしやいませ
10 こんどお伺致します
11 貴方はいつがお閑ですか
12 日曜は閑です
13 日曜にお會ひしませう
14 エゝ、私がお尋ねに出ます
15 貴方いつ頃お出で下さいますか
16 何時頃でも宜しう御座ゐます
17 私は一日中用事が有りません
18 それでは朝の九時としませう
19 結構です、宅でお待ちして居ります
20 今日は此處で失禮します

（新字）◦府　托◦　◦福　惦◦

滿日地方版

撫順

スキーの全盛時代が來た
百三十人もの賑ひ 日曜の老虎台スキー場

雪は鐵道にこそ惠まれないかも知れないが折角大金をかけて岩石、木の株を除去、地均し等までして作りあげたスローヴを持ち乍ら連年雪らしい雪をおがめなかつた撫順のスキーヤー連は、列車の延着などは毎日でもいゝから雪さへ降り續けてくれゝばと云ふ位熱心家もあるだけに

連日來の雪 でコンディションもつて來いの十五日日曜の老虎臺スキー場の賑ひは全く素晴らしいもので同スローヴ開場以來の大賑はひを呈した、朝の七時頃から晩の四時すぎまで入れ替り立替り雪澤山になりたさに出掛けた者の延人員ザット百三十人を突破した、まづその顏觸れは經理の石川、高木兩君、正隆の御大二木君、川井田支店長代理、片岡、横星の各君、土木の淺坂ジャイアント、古城子の横山、發電所の藤井、老虎臺の大田、山下の各君等々ならべきれない位で何れも二木、石川兩君の熱心なコーチで

その滑走振 はめきく面目を一新するものあり、ウインタースポーツの華スキーは茲撫順では傳へきくノールウエーのスキー本場を凌駕する概があつた、當日は時にこれ等多數のスキーヤーを當こみ「うどんそばの出張販賣店などまでが設設されてゐた、尚撫順スキー界にめざましい活躍をしてゐる主なる人々は前各君の外に山西炭礦長、大垣經理部長、安藤人事係主任、經理の高井、高木、川口、調査役室清水、發電所の奧山、龍鳳の秋本、池田、平山、製油の山中、古城子の古藤、圖書館の出口、經理の岩瀨、宮永、齋藤、鈴木、庶務の白水、古城子の横山、老虎臺の山下、發電所藤井の各君

正隆支店は 全部でその他市中にも相當熱心家あり、今や撫順はスキー全盛時代を現出せんとしてゐる

滿洲物が多い
市場會社で取扱つた 下半期の魚や野菜

大連市場株式會社下半期成績は既報の如くで中央市場へ搬入された鮮魚、鹽干魚、罐詰品、菜蔬類は十萬五千五百六十圓五十四錢であるが、之が荷先を滿洲各地と朝鮮各地と何れが多いか比較すると

中央市場扱品 は滿洲ものの(旅大外十三個所)五萬八千六百七十四圓七十七錢なるに對し、朝鮮もの(釜山元山ほか十五地方)四萬六千二百七十四圓四十二錢で滿洲ものが矢張り一萬二千四百〇三圓二十八錢多く、內地ものは僅に三圓二十八錢多く、右の內南滿では大連より三萬八千〇四十四圓八十一錢を最高とし、次が安東の一萬六千〇四圓三十二錢、次が旅順の五萬四千四百四十七圓、次が蓋平、營口、普蘭店、熊岳城等の順、朝鮮ものは釜山の一萬九千五百三十五圓七十二錢を最高とし元山の八千五百九十三圓三十六錢、次が木浦の六千六百四十九圓六錢

是れにつぐに 馬山、統營、城津、群山、大邱、平壤等で內地ものは僅かに六百十五圓三十五錢である、尚右市場扱ひの分は野菜を主とし鮮魚是に次ぐが野菜は地ものが十三萬九千五百八十八圓九十錢で、最高その他大連、營口、旅順、その他合して總計十五萬六千八百〇八圓九十錢である

餅の相場 並びに搗賃

今年の正月餅の相場を調べて見ると滿洲米市中は一升三十錢、消費組合は三十七錢(但し消費組合のは純撫順米)內地米市中五十五錢、消費組合四十七錢、朝鮮米は何れも四十錢、支那人の賣りにくるのは値は知らぬが値は二十七錢から三十錢で內地物等に比すると相當安い、搗賃は中國人なれば一升八錢內外、邦人餅屋は清潔な代り十五錢見當

現金掛賣併用 制度の效果

去る十一月一日より沿線各地とも實施されたる滿鐵消費組合の現金掛賣併用制度の消費組合撫順支部に及ぼしたる影響を調査するに同月中掛賣七割七分八厘、現金二割二分三厘で率に於て依然掛賣りが多かつたがもとより緊縮の聲も手傳つてはゐるものゝ現金併用制に依した爲め前年十一月に比し賣揚高に於て二萬一千圓の賣揚減となつて現はれ、併用制度が家庭生活の合理化に效果あらしむる誘因となりしは確實で右併用制度が漫なる個人經濟を引しめた事は爭へない

造林地の間伐

熊岳城農事試驗所草間林學士は十二日來撫、十三日より柳町農林係主任と共に各係員を督勵優良木材を得る爲め新屯「カラマツ」造林地の間伐を行つてゐる、右は劣生木を間伐し優生木をより以上順潮に成長さす目的からである

煉瓦の發送高

年の瀨々々迫り巳歲も餘す所十數日となつたが元來中國人間には巳歲に家を建てると火災、盜難その他の災害を免れると言ふ一種の迷信と奉天一部の市區改正の爲、中國側の新建築多く是に使用の煉瓦は撫順窯業會社等から供給したが、四年五月頃から十二月十日まで撫順驛發送奉天向けの煉瓦一億三千八百九十九萬八千三百六十八個で撫順より煉瓦搬出の新記錄を現出した

工業實習所 新入生募集

撫順工業實習所五年度新入生六十名(機械科、採鑛科各二十名、電氣科、土木科各十名)募集が發表された、受驗資格者は尋小卒、中學二年終了者又は是と同等以上の學力を有し將來工業に從事する確乎たる志望を有し特に體力强壯なる者たるを要す、入所願書提出期限は昭和五年一月二十日限り(同所到着)尚高二、中二、在學生にして當該校長の證明あるものも志願することが出來る、入所試驗は五年二月四、五の兩日同實習所に於て施行される、尚詳細は同所に問合せのこと

地方委員出席

明年一月十八九の兩日全滿地方委員聯合會が奉天に於て開催されるが撫順よりの出席者は寺西、古賀の正副議長及竹中地方係主任等の如くであるが、議案その他は近日開催される地委會議で決定の筈

十間房料理店 總揚高

當地總領事館警察署管內の日本料理店と朝鮮料理店の十一月分總揚高は四萬五千八百六十三圓八十三錢でその中藝妓揚高二萬百十圓七錢、酌婦揚高一萬三千三百四十四圓五十二錢、酒肴料一萬二千四百九萬二十二錢となつてゐるが今年は緊縮の餘波を受けてか昨年の同期に比し二萬二百四十七圓八十一錢の減少を示し料亭は泣いてゐる

幼稚園の新學期 一月から受附開始

當地各小學校及び幼稚園の新學期入學兒童の募集は每年二月頃から開始されてゐるが明年度は一月から受付を開始することになつたので入學兒童は戶籍謄本か抄本を至急取寄せ受付開始と同時に差出されたいと猶これまでの例によると新學期間際になつて謄本等の故障があり勘からず狼狽するものがあるが明年度は手落ちのない樣に謄本又は抄本を至急取寄せて置かれたいと當局は語つてゐた

列車の延着

吹雪のため發生した列車事故は十五日朝漸く復舊したが同朝大石橋に於てポイントに故障を起した爲め營口發長春行廿一列車は奉天着十一時半が三時間餘りの延着を見た

奉天

奉天の警備充實 警察官七名を增派

沿線各地における警備の充實につき考慮中であつた關東廳では七名の新巡査を增派することになり川原巡査以下六名は十五日歸奉着任した

奉中高女の新施設

十三日の滿鐵中等學校長會議に於て明春における中等學校入學考査其の他につき協議をなし決定し引續き同席に於て各學校長の學校としての提案に對し種々打合せをなす處あつたが奉天中學校十年來の懸案となつてゐる同校に雨天體操場を建設する件は愈々明春四月より四萬圓を投じて着工することに決定しその他學級增加の件、奉天高女校に專攻科を設置する件は當局に於て考慮することになつたと

排酒會發會式

既報滿洲醫大學生を中心とする排酒會の發會式は十五日午前十時から記念館に於て擧行された出席者は學生十六名來賓として大學教授連、矯風會々員等で先づ開會の辭に次ぎ禁酒歌合唱、發起人代表挨拶、規約草案朗讀、入會誓約、會旗寄贈(矯風會奉天支部より)來賓祝辭があり懇親會に移り十二時閉會した

社告

奉天に於ける弊紙販賣店入江新聞舖の業務は今般奉天驛前大每社諏訪好太郎氏繼承の事に相成候間此段讀者諸彥に御通知申上候

滿洲日報社

謹告

從來入江新聞舖にて取扱へる奉天における滿洲日報販賣業務を今般讓受致候間何卒御愛顧賜り度此段謹告旁々御願申上候

奉天驛前大每社 諏訪好太郎

人事

▲太田關東長官 十五日朝過奉本溪湖に向ふ筈であつたが都合により無期延期となつた
▲西村拓務省事務官 十七日大連より來奉の筈
▲藤村滿鐵主計總監 十五日來奉歸奉
▲名和奉中校長 十四日大連より歸奉
▲神田中尉(奉天守備隊附)今回高田聯隊に榮轉することになり近く赴任する筈
▲太原本社支配人 十五日奉天往復
▲古仁所豐氏(滿鐵奉天公所長) 十六日發安奉線にて上京約五週間にて歸奉の豫定

瀋陽駄話

十一月中の房街の揚高が前年の同期に比して二萬圓からの減少を示した▲言ふ迄もなく例の緊縮が祟つた譯であるがこれも是非ない事と諦めるより外あるまい▲房街の大御所金六さへも門を閉ぢた位だから▲追々とボーナスが支給されると背水の陣を張る商人の心も知らず公私經濟委員會支部では十五日から一週間に亘り貯金、年金、儉約の大々的勸誘を開始するとか▲これでは商人のボーナス當込みも越中褌の何とかと言ふもの商埠地の國際ダンスホールの出現で奉天のモボ、モガ連每日なく踊り狂つて居たが支那側のダンス御法度でギャフン▲最近はパリジヤンの狹いホールで里芋を洗ふ樣に犇めつて居るが最近こゝで某紳士一百圓をスラれたこともあり迂つかり行けぬのでいよいよダンス狂受難時代を產み出して居る▲作相は格別として張雨亭老物故後の奉天舊派は遂然として勢力を持上げた新派から邪魔物扱ひにされて居る▲最近其の尤物として鬱雖萬福麟が窘め上げられて居るが舊派のを沒した後の奉天派が果して今日の康寧を保ち得やうか▲他事乍ら案ぜられて仕方がない▲禁酒には絕對贊成の婦人矯風會、醫大生の排酒會に會旗をまで贈呈すると言ふ熱誠振である▲序の事である會旗の十本も寄附してカフエー街に立てたら怎んなものだ▲商人泣かせの貯金デーけふから開始さる▲ボーナス當込みの商人タカに油揚をさらはれた形

瓦房店

西村所長招宴

瓦房店地方事務所長西村秀治氏は年末忘年を兼ね各所屬長新聞關係者支那側知事以下を招待し十二日午後六時より朝陽樓に於て盛大な會を開催した定刻西村所長の挨拶に次で支那側は鄧知事日本側は新任佐藤署長一同を代表して謝辭を述べ主客歡を盡して同八時散會した

哈爾賓

支那側のラヂオ 取締嚴重となる 違反者は體刑處分

ハルビン新市街から埠頭區、傳家甸に至る全市に普及されてゐるラヂオはどう云ふ狀態であらうか?和登洋行では電話の器具を始めラヂオの月賦販賣をしてゐるが、現在ハルビンに張られてあるアンテナは約二千數百に達するであらうこれは支那側の規定による登記を完了したものであつて若し登記をしてゐないものがありとすれば其數は約五千基以上に達する見込であると云ふ、最近支那側としてはラヂオに對する取締を嚴重にし若しも無登記でアンテナを張つてゐるものが發見された時は直に體刑を科し三ヶ月以上三年以下の處刑となつてゐるが露支人で多數秘密ラヂオを發見され徒刑懲役に服役してゐる者が多いとの話彼等は一ケ年十元の料金を支拂ふことを胡麻化すためにさうした體刑を受けるのであるが中には器具を密輸する猛者もゐるさうである、支那側は二千數百基のラヂオのため三萬元內外の收入があり、若し五千程度のラヂオ据付け者が全部完全に登記するならば一ケ年ラヂオ器具材料の輸入稅其他で十萬元內外の收入がある譯である、これを全滿洲とすると大した收入である

新哈大洋交換 成績

五千萬元の舊哈爾賓大洋票は張景惠管理官の證明ある新紙幣と本月廿日限り全部交換しそれ以後は舊紙幣の流通を禁止すると支那側で發表したが、九月來今日までに支那側各銀行で交換した總額は約三千萬元程度で二千萬元はまだ各所に散在してゐるが、廿日以後若し事實上流通を禁止された場合は一般商民の受ける損害は多額に上るであらうとみられ行政長官の布告は穩當を缺くと言はれてゐる

義士會賑ふ

例年の通り當地座談會にては十四日午後六時半より倶樂部に於て義士の打入を偲ぶ爲め義士會を開催した中原先生の史上より見たる義士の講演あり外各自の所感を述べて一同盛會裡に散會した

川西家不幸

常盤關區助役川西重作氏令孃溫子(當十五年)氏は旅順女學校に在學中病を得て歸宅靜養中なりしが十四日死亡したので十五日午後三時倶樂部に於て告別式を行ふたが盛葬だつた

日本農業賞讚

浦鹽からの報道によると最近日本の農業狀態を調査し歸還したパブロフ氏は日本の農業は二千年來の歷史を有し仲々發達し米種の如きは三百餘種に達するが巧に改良が加へられ、これまで日本は後進國とのみ思ふてゐたが愕いた、これではロシアとして大に學ぶ點があり、日本の綠茶、臺灣の甘蔗糖の如き世界的のものを產出し甜菜糖の如きは追隨をも許さぬ程であると賞讚してゐると因に日本の綠茶を高架索地方に移植するとセイロン茶より優秀なものができると云ふ

濱江雜俎

十四日午後七時から外國語學校出身者の同窓會忘年會を開催
◇
在哈新聞記者團は十二日午後六時から布袋にて忘年を兼ねた懇親會を催したが、滿洲里方面の調査の爲出張する國際列車の便乘者を送別する意味も含まれ十七名の來會に九時半盛會裡に散會した
◇
十三日、零下廿餘度、屆の多來り師走氣分漂ふ
◇
本年はハルビン——北滿にかつてない暖氣のため打擊を受けたのは石炭の消費量で昨年に比して約半數であると

鞍山

選炭工場竣工

新築中であつた製鐵所選炭工場は此程竣工したので、十三日午後一時梶野神官を招き各幹事列席の上お祓式を執行された

素謠大會盛況

鞍山觀世流謠曲青陽會一周年記念素謠大會は十五日正午より稻本正謠社に於て催されたが、遼陽よりの應援もあり近來にない盛況を呈した

開原

教化聯盟の規約 協議會で愈よ決定す

十三日午後一時より警察署樓上に於て宗教團教育團軍人分會婦人會修養團青年團各新聞記者等參集協議の結果左の通り教化聯盟規約を決定した

開原教化聯盟規約

一名稱 本聯盟は開原教化聯盟と稱す
二目的 御詔勅の御趣旨を奉戴し國體觀念を明徵にし國民精神を作興し經濟生活の改善國力の培養を圖るを以て目的とす
三綱領 1皇室を尊び忠誠奉公の精神を發揚する事
2神佛を敬ひ感謝報恩の念を厚くする事
3浮華放縱を斥け質實剛健の美風を發揚する事
4忠實勤儉以て國民生活の改善に力むる事
5和衷協同信義を重んじ中正醇厚の俗を作興する事
四組織 本聯盟は宗教團、教育團、在鄉軍人分會、婦人會、修養團青年團及各新聞社其他の教化團體を以て之を組織す
五役員 本聯盟に左の役員を置く 委員長一名、委員若干名、常務委員五名
委員長は地方事務所長之に當り本聯盟を代表して事務を統理す 委員は委員長の委囑に依り重要なる事務を審議す 常務委員は常務の遂行に任ず 本聯盟は顧問若干名を置く事を得
六事務所 本聯盟の事務所は開原地方事務所內に置く
七行事 行事は定期の催事、臨時の催事の二とす
1定期催事 國恩感謝デー 日時 每月一日午前八時半、(時季により變更) 場所 開原神社
行事 國旗掲揚(社頭)、國歌合唱、皇居遙拜、神社禮拜
2臨時催事 宣傳、講演會其他
八經費 關東廳、滿鐵並に篤志の寄附金に依る

講演と映畫

教化聯盟成立發會式を兼ね講演並に活動寫眞會を十四日午後六時半より小學校に於て開催された前田署長は「教化聯盟成立に就いて」經過と組織並に吾人の覺悟に就いて陳べ川崎所長は「所感」委員長に就任挨拶並に今後の活躍に就いて陳べ小池全道師は「國難を打開せよ」宗教的方面より三大難關の突破を提唱し入宮堂長は「何にか國難」教育家として國難の依つて來る處を指摘し吾人の覺悟を促した後活動寫眞を映寫し我國の現狀と列國の對照を數字を以て如實に示し又「社會教化國難來」は國難打開に勤儉を說いて緊張せる努力の成果の美しき悅びと教化の實を示し盛會裡に十時半閉會せり

驛友會家族會

開原驛々友會にては來る十九二十の兩日に亘り公會堂に於て家族會を開催し活動寫眞等を上映する由なるが右は例年秋季開催の筈なりしを本年は驛舍新築中多忙の爲め延期になつて居たるを今回驛舍新築落成せるを以て之れが祝賀の意味にて開催さるゝのであると

明年から新曆使用 開原縣長布告

開原縣長は遼寧省政府の訓令に基き今般左の通り布告したと 民國改稱後既に十八星霜を經過せるに陽曆を使用するものは各官衙團體のみに過ぎず各商號は依然として陰曆の使用慣例を有するも南北統一以來國民政府教育部に於ては常に陰曆廢止するを提議し以て世界各國と同一となるため民國十九年一月一日より各商號は凡有る帳簿に全部陽曆を使用すべし

美しい献金 小學生から

開原小學校尋常五年生は過日男生徒の献金があつたが今回女生徒相良キヨ子、藤丸キヌ子、谷口三好、荒木榮江、小林トシ子五名がお小遣ひを節約した金一圓を警察署に持參獻金にとて差出した

强竊盜の兇賊逮捕 被害件數二十三件二千餘圓

本年四月以來當地に於て頻發せる强竊盜事件は何れも其手口酷似し同一犯人の所爲と見られ本年二月開原署に於て檢擧し支那官憲に引渡された原籍山東省清河縣解家庄佐所開原縣城內地塔寺無職王成立(別名王金發)(三)を有力なる嫌疑者と認め署員を督勵し極力之が所在捜查中十月二十五日午後三時頃開原城內に於て發見し頑强に抵抗するを格闘の上取押へたるも支那管內なるを以て一應支那官憲の承諾を經て本署に同行取調べの結果遂に包み切れず窃盜前科十犯を有する後は本年四月初旬開原縣監獄を出獄後も犯行を繼續し南滿電氣工夫曹鴻彩を襲ふたのを手始めに日支人二十三件の强竊盜を働き其被害金二千餘圓に上り此間四平街に於て四平街署に逮捕され留置中四五日の後留置場便所の取りの監視の施錠を忘れたるを奇貨とし午後七時頃隙を窺ひ之れより逃走し其より金譜子驛迄徒步にて赴き夫より豫て靴下中に隱し持てる金六圓を旅費として遂に奉天迄の乘車券を買求め乘車逃走したる等幾多の犯罪事實を自供したりと發見贓品は被害者に假下しされ取調べ終了と共に身柄は支那官憲に引渡されたりと云ふが共犯者中の王全如は支那官憲の手に逮捕されたと

安東

上級學校志望者 安東中學と女學校

明年三月懷しの母校を後に卒業する安東高女卒業生は總數五十六名であるが、彼女等の中には直に家庭の人となるものもあらうし上級學校にと學びの道を辿る者もあるであらうが、學校當局の調査に依ると上級學校入學志望者は十三名で其の中の大部分は師範の二部を目指して居るが、此にも一種の時代相が現はれて居る其の內譯を見ると左の通りである

京城師範四、福井師範一、富山師範一、同志社一、奈良女高師二、東京女大一、女子美術三

安東中學校明年春卒業生及び四學年修了生から上級學校入學志願者は約四十名で、現在のところ高等商業、高等工業等の專門學校入學志望者が大多數を占めて居る模樣で、各大學への志望者は極少數の見込である、現在就職難の折柄出來得る限り早く社會に乘り出さうと言ふ傾向を示して居る

葬儀料 大々的値下

安東葬儀屋では十四日午前安東署に代表者出頭葬儀料金及び寄贈花類の値下表を提出して許可を願出た、葬儀料に於ては從來の特等百五十圓を廢し一等百圓を以て之れに代へ以下總てを追つて改善する事となつた、寄贈花輪は最高二十圓の物を十圓に引下げ其の他に於ても三四割方の値下げを行ふ大勉强振りである、改正料金表及び事項左の如くである

葬儀料金表

一等	二等	三等	四等	五等
一〇〇圓	八〇圓	六〇圓	四〇圓	二〇圓

一、等級以外は相談に應ず
二、途中葬列廢止の場合も所定の料金を申受ける
三、雨雪の時途中葬列を爲す場合は二割の增金を頂戴す
四、屋外に特別祭壇の設備を要する時は別に實費を申受ける
五、傳染病死者の納棺は手數料金三圓を頂戴し御依頼に應す

寄贈花類請負値段表 (一對人夫付)

	一等	二等	三等	四等
花輪	一〇圓	七圓	五圓	三圓
花籠	八圓	六圓	四圓	三圓
生花	一〇圓	八圓	六圓	三圓
生花車	八圓	五圓		
放鳥車	五圓	三圓		
金銀蓮	二圓	二圓		
並生花花	一圓五十錢			

年末警戒開始

安東警察署では十五日頃より安義兩署相呼應して年末警戒を開始してゐるが、今日迄司法關係並に各派出所員の努力で過般來頻出してゐた夜盜、竊盜、詐欺犯等を殆ど逮捕した爲め、例年に比較して盜難被害が今月に入つてもあまりない模樣である

給水制限撤廢

新義州上水道は本年六月以來給水時間の制限を行ひ最近は一日二十一時間の通水となつてゐた處、十三日より全然制限を撤廢する事となつた今後少くとも結氷期中は全日通水を行ふ事が出來ると思はれるが、明年解氷以後夏季にかけては又々水不足におそはれるものと覺悟せねばならぬので、當分の間新義州の上水道は半年は安全で半年は不安の狀態にある有樣である

聯合大賣出し

安東に於ける輸組加盟店並に商店協會員の聯合大賣出しは去る十日から花々しく開始され、十三日迄僅か三日間の內に約七八千圓の賣出を示したが現在では未だ歲末氣分が濃厚でない爲め顧客の出足が少ないが、歲の瀨も押迫れば安奉沿線は勿論沿線各方面からも繰出して來て盛況を呈するであらうと思はれる

吉林

貯金週間 緊縮委員會活動

滿洲公私經濟緊縮委員會吉林支部幹事會を十三日午後二時より居留民會に於て開催されたが、愈々本部で十五日より二十一日迄を貯金週間とし全滿一齊に貯金を獎勵する事に定められたので當吉林に於ても之を各家庭に宣傳勵行せしむると同時に、又年末に際し贈寄品の廢止及宴會時の獻酬廢止、時間の勵行等をも宣傳することになつた、因に右宣傳文は近々各家庭に配布され、貯金の方法は吉林に日本郵便局設置なき爲め來る二十五日來吉する長春郵便局員に拂込むか、或は二十四日迄に民會に差出し民會より便宜局員に拂込みの勞を執る事になつたと

燐寸大會出席

支那燐寸同業者の全國大會を南京に於て開催することになつたにつき當吉林よりは泰豐、金華、榮志各公司の經理が代表として之に出席する事となつて居るが泰豐火柴公司經理朱心齊氏は既に吉林出發南京に赴いた由である

樺甸縣へバス運轉

吉林支那側經營の交通、英記兩長途自動車店では現下態々道路も完全に凍結し交通至便となつたので例年の通り吉林——樺甸縣間の乘合自動車を十四日より營業開始することになつた、尚其他の自動車公司も近く吉林——烏拉街——舒蘭方面へ長途乘合自動車を運轉する計畫であると共に吉林——樺甸縣間は片道吉林官帖一千三百吊であると

旅順

クリスマス盛大に ヤマトホテル

子供達の樂しいクリスマスが近づいて來た、旅順のヤマトホテルでも此夜は可成多數の來會を期待する爲め本年は大々的犧牲を拂つてより以上に盛大に行はんと川原支配人連日頭をヒネつた結果愈々廿五日の午後六時から例年にない降誕祭を行ふ事となつた晩餐券は大人券二圓子供券一圓二十錢で二十三日正午締切る希望者は電話二二六番に掛れば直に持參屆けるさうで參會者には福引幸運の金指輪其の他坊チヤンや孃チヤンにはサンタクロースのお土產を澤山與れる他市街の御客には歸りの自動車を提供すると云ふ大勉强振りである尙當夜の御獻立を一寸失敬するとあるわく

一、清羹汁、二、伊勢海老、三、豚肉煮込、四、花玉菜、五、七面鳥、六、お菓子、七、菓物、八珈琲

の他酒はポンチ又はエゲーンを提供するらしい

公主嶺

商店活氣付く

緊縮節約の聲に悸へてゐた商店も歲暮になつて活氣つき、聯合商店賣出し景品付大賣出しは十一日より花々しく開始、輸入組合の賣出景品等に人氣を集めてゐるが街摑きに油の乘るのは廿日頃からであらう

…花柳だより…

料亭いろはでは一枚看板の小三外三名の美妓が各地に轉籍したので之れが補缺に今回輸入した三名の新妓中二名は姉さん株に屬し十一糎は總ての點に於いて萬龍姐さんと伯仲してをると▲喜久屋で直輸入した喜代香と茶丸は愛嬌がよいとの評判▲京の家でも近く數名の美形が入籍するので新年の宴席には解語の花盛りとある

北滿

十一月中に於る北滿の金融狀況 朝鮮銀行支店調査

【ハルビン發】十一月中の北滿金融狀態は朝鮮銀行支店の調査によると左の通りである

本年は南米亞爾然丁の不作の豫想など傳へられてゐたので北滿大豆の輸出は大に期待されて來たのであるが、豫想は漸次裏切られ歐洲油脂界には棉實椰子落花生其他の强敵が現れて來たので恒例の角逐を又此年も繰返す事になつた、買急ぎの必要がないのと

北滿の政情 が不安定なのとで歐洲に於ける北滿大豆は月初めの十一磅から漸落して月半には十磅八志と云ふ未曾有の安値となり、全然採算不可能に陷つて了つたのみならず南滿日本とも凶作で此方面の需要も鈍いので、月初め外商が五百車ばかり買付けたのと油房筋の原料買付が二千車足らずなつたのみで前年に比し激減を示した、當月中旬末から下旬初めに亘りロンドン相場が十三分の四志迄引返し當地相場も五錢方の下落となつて折合つたので輸出商の買付あり二千四百車見當を數へた月末近くまた十磅六志に下落したけれども露支和平交涉開始稀有の銀安と地方的情況が轉機に向つたので安達、滿溝、一面坡、對靑山の諸驛を中心に內外支人とも競つて買進み、三千六百車の出來高を示した

內外支人の 買付割合は二〇〇〇車二五〇〇車四〇〇〇車と云ふ所である、麥粉の海外輸出は禁止となつてはゐるが支那官商筋や官邊に連絡ある火磨筋は便法を以つて南方積出しを許されるしカナダ粉との關係もあるので原料麥粉の買付けは大體順調に行はれ相場も比較的强調で月中約千五百車の市內沿線取引があつた、豆粕は上旬神戶其他の日本市場がヂリ安買氣薄であり南支南洋方面も政情不安其他で需要減であつたので當地市況前半弱含みの形であつたが、粉末粕食料油材料としての地方消費もあり銀安値下り關係もあり三井三菱と云ふ大手筋の勇躍をも見たので下半から漸次盛況となつて月中約千二百車の取引があつた見込である、豆油はロンドン相場が二十九磅十志と云ふ所なので外商連は引續き

拱手傍觀で 邦商に限られてゐる、而も運賃問題其他があつて出來高は百車內外に過ぎなかつた、穀物の多くは輸出禁止中なので單に近年類例のない安値に乘ずる一切買惑筋と酒精原料其他とする需要筋の地場取引が上旬あつたばかりで、此方面は極めて不況であつた、傳家甸糧業交易所は上旬小麥大豆出來高仲中旬大豆倍加し下旬小麥肉薄の形であつた結局に於て大豆五七圓一車小麥四〇二四車と云ふ域で大體順調であつた、大連市場は上旬閑散裡に經過し中旬に入つて一時豆粕豆油高築强調となり市況緊張を見せたが月半からは一般に警戒振はなかつた樣である、既に契約も終焉し時局柄沿線から買付入込みも少なく掛買警戒の折でもあり市民の

購買力も低 うしてゐる糸布雜貨等一切新規入貨もなく沈衰狀況に推移した、但し燃料農耕具綿類は時節柄兎も角相當の需要もあり相場も强調であつた、當市場は地の利關係から日本商品が比較的豐富な點であるが金圓騰貴の影響により勢ひ手持商品が割高採算となるので一部問屋連は恐慌を感じてゐる有樣である、露支交涉の成立東鐵人事の一段落を見ない內は輸入界の好況は望まれまい、哈大洋は五七圓八〇錢見當で當月に入つたが金解禁を差控へロンドン銀塊が二二年と十數年來の安値を辿り、西部線戰況で支那側不利の際だつたので暴落步調に終始し二六日には遂に五四圓五五錢に崩落し市場の動搖を來したが、月末對露和平會議開催となつたので漸く五五圓八〇錢に戾し小康を得た、

一般金融界 は前月同樣の經過であつたが三菱三井兩雄の活躍につれ特產資金の流入增加し當月に比し約四百五十萬圓增し同業者預金は約九十萬圓の減少となつた

第七回 滿日勝繼碁戰(乙部)(勝三回目)

先二先番 鶴田 乙部 後藤 勇氏

●二一トの十八 ●二五ホの十四 ●二九タの十 ●三三ワの十 ●三七カの十
○二二トの十七 ○二六ニの十三 ○三〇ヨの十一 ○三四ワの十一 ○三八ソの十三
●二三への十八 ●二七ホの十三 ●三一ヨの十 ●三五カの十一 ●三九ヨの十三
○二四チの十四 ○二八タの十一 ○三二レの十一 ○三六カの十二 ○四〇ヨの十二

商工名鑑

推奨

兼て本紙を以て宣傳中の京阪神の有力なる商工業者を網羅せる紙上展覽會は愈々本日商工名鑑なる題名のもとに茲に華々敷掲載仕候

下掲商品は既に定評ある如く京阪神に於ける優良品のみにして我社が極力御推奨申上る次第に御座候へば何卒御安心の上御取引被下は幸甚の至に御座候

利は元にあり仕入は確實なる店を撰べ　こ

金解禁斷行を目睫に控へ本年掉尾の活氣ある商戰に先づ必要とする商品の御仕入は優良商品にして確實なる仕入先の御撰擇こそ肝要かと愚考仕候

時に當り下掲商工業者の製品を御購入あらんか必ずや御期待に添ふべき事と弊社は確信以て御勸め申上候

大阪高麗橋　昭廣社　（c）　敬

ドライアーゼ　Dreiase

食慾増進・消化酵素

各國專賣特許

肺肋膜胃腸病　消化榮養酵素（粉末錠劑）

▲ドライアーゼはリパーゼ（脂肪消化酵素）、ウレアーゼ（蛋白分解酵素）、アスターゼ（澱粉消化酵素）を樞軸とし其他吾人生活上に必要なる多種の酵素を特許製法に依り治療的意義に含有し臨床諸大家の絶讃を博せる世界的消化劑なり。

▲本劑は暴飲暴食に依る消化障碍、食後長時に亘る食滯感、胃腸内に於ける異常醗酵、急慢性胃腸カタル、消化不良症狀（乳小兒胃腸カタル）肺結核、肺尖カタル等に依る食慾不進、腹膜炎、衰弱防止、血壓亢進等に偉効を奏す。

▲從來の單一酵素（ヂアスターゼは澱粉消化酵素）は服用に際し臭味あり副作用ある如き時代は去りドライアーゼの如く脂肪蛋白澱粉等を吸收せしめる多種能力を消化發揮する多種酵素時代を到來せしめたり。（説明書贈呈す）

發賣元　白井松新藥部　大阪市東區平野町一丁目

代理店　東京市日本橋區本町三　鳥居商店

ハナトオール

耳鼻脳藥

はなのくすり

世界的信用ある唯一の耳鼻脳藥!!

ハナトオールは耳鼻脳症治療の散布藥で鼻充血・鼻加答兒・鼻茸・肥厚性炎・鼻炎症・蓄膿症・鼻閉塞・耳内濕疹・耳加答兒・耳痛及之に原因する腦病・神經衰弱・ヒステリー・眩暈・耳鳴等に偉効あり

無代進呈　鼻の衛生小冊子

藥價　五十錢、一圓、二圓

大阪島之内　鹿島藥廠

振替大阪三一二一六番

全國藥店にあり

朝日乾電池

お徳用は結局良い品はせよ進めお決

ラヂオ用　燈火用　通信用

製造元　朝日乾電池株式會社

大阪市西成區北通八丁目　電話濱四〇五〇・四〇五六番

東京市外淀橋一〇三二　電大塚(86)二六一番

全國有名電氣店ラヂオ店にありますから必ず朝日を御指名御求め下さい

東洋一の製產工場完成　千代田椅子

理髪用　結髪用

記念特賣

專賣特許　アルス皮染料

これで「リメル」と如何な「ハゲ」た皮でも染ります

特價　六十錢

椅子一台半分染上げ出來ます

最新型ダイヤモンド號

品質のよいのでよく賣れる

カタログ贈呈

大阪港區九條南通一丁目七五八

株式會社　千代田商店

電話西一二二二・二四四四・三四四番

振替大阪五七三〇番

太陽光線治療器

本器は天然の太陽光線を利用して凡ゆる疾患を治癒せしむる最新の世界的發明にして其使用法は頗る簡易而も奏効確實なる萬國專賣特許品也

郵券六錢封入　會説明書贈呈

大阪市電・谷町六丁目交叉點

太陽光線學會治療本院

ライオン印作業服

ヤブレヌ・ホコロビヌ・釦ノトレヌ服

斯界の霸王

陽天覺

正藍染（紡績最新機械製卸及製）生地堅牢無比

正藍染裏白及立縞製品、並に綿物染スレン、茶格其他新流行の諸縞柄製品も揃つて居ります

五倍ノ耐久力確證

カタログ生地見本進呈

市内洋服店ニ販賣とり

大阪市南區内安堂寺町一丁目三四

製造元　本城信玄商店　電話東二一七一・五三三六番

東京支店　東京市京橋區南鍋町二九　電話京橋6941

松筒自動車運轉手養成

最新式設備に依る

實地練習を本位とし、學科教授には活動寫眞を應用す

如何なる素人と雖も甲種免許證得せしむるが本會の特長、本會にて免許證を得たる者參千數百名有り卒業の曉は責任を以て就職せしむ目下就職口多數あり、晝間部夜間部、寄宿舍の設備ありて大阪京都、神戸共通の大特典あり

（申越次第會則進呈）

本部　大阪谷町四丁目

支部　京都七條河原町　神戸大倉山交叉點

松筒自動車同好會

じんぞう病に　コバ腎臟煎

慢性胃腸に　ヲフト

月やく局部直接療法　強カブギン

正價

腎臟煎　壹圓五十錢　參圓　五圓

ヲフト　壹圓　貳圓　五圓

強カブギン　四圓　七圓

全國各藥店に有り

大阪市東成區大今里町

製造元　小林藥學實驗所

振替大阪一〇七七〇番

洋服　セビロ　モーニング　オーバー　トンビ

生徒製作品實費卸

既製品ト誂品（カタログ進呈）

既製品ハ大小長短寸法各種アリ

黒サージ　金30・35円

黒、霜降上等メルトン　金三十円

茶、黒、霜降スコッチ金15・25・30円

縞ウオステッド金二十八円金卅五円

上衣チョッキ、黒、金卅五円

ズボン縞　金十五円

黒、茶、霜降スコッチ金10・15・20・25円

黒、茶、紺、霜降ラクダ金25・30・35円

金20・25・30・35円、黒ラクダ（サテン裏）

地方注文ハ特ニ親切ニ取扱フ　身長體重及御年齢記入ノ事

財團法人　大阪洋服學校

大阪中之島

洋服裁斷科通信教授（規則書ハ郵券貳錢）

電話土佐堀二七五一番

振替大阪一九〇九六番

金山自働製綿機械

中井式專賣特許第七四四二六號

各製糸會社御用機

名譽金牌受領

材料はヲラ五厘、針金一錢、能率一日二三十枚容易、見本切手廿錢要

特約店大募集

〔自働マブシ機械〕

全國養蠶家が三百萬人の有名な認むる此の自働マブシ製作機は實行するに莫大な利益を示す、山ザンマブシのキシン

大阪東淀川區新京阪淡路停南

發賣元　中井産業店

電話北八五二　振替大阪六六一〇一

富士生命

松茸・榎茸の栽培

儲かる有望な

今や栽培の絶好期

案内書無代進呈

農林省推奨の食用茸は年中庭先小箱等で誰でも殆ど無資本で簡單に、松茸やナメ茸や椎茸の栽培法を當園で大體利用して昔から珍重された食用茸を指導致します、出來た茸は無限の需要がありますから大の儲けが得られます

大阪市外吹田町

電話二六九番

食用茸元祖　桃山農園

空氣銃と霞網

値下斷行　特價賣出（鑑札不要）

ダイアナ　小型　五圓　中型十一圓　大型十四圓

特二十四圓　BSA

オリジナール　各二十五圓其他

米國デジー式千連發　七圓

五百連發　五圓　單發　四圓

送料各五十錢

獨手に魅る小鳥獵用網　長サ（三間五圓・五間八圓）送料十八錢

（型録進呈　郵券二錢要）

絹糸製　カスミ網

大阪天王寺區上本町八丁目

春光堂商會

振替大阪三六七七番

コクチゲン

我政府ニ於テ最モ優秀ナル事ヲ立證セル理想的新治療豫防劑

京都帝大教授　鳥潟隆三博士創製

特徴　副作用皆無・効力優越　百度ノ高熱ニモ變質セズ　皮下・靜脈内注射兩用

コクチゲン治療用

淋菌、結核菌、百日咳菌、連鎖狀球菌、葡萄狀球菌、肺炎菌、肺炎混合菌、インフルエンザ菌、大腸菌、流行性腦脊髓膜炎菌、パラチフスA・B混合菌

豫防用コクチゲン

チフスコクチゲン　赤痢コクチゲン　コレラコクチゲン

包装（アンプル入）一〇瓦十管・二〇瓦十管（圓筒入）一〇瓦・二〇瓦・五〇瓦　特ニ大多數入用ノ際ハ御相談ニ應ズ

發賣元　大阪市東區道修町三　福井七商店

製造元　鳥潟免疫研究所

エーアーガス

燃料界の超大革命

山口式エーア瓦斯の出現！

緊縮節約時代の福音！

燃料問題解決の光明輝く

まづ工學博士内藤游先生の證明によれば

今回御發賣のエーア瓦斯發生裝置につき實驗の結果極めて容易に短時間に瓦斯の發生を見而かも經濟的、炊事用として石炭瓦斯より遙かに經濟的に其効力を發揮し且其他の目的にも應用し得て充分なる見込を有するものなることを信ずるものに候

昭和四年六月十三日

工學士、緒方工學士からも御推奨をうけて居ります

特長　設備簡單・普通瓦斯料金の半分以下　火力强烈・常に熱量一定　故障破損・危險はなし　經費僅少・文化的のもの

煖火、七輪、暖房、風呂に引用

オグロ上

特約店募集

日本エーアー瓦斯商會實驗所

大阪南海沿線貝塚半田

電話貝塚七三番

〇百聞一見に如かず〇是非一度來覽あれ

肝油

純良無臭

眼鏡印肝油

滋養强壯

ヴイタミンA及D含有量第一

僅か金三錢で大人一日分の營養が得られます

一番のみよい

（各藥店ニ有）

發賣元　伊藤千太郎商會

大阪道修町

金城印ゴム長靴

名實共に日本一長靴

丈夫に強い値段の安い

大卸値段表送呈

販賣店至急募集

名古屋市千種町

合資會社　金城ゴム商會

肺病

（靈藥）秘方公開

肺病、ロクマクにて種々の藥や注射や新療法で治らずお困りの方へ多數の全快者が靈効を證明せる　當山御相傳

秘方靈藥を救ゆ

人助けの爲この廣告切り拔き切手二錢封入申込の方へ

靈藥處方の秘傳書詳細の説明書　無代進呈

大阪府小阪町　功德山　德林寺

若返り珍具

獨身者の愛具　性慾調節妙器

〇男子專用一具特價參圓也

〇女子專用一具特價貳圓也

前金送料内地不要海外は四十五錢（代金引換は二十三錢増）

●總軟ゴム製にして永久使用に堪へる

●湯注入して使用す安價他品と比較乞

【お氣ニ召サズバ返金ス】

性慾秘藥　三圓、五圓（送料共）二十錢

奈良縣八木局第五區内

製作發賣元　山口製作所

振替大阪六〇〇〇九番

肺病は癒る

肺病は年と共に益々蔓延し僅々本病に犯されても三年や五年は潜伏期の症狀である從來是に適當なる療法を發見せざりしが今度外山藥學士が獨逸伯林滯在研究の結果新製の高貴藥を巧に配劑したる完全無缺の最高級新藥「サタフチン」を創製せられ斯界の專門大家醫學博士前坊源一郎先生が現代醫學界に於て凡ゆる治療劑が期待する効果なきを遺憾として更に學術的に幾多臨床研究の結果其効力に於て絶大なる反應ある認められ醫界に誇るべき最良劑として廣く病者に推奬された唯一の治肺藥なり

（説明書進呈）

大阪東區釣鐘町二ノ五　東亞藥院

盤旋と時計

内案　時計修理獨案内也

定價金五圓

本美製皮總墳裝

これさへあれば素人でも容易く時計の修理が出來ます現在時計に經驗のある方は化學的の研究が出來ます

HOROLOGY AND ITS MANIPULATION

内容目録贈呈　全國有名書店にあり　品切の節は直接御申越を乞ふ

大阪市東區糸屋町　株式會社　福村時計店

りん病根治療法

特約店募集

東京帝大出身外山藥學士が渡歐苦心研究し最も合理的の配劑を漸く完成せる新劑であり且又醫學博士小西代治先生が現代の醫學界に於て凡ゆる治淋劑で期待する効果の無きを遺憾として更に學術的に幾多臨床研究の結果本藥「ゴノツキル」は其の効力に於て絶大なる反應あるを認められ醫界に誇るべき治淋劑として廣く推奨さる本藥は全治保證藥であります

（説明書進呈）

發賣元　十五藥房

中風病

からぬ秘訣

ちうき　動脈硬化　ほんとによくきく　專門秘藥療法

動脈硬化は腦溢血の前驅症狀●中身不隨、全身不隨舌もつれ手足シビレ歩行困難等の中風に現在悩んで居る人は二度目に發作すれば命が危ない今の内に安全に早く直しなさい

復せられよ本所主の家庭は不幸にして血族三人まで中風で倒れ所主自身も中風の徴候ありしに世に眞の良藥を見ざる深刻なる要求のため何事も擲つて研究に一生を懸命となり遂に中風治療法の研究に成功して最後に所主自身は今の健康幸福を得て居り之を諸人に實驗するに其効力益々驚くべく助かる人日に月に多數上り日本中有名になりました

タダアゲル

兵庫縣明石市中町

加古中風藥研究所

月やく

朝の満足

寢る前の服用

流經專門劑

新時代の權威ある新らしき流經藥

吾國の流經藥に良藥なしとの聲を聞く時本劑の出現は渇望せる婦人に激賞せらる

數ヶ月の月經閉止に、奏功最も迅速、絶對安全にして見事な流經作用を有す

本劑は、寢る前に服用して朝効く藥として世界的に認められ、他の流經藥の比にあらず。

御心配の方は直ちに來訪相談あれ、遠方の方は手紙で閉止期間を通知あれば詳報す

●送藥　お急ぎの方は送料切手三十錢封入閉止期間を通知あれば代引少包にて送藥す

京都北野天滿宮前　本舖　西山研究藥院

（電話西陣二六九八番）　西山千代

◇慣める幾多の婦女はスグ試みて

暗黒より光明へ◇

重くなつての手術より輕い時の手當

美神丸

子宮　座藥

すぐきく婦人病の自宅療法藥、手術しても直りにくい種々の難病に効驗あり全快したこの證狀を澤山受けて居ります

婦人病を手輕に治す

コシケ止め

大評判の名藥

美神丸は効能書にある通り必ず効驗あり

美神丸本舖

合資會社　宮内善進堂

大阪市東區瓦屋町

有名藥店及特約店に有り

（特約店大募集）

試藥進呈

お試めしになりたい方は新聞を切拔き六錢切手封入御申込願ます

小粒セイロ丸

胃腸病・肺肋膜ノ良藥

時代は移る今やセイロ丸は婦人子供にも呑み易き小粒が大好評

在來の類似藥にあらず驚くべき奇効あり論より證據一度御試めしあれ

定價壹圓より十圓迄（送料不用）

包にて送藥す　ハガキで御一報次第代引

本舖　大阪市南區問屋町二四

浪速製藥株式會社

電話南一五一五番

純漢方藥の提供

◇支那劉家八百年來の家傳藥

性慾增進　漢方秘藥　强十精

陰〇・早〇・夢〇・遺〇の決定的治療藥

四百粒入金八圓也　送料金十八錢

朝に出て夕べに消ゆる洋藥と異なり、既に過去八百年の歷史は今尚其効果を燦然と證明して居る。其の昔精力絶倫を以て有名なる漢の元順帝や秦の始皇帝が秘密に持藥として用ひられたるもので、今井豐雲先生によつて其製法の秘傳が研究せられし以來同病者に試みたるに驚くべき効果を確認す

今此の高貴藥を提供し得るは獨り我が社の誇として同病に苦しむ者に奬む

大阪市南區高津四番町七六

頒藥所　十五藥房

振替大阪二七〇〇五番

肺病はにんにくそてつの實

肺患者ハ必ズ一讀セラレタシ

有効成分のコノコールにより根治す

他藥を用ひて効なき方は直に求められよ

數名の專門醫師よりなる當社附屬診療所及藥理研究所に於て多年苦心研究の結果完成したるものにしてコノコールの一球はにんにくそてつの實十數個に相當する有効成分を含有し呼吸困難を治しセキを止め盜汗を去り食慾を亢進し體重を增し血色を良好にし胃腸を健全ならしめ藥嫌ひの子供にても服めるやうにした最良藥にて其効果は偉大なり（定價二圓五十錢五圓拾圓）

直接注文又は近くの藥店より取寄せられよ

説明書送呈

大阪市東區不動町二丁目

チエ製藥合資會社

リウマチ神經痛

人助けの爲必ず効く（漢法貴法）を教へます

關節炎、せんきの自宅療法

無料

患者はぜひお試めあれ

色々と手をつくしてもどうしても治らぬ足腰たゝぬ重い慢性の人もふしぎな程よくなるので昔より澤山の人を全治せしめた名高い河内の漢法貴方として詳しく此の療法を無料でお知らせ致しますスグハガキで申込まれよお金はいりません

大阪府下河内布施町

招福院本房

コドモページ

▼雪のお話(一)

滿洲の雪と內地の雪

皆さん、雪といふものはどんなものか御存じですか、なんていふと何あんだ、雪ぐらゐ知つてら、此の頃時々降るぢやないか雪はお砂糖のやうに白くて、冷たくて、日が照り出すと溶けるもので、雪だるまなんかこしらへるものだよ、と皆さんは肩をいからすかも知れないが、

＝それ位の＝ことなら赤ちやんだつて知つてますよ。では雪とはどんなものか、それを少しばかり聞かしてあげませう

皆さんは滿洲の雪も內地の雪も同じやうに考へてゐるかも知れませんね、もちろん、內地の雪だつて冷たいし、白いし、日が照り出せば溶けても行きませうだが、雪の出來かたがよほどちがつてゐるのです。ところで內地には

＝どんな雪＝が降るかといふと、たいてい綿を千切つたやうなボタ〳〵した雪が降ります。雪の降る日に、傘をさしてあるくと、傘の上に雪がつもつて、持てない位になり、足駄をはいて雪の中をあるくと、足駄がまるで雪だるまのやうになつて、しまひには、步けなくなつてしまひます。だから、そんな時は道の電信柱などに足駄をぶつつけて雪を拂ひながら步かなければなりません。この雪が

＝松の木や＝枯枝などに綿をかぶせたやうにつもつた景色は、實にたとへやうのない美しさです。お酒のすきな人などは雪見と稱してふくべを下げて雪見に出かけたりします。ところが滿洲の雪はどうです。まるでザラメのやうにさら〳〵して、外套についた雪でも一寸拂へばすぐきれいに取れてしまひます。地上に積つた雪も風が吹出すと、埃と一緒に

＝空高く舞＝ひ上り屋根の上に雪がたまるやうなことはめつたにありません、これは何故でせう。まあ明日までにゆつくり考へて置いて下さい。

童謠　つらら

大廣場小學校一年　森　照男

つららがたくさん
下つてる
お屋ねの下に
下つてる
とてもとても
あまさうだ
つららがたくさん
下つてる
お屋ねの下に
下つてる
ほんとにつららは
つめたいな

ニドメノ　大チャンノタンケン　(163)

ハルミチ作　ジラウ畫

大チャン ハ カタテ ニ ピストル ヲ ニギリナガラ ホラアナ ノ ナカ ヲ ノゾイテミマシタ。ソレト イツシヨニ 大チャン ハ「アーツ!」トイツテ オドロキノコヱヲアゲマシタ。

オウ ソレハ ナント オソロシイ マモノテアツタテセウ。ランラン ト ヒカル メ、オホキナ アタマ、ケダラケノカラダ、ヒトメ ミタダケデモミノケノ ヨダツヤウナ オソロシサデス。

カヘリミチハ マモノニ フサガレテヰマス。カイガンハ キリタテタヤウナ ゼツペキデス。ニゲミチハ ドコニモ アリマセン。大チャンタチハ イヨイヨ マモノト タタカハナケレバナラヌトキガ キマシタ

童話　船の出る日(上)

眞木浩二

外には小やみもなく、こまかい雪が降りつゞけてゐました。

次郎さんは、白く曇つた窓ガラスを通して、港の雪景色を朦朧と眺めて居りました

油の様に靜かに動いてゐる青い波。黒い煙りを吐き出してゐる大きな汽船。大きな煙突から吐き出されて濁つた空に消へて行く煙。黒い雲から雲へ飛び廻つてゐる鷗。それらのすべての面白い雪景色も次郎さんは泣くまいとしても、獨りでに涙が眼の奥からにぢみ出るのでした。

次郎さんのお父さんは、大きなお船の船長さんでした。それですから、いつもお船に乘つて、遠い遠いお國へ行くのです。そして今日も又、大きな船に乘つて、暖かい、南のお國へ行くのです。そしてお父さまが歸るまで、お母さまとたつた二人きりで寂しくお留守居をしなければならないのです。それを思ふと次郎さんは何だか淋しくなつて、眼の奥からひとりでに熱い涙が湧き出て來るのでした。

次郎さんはいつも「お父さまはどうして僕やお母さまを殘して遠いところへ行かなければならないやうな船長さんなんかになつたのだらう」と思ふのでした。然し、次郎さんは、お父さんが船長さんなので一つ樂しい事があるのでした。それはお父さまのお船が出る度にめづらしい外國のお土產を買つて來ていただく事を約束する事でした。

今日も次郎さんは、お父さまと約束をするお土產の事を紙に書きました。それには

「オトウサマ、僕ニ、今度、暖イオ國ニアルオイシイオ菓子ト、果物ヲ買ツテ來テクダサイ。ソレカラ、オモチヤノ、ピストルト、汽車モ買ツテ來テクダサイ。ダケレドモ、僕一番オ父サマニオ願ヒシタイノハ、オ父サマガ、早ク歸ヘツテ來テクダサル事ナノデス。サヨナラ
パパサマヘ　次郎」

と書いたのです。次郎さんは、それを赤い小さな封筒に入れると、お父さまの洋服のかゝつてゐるお部屋に行つて、服のポケットの中にそれを入れておきました。

米歐　ところどころ……(七)　空より見下したキャンプ地の壯觀

阿左見福馬

少年團國際大會の開かれた英國アローパークの綠の森のふところに平和の夢を結ぶ五萬の健兒、黃、黑、白、茶をまぜて〳〵、何とまあ之は人種の展覽會ではないか。かはす言葉は、ハイ、イエス、ウイ〳〵、ヤア〳〵等々、日、英、佛、獨ゴシヤ〳〵ながら、何と明るい愉快な大集會であつた事だらう。

兒童の作品

算盤

松林小學校六女　江口ルイ

もう始まつてゐる。先生のおごそかな聲が室一ぱいにひゞいてほんとうに靜か、

「五圓五十七錢也、八圓七十六錢也、六圓とびの五錢也……では」

「はい〳〵〳〵」

皆の手は一齊に上つた。私はうらめしく思ひながら、つゞきを入れてゐた。今のはいくらだつたかな――。不意に、

「六十圓五十錢です」

「よろしい」

「ごはさん」

私は吃驚して、算盤をふり、五珠をメチヤ〳〵にはじいた。

「二十三錢也、二十八錢也、三十九錢也……」

もう始まつてゐる。私はやつとこ〳〵入れながら、十四錢入れる時、算盤は九十八錢である。そろ〳〵十錢を入れると、一圓で「九に一たすの十」だから、先づ四を拂つた、五珠を拂つて四の方はえゝと……考へてゐる間に、もう先生は先をずん〳〵おつしやる「一を上げて五を拂ひ十を……」と思つてゐると、先生は、

「……では」

とおつしやる。もうがつかりして顏をあげると、隣のAさんは威勢のよい聲で「ハイ〳〵」といつてゐる。間もなくBさんが答へた。

「三圓五十七錢です」

「さうです」

皆は元氣のよい聲であるが、私は上を向く勇氣も出なかつた。その後、二つ三つして終つた。お道具を手にもて教室を出た。歸る途々、厭な思ひをして家へ歸つた。母は居ない。だまりこくつて鞄を投げ出し、早速算盤をし始めた。

「一六五、一六五、一六五」又は

「一錢、二錢、三錢、四錢、五錢」

とつぶやきながらしたけれど、どうも思ふ樣に手が動かない。二三回でやめてしまつた。算盤を見つめながらこんな物が發明しなかつたらいゝけれど、など思つたりした。うらめしいなあ、けれども、此の間新聞に出た中山さんの「努力」といふ作文のことを思ひ出して「さうだ、しやう、そして上手にならう」ときつと考へ直ほした。一生懸命にしやう、上手になる日を樂しみに。

雪の日

松林小學校二年　小西キヨ

朝おきて見たら雪がふつてゐて、空は黑くて、風はひどく音をたてゝゐました。家のうらも雪がお山のやうにつもつてゐます。家の内だけはストーブがたいてゐて、大そうあたゝかです。とうとう學校へ來る時になりました。オーバを着てお父さんにつれられて學校へ來ようとしたが電車が來ません。その前の大連タクシーの所に行つて自どう車をまつてゐてもそれもまいりませんでした。そこへ一だいの電車が來ましたからそれにのつてすはりました。その電車も雪のために、すこししかうごきませんでした。とうとう學校へ着きました。その時は書方がはじまつてゐました。

『世間の若い娘は傭員には嫁にも來ない』
パンフレット、宣傳ビラの審理
滿洲共産黨事件(第四日午後)

滿洲共産黨事件公判第四日目午後一時より續行、第五事實の審理に移り先づ満鐵立つて滿鐵傭人に對發せる問題のパンフレット及び宣傳ビラに就いて

「昨年十二月十二日大連の田中龍男君から來信があり行つたところ、秋田さんが居合せ退職手當や常時御大典の時の臨時賞與に對する

不公平 を語り、その對策を考へ傭人諸君の自覺を促すためパンフレット及び宣傳ビラを頒布する事にして印刷は私が引受けると約しました、其後又田中君から來信があり小林君が原稿を持參するから刷つて呉れと委託され間も無く小林君が原稿を持參しましたので、旅順の太田君の宅で徹夜して謄寫刷をしましたパンフレットは約二百部ビラは全部で四千枚位と思ひます」

「斯んなものを送つて出版物違反に觸れる事を知らなかつたか」と問かれ

傭員間 に配布するのですー唯傭人の待遇の事等を訴へたのだからかまはないと思ひました、また出版物取締法等の法律の事は私は知りません」と答へて下る、次に松田立ち「ビラは傭人にだけ配布するつもりでした」と答へ、裁判長より四種のビラを提示され配布前この文句の内容を知つてゐたかと聞かれて當時旅順で營口に歸る時間が迫つて居たので

謄寫刷 のビラも讀む暇がなく配布後その内容を知つた次第です、尤もビラを頒布する必要は感じ居ましたが、今から考へると當時私が此のビラを配布前一讀して何とか手を加へておけば今日こんなに多數の方々に迷惑をかけなかつたらうにと思へば實に殘念に存じます、法律の事は知りませんので出版物取締規則の事等詳しく調べた事はありませんが、社内でも簡單な印刷物は屆け無しに配布してゐると聞いて居ましたし特にこれ等は社内の傭人間に頒布するのですから法に

觸れる とは考へませんでした」と陳べ、次いで昨年末准職員、職員の三階級に變じた經緯を語り「世間の若い娘も傭員と云へば嫁にも來ない有様です」と叫んで傍聽の若い女性を失笑せしめる、更に問題の退職手當に就いて十五ヶ年勤續者の職員は月俸の九十個月分で、傭員は日給の五百日分しかなく我々はせめて職員の半分にとぎつけ樣と運動したが、

社員會 でも容れられず遂に社員會に失望した我々は團結を擧らんと訴へるためパンフレット及びビラを頒布した事を陳べ、更に滿鐵人事行政に對して攻撃し、豫審に於けるパンフレットの私有財産否定云々の内容を否認、次に矢部立つてパンフレットに就いて「お前が關係したのか」と問かれ「私が田中君を訪ねた時田中君は恰度パンフレットの

原稿を 書いて居る時で私の意見を求めたので、私は御大典の當時、政友會の議員買收事件の事や其の費用は山本滿鐵社長から機密費として出してゐる事實を聞いてゐましたので抑々牛官牛民の滿鐵が如何なる惡事も國家的權力を利用して行ふ事に大なる憤懣を感じ、その事を田中君に話しました、ですから此パンフレットの内容について此點が忌諱に觸れるのでしたら私の責任であります」と明斷な口調で陳述す、次いで宣傳ビラに就いても自分が訂正せるビラを郵送しても法に觸れるとは思はなかつたと陳べて下る、次に

推薦狀 等を見てゐたので旨肯定し、當時市會議員の小林呼ばれて「パンフレットは原稿を旅順の廣瀨さん宅に持參して翌日刷れたのを貰つて歸りましたが、給ひ讀した位で讀んでもよく判りませんでした、ビラも唯傭員等に送ると云ふ事だけは聞いて知つてゐました」と答へ四時十分裁判長は明日午前十時より續行する旨告げて閉廷した

別府の張宗昌氏二萬圓の無心
きのふ旅順の老母へ

別府にある張宗昌氏はその後策動もならず空しく溫泉氣分に浸つてゐるが、如何なる理由でか十六日午後旅順にある老母張候氏に對し「金二萬圓至急送れ」と打電をよこすところあつた、右は今後の張宗昌氏の動きと相當密接な關係を有して居るものであるらしいが、老母は今日のところ送金の意思はないらしい、聞くところによると老母はさきに張宗昌氏を訪問した際現金二萬圓を當座の小遣ひとして給與して來たものであると

星ケ浦西海岸で邦人が縊死
昨日共同便所内で發見 會社員風の青年

十六日午後零時半から星ケ浦西海岸共同便所内に邦人の縊死體あるを公園見廻りの園丁が發見し沙河口署に請願派出所に屆出でたので同所の安東巡査は竹澤囑託醫立會ひのもとに檢視を行つたが新調の花色綿入三ツ揃背廣に縞のワイシャツを着て同じく新調の飴色長靴をはき一見角刈廿七、八歳位の會社員風の男であるが懷中には敷島の煙草に萬年筆にて遺筆に「不孝の罪は御許し下さい」と記入しその他金側腕時計遞信省の十月十九日附の赤切符と旅順郵便局繪ハガキ等を所持するのみで身元判明すべき物もあまさず傍らに燒棄してある

ため身元判明せず死體は市役所に引渡したが、尚傍らに旅行用のステッキ兼用の洋傘が立てかけてあるところより最近内地より來連したものらしいと

久須美氏に破産の宣告

【東京十六日發電】越後鐵前社長久須美東馬氏は十六日正午東京區裁判所破產部藤井判事から破產宣告の言渡しを受けた、申立人は市外小菅、樋湯明氏外三名で同氏振出しの手形が不渡りとなつたためで久須美氏の債務總額は百二十萬圓に達して居る

僞せの子孫で土地橫領を企つ
淸水川普通學堂の支那教員
貔子窩署員を買收

十六日午前十時檢察局では貔子窩より貔子窩民政支署總務課法務係瀨川勇太郎、同組譯生小柳任、代書人細野定次郎及び淸水川普通學堂教員姜年盛の四名を引致し高井檢察官より何事か

極秘裡 に取調べてゐるが、右は貔子窩管内某所に約十八天地に亘る所在所有者無き土地があり該土地の所有主は古く死亡してその子孫も無く種々問題になつてゐたが、前記姜年盛は該土地を横領せんと惡計を廻し既の子孫を捏へ該土地所有の登記をせんと前記民政署員二名に對し

代書人 細野を通じて小洋千五百元を贈賄せんとせるもので十二日高井檢察官は密かに貔子窩民政支署に赴き事實を一査したが贈賄收受の點については未だ證據あがらぬも收賄の契約をした事は確實らしい

こゝにも不景氣風
娘子軍の鞍替へが減る
今年は例年に比し一二割少い
師走を行く(16)

知識階級の失業者十萬!大學は出たけれど、出たけれど、飯食はずに生きる方法は教はらなかつた彼等は卒業證書をしがんでも腹の足しにはならない學士様なら娘もやりたからうが今日の學士様は意地が汚く娘よりパンが欲しいと固唾を呑んで居る。失業者は肉にして食用にするとは誰かの夢みた河童の世界で、我等人間世界でも何とか窮い化學者の實驗に據ると男一匹骨ぐるみ十二錢五厘とか三厘ださうだ。だがお娘は?これは過日の三業組合總會に於ける某理屈の女將の話

◇

衣裳も安くなつたから、諸物價が下つたから藝妓の玉代を値下げせと言やはりまつけど藝妓の値は不景氣やかて少しも安うなりまへんし、こないだ、うちに抱へた妓は三千五百圓も出しましてん、これで玉代二割も値下したら妾等怎うなりまんねん。

◇

げに、ドウなりまんねん!泥しが利かない學士様と違つて娘等は三千圓、五千圓、一萬圓の金貨に換算されて行く、そして彼女等が今日流通經濟の一組成分として在る時、算盤玉に彈かれて師走風に吹流されて動くのもまた當然と云ふべきだらう。

◇

十二月に入つてから最近大連署保安係で取扱ふ藝妓、酌婦の鞍替は多い時は日に二十件からあり、係員の話では毎年この月は平常の約倍の移動がある、市内に入つて來るのが約百二十、出て行くのが同百二十とりてゐる、大連に抱へられて來るものは内地から可成り多いが出て行く者は鞍山、奉天、長春と溯風を衝いて奧地へ進んで行く鞍替の手數料として紹介人は前借の七分をとり絶ほ四分、較三分の割で出す事にはなつてゐるが直接間接彼女等に轉嫁される種々な支度費に彼女等の前借は、恰も坂を轉がる雪塊の如く益々大きくなつて行くばかり、普通藝妓毎に藝妓は五百圓、酌婦は二百圓位宛殖え、前借が減つて行く等は皆無と言つてもよい、ところが不景氣になると抱えたが少くなるので從つて彼女等の移動も激しい「本年等鞍替は例年より一、二割は少いでせう」とは係官の話

◇

昨の如くしかも絹局合期的な水の流れに從ふて流れて行く彼女等は、愛の十字架!とは餘りにセンチメンタルな話、零下四十度、北満の雪の上に其温かい心臟も凍らして了ふ【寫眞は鞍替へ手續きに大連署へ出かけた花街の娘さん】

鏡ケ池で滑り危なく落命
氷の割目に落ち込む
きのふ鏡ケ池の椿事

十六日正午すぎ鏡ケ池で育成學校の一生徒がスケートの練習中未だ結氷充分でない氷が割れて中に落ち込み危ふく一命を失はんとしたが折柄冬期休みを利用して散步中の滿鐵々道部經理課の岩尾富地、前州奉人、武田勳の三氏に救ひ上げられ事なきを得た

大連署保安係にては直ちに市内各學校、大連市役所等に電話して夫々注意を促がしたが保安係では同池は結氷未だ充分でないと語り市スケート會では十七日より同地に番人を置いて監視せしむると

十七娘の駈落
大連署に捜査願

福岡縣八幡市前田小谷町二丁目平三長女天神ヤサヲ(一七)は本年四月頃から同市蛭子町六丁目浦野重博方に寄寓してゐた宮崎吉考(二一)と戀愛關係に陷り男の郷里熊本縣に逃げて行つたが警察の力で一先づ實家に歸つたのも束の間本月十二日午前十時頃再び行方をくらまし男も同時に所在が不明となつたが、男の妹が大連市内某カフェーに女給として働き本人も曾て大連に來た事があるので或ひは大連に居はしないかと兩人一緒に寫した寫眞を添へて女の實家から大連署宛十六日捜索願が提出された

オゾ OZO

オゾとは實に……家でも外でも重寶で手離せぬ經濟的な簡易療法藥です

怪我に……オゾ
火傷に……オゾ
挫傷に……オゾ
ヒゞ病に……オゾ
歯痛に……オゾ
痔疾に……オゾ
ひゞに……オゾ
霜燒に……オゾ
あれに……オゾ
化粧に……オゾ

四人組兇賊が夜警と交戰
賊は一名夜警は二名即死
公主嶺の支那商店で

【公主嶺特電十六日發】公主嶺市場町三丁目十六號地雜貨商得勝棧方に十五日の午後四時四十分顧客の如く裝つて來店した四人組の兇賊は商品を物色しつゝ家人の隙を窺ふ不審の擧動を油斷なく監視してゐた同店の夜警は兇賊であることを認知するや一賊を射殺したので他の兇賊らは激怒し各自所持のモーゼル拳銃を取り出し發砲亂擊の慘劇を演じ夜警二名を射殺し二名の店員と一名の來客および夜警一名に重傷を負はせた兇賊一名を射殺した夜警の拳銃を奪ひ威嚇發砲をなしつゝ同店の東北方に向け逃走した、この急報に接し警察署は總動員をなし兇賊を追跡嚴探續行中である

兄を探す病身の弟
大連署へ捜査願

原籍富山縣高岡市定塚町、藤太郎弟當時福岡縣嘉穗郡二瀨村大字飯田宿屋業野田ヒデ方に止宿中の原友次郎(二三)は投宿中に肺尖カタルを患ひ働らきもならず、さりとて何の貯へもなく藥價は無論その日の暮らしにも窮する有樣となり病はますく昂進するので野田方では種々心配してゐたが、病人の實兄藤太郎が大連紀伊町で相當の營業をしてゐることを聞き込み同人に手紙を出したが返事がないので飯塚署に保護願を提出したので同署より大連署へ實兄の所在捜査方を依頼して來た

ゆふべ張家屯に三人組强盜

十六日午後五時三十分ごろ沙河口管内張家屯農夫張田平(四〇)方に三人組支那人強盜押入り小洋三圓、大洋衣類その他を強奪の上闇にまぎれて逃走した、急報により沙河口署においては非常召集のうへ目下犯人捜査中

運命判斷

新發見の心理學應用「科學的運命判斷」は實に百發百中、學者博士も皆驚嘆!キング新年號の附錄

雪の拂曉に非常呼集
育成學校で

滿鐵育成學校では十五日午前五時非常呼集を以て全員百三十餘名が寄宿舍前に集合、鈴木教官の引率を以て折柄の吹雪の中を驅足で大連神社に參拜し神官より供物の授與を受け次で忠靈塔に參拜終つて

海軍辭令

【東京十六日發電】海軍辭令本日左の如く發令さる

軍令部出仕	中將	谷口 美貞
艦政本部出仕兼技術研究所出仕	中將	岸科 政雄
艦政本部出仕兼造兵監督官	造兵中將	武藤 稲太郎
艦政本部出仕	少將	宮坂 勘治郎
同上	少將	時柳 三男二
軍令部出仕	少將	市米崎 靈一
同上	少將	菊井 信義
同上	少將	長井 實
艦政本部出仕	少將	增田 乙三郎
同上	少將	石河 英吉
軍令部出仕	少將	林 正男
同上	少將	満岡 淳次
軍令部出仕	軍醫少將	祈茂 恒治
同上	軍醫少將	今井 金三郎
同上	軍醫少將	鹽見 長衛
軍令部出仕	主計少將	太田 一郎
同上	主計少將	吉村 梅吉
艦政本部出仕	造船少將	佐々 初喜

待命被仰付(各通)

童話のをぢさん巖谷先生が來連
天津から歸京の途次

天津訪問の途にある巖谷小波氏は十六日第七列車で安東驛發奉天に向つたが、同氏は奉天滯在後北寧線第一〇六列車が第四列車にて天津に向ふ豫定の旨安奉線第七列車專務車掌(雞冠山驛發)から滿鐵本社鐵道部に入電があつた、因に同氏は歸途大連に立寄り講演を行ふ筈であると

中央公園附近に於て戰闘教練を行ひ行進喇叭勇ましく歸舍したのは午前八時半であつた

前文相に第三次召喚狀

【東京十六日發電】小橋氏に第三次召喚狀今日發せらる、愈々一兩日中に出頭するものと認めらる小橋氏自身は何れ一兩日中に一切判かるだらう、いろくな人間が介在して居るからつまらぬひつかゝりをつけられたものさと言つて居る

呑ンだくれ酌婦自殺未遂

原籍東京市下谷區入谷町二九二市内春日町二五、篠田紹介所片風ゆきん(二一)は本年八月市內逢坂町香月樓より長春吉野町武藏野方に仕替したが、元來酒癖惡く座敷が勤まらずまた大連に舞戾つて前記篠田方に寄寓してゐるうち相變らず所持品を全部入質して酒を飲む有樣に、家内の者からも嘲笑され益々自暴自棄になつてゐたが、去る九日午後五時ごろ篠田方表四疊半の部屋に於いてキハツ油約百九十瓦を嚥下自殺を圖り苦悶してゐるところを家人に發見され直ちに慈惠病院に擔ぎ込まれたが生命に別狀無く十六日退院して「キハツ油よりは矢張りお酒の方が良いわ」とケロリ

衛研學術集談會

衛生研究所第二十六回學術集談會は十七日火曜日正午後一時より開催演題左の如し

一、肺疫同題談　矢野 舞哉
二、「モルモット」に於ける「發疹チフス」の實驗的再感染に就て　星崎 相陽
　(發疹チフス」の實驗的研究其三)　高橋 權三郎
三、ヂフテリー毒素の耐熱性に就て　西村 治雄
四、動脈硬變發生　今井 實

小波痴外死去

市内信濃町讃ビル内にて療養中であつた大日活の辯說者小波痴外は十六日午後三時腦溢血のため遂に死去した

愛慾の窓 (190)

戸川貞雄作　浅枝次朗畫

犠牲(110)

美知子の前觸れをわつしよい〳〵と擔いで來た連中は、やがて二階にそのまゝ昇つて行つて、醉つた三四人の仲間と談笑してゐた黒田の傍へ彼女の體を抛り出すやうにして坐らせた。

「……さあ、連れて來たぞ!」

「ようく〳〵、似合ひますぞ!」

醉つてゐるので、彼等は口々にそんなことを云つて囃し立てた。

「はゝゝゝゝゝ、馬鹿だな、君たちは!」

と、いつもなら怒る癖に、暴な黒田も、悦びの酒宴なので、明るく笑ひに紛らしながら

「仁科さん!大變な騒ぎだつたんですよ、あなたが見えないといふので……」

といふ。

「まあ……今夜はみなさんよつぽど嬉うかしてあらッしやるのね」

と、美知子も微笑した「いつもならわたしなんか邪魔もの扱ひのくせに!はゝゝ、でもいゝわ、わたしにも今夜は大變うれしいことがあるのよ!さ、お酌しますわ。みなさん、何卒、澤山召上つて下さい」

「ようく〳〵、その意氣、その意氣!」

「……ところでね、黒田さん!あんたは」と、云ひ出したのは小森親爺の植字工中の古顔の一人だつた「親ぢやよ、一體、いつまで獨身でゐるんぢやね、なあ諸君!今夜は實に目出度いお祝ひぢやで、この機に一つ、黒田さんの結婚披露をかねてやつて貰ひたいものぢやと思ふがどうですかね」

「……賛成々々!」

「異議なし……!」

パチ〳〵と拍手の音。

「冗、冗談いつちやあ困るよ!どうも醉ふとみんな下らん決際ばかり云つて來るね」

黒田は、眞赤な顔をして手を振つた。

「僕はかまはんが……仁科さんが迷惑するぜ、そんなつまらんことをいふと」

「あら……わたし、ちつとも迷惑ぢやありませんわ!」

美知子は冗談とも眞面目ともつかぬ調子で云つたが、彼女の眞意を解しかねた黒田の眞面目な、洒落や冗談は許しませんぞ、と云はんばかりの視線を感じると、おぼえず顔色を嚴肅に引き緊めて

「……皆さん!わたし、最近黒田さんの奥さんにして貰ひます!何卒よろしく」

そしてぴよこりとお辭儀をした瞬間、一座シリヤスな沈黙が領した。

黒田は、大きく瞠つた眼で、ぢつと美和子の瞳を眺めた。その眼を、美和子は涙の一杯に溢つた眼で見返した。

「仁科さん!あなたのそのお言葉が眞實なら……僕は有難い、さうして僕は諸君の前で誓ふ、僕は仁科さんを同志の一人として、末長く扶け合つてゆかう!」

黒田は感激に顫へる聲で、極めて眞面目な率直な調子で云つた。

「……さうだ〳〵、誰か仲人になつてやれ!」

一人の仲間が叫んだ。

「さうだね……若い小森がゐればあの人が仲人になつてくれるかも知れない」

と、黒田がしんみりと云つた。

「おれたちみんなが仲人になつてやるぞ!さうして今夜は引續き披露の宴だ!」

「愉快々々!面白いなあ……」

だが!その時しく〳〵泣きながら源公が戻つて來た。

「……おい、龍吉の兄貴が行つちやつたよ!黒、黒田さん!と、どうか姉さんをよろしくつて、さうして……そのまゝ何處かへ行つてしまつたんだ……」

「えッ?龍吉君が……」

「……」と、黒田は腰を立つた「何をお前はぼや〳〵してゐたんだ!で、何方へ行つた?今から皆で追ッかけてゆきあ大丈夫つかまるんだ!」

「お待ち下さい!お待ち下さい!……龍吉は、何卒そのまゝにしておいて下さい!……それがいゝんです!いゝえ、それでいゝんです!わたしにはあの子の氣持がよくわかつてゐます!」

美知子は黒田をはじめ一同をおさへながら、さう涙含んだ聲で喘んだ……。

新刊紹介

◆新家庭日記　味の素本舗發行の料理を中心とした日記で年毎に内容を整備して來た、附録の各種便覧も鄭重定價一圓東京京橋南傳馬町鈴木商店出版部發行

◆現代(十二月號)鳥居文學博士及東日の千葉學藝部長の苦心談山室軍平氏其他の傳記が載つて居る(定價五十錢東京講談社發行)

◆無線電話(十二月號)東京日本橋本石町日本無線電話普及會發行定價五十錢

◆佛蘭西文學(十二月號)東京府井荻町荻窪青弟社發行定價卅錢

◆天皇のプロレタリア(里見岸雄氏著)著者は序文に於て「國體は資本家や有産階級には有難いであらうが、今夜の米にも困つてゐる無産階級には何の用もない、否むしろ無産者の生活向上を阻むイデオロギーだ」といふ考を根本的に打破して無産階級の唯一の味方としての國體をゑぐり出してみたのが此の一卷である、と述べてゐる定價一圓五十錢東京神田今川小路アルス發行

◆トマトの栽培と調理(片山郁太郎氏著)定價八十錢東京京橋北紺屋町有隣堂發行

◆作歌問答(窪田空穂氏著)初心者のために作歌上の疑問に答へたもの、定價八十錢東京本郷森川町紅玉堂書店發行

◆戰友(十二月號)定價十錢東京牛込原町帝國在郷軍人會本部發行

◆滿蒙支那月誌(第六年第二號)定價五十錢上海[illegible]研究所研究室發行

夕刊 滿洲日報 十二月十六日

支那側が前進を阻止し 國際列車遂に立往生
支那軍の非違を蔽はんが爲め
免渡河から引返すか

【ハルビン特電十五日發】國際列車は十五日午後三時、牙克石に向ふ準備中、胡軍長から突然前進中止方を通告し來たので重松、リリストンの兩副領事は趙海拉爾道尹を介して支那側の軍政下を離れ牙克石以西が危險とあるも吾等は其目的を達成するため其後の保護を支那側に期待せず故に國際列車の前進を認むべきであると嚴重なる交渉をなしたが何故か支那側は飽くまで引返しを止め己むなく此報を得た八木、ハンソンの日、米兩國總領事は直ちに張學良氏に交渉を開始したが一行は飽くまで其所志を遂行するため決死の覺悟である、支那側が理由なき阻止策に出た原因は

一、軍隊内部の亂脈を知られることを恐れ
二、海拉爾邦人六十名、英米會社銀行員等の被害其他掠奪の跡の暴露を掩蔽せんとすること
三、ロシア側から支那をして海拉爾に入ることを阻止せしめた

等の諸説が下されてゐるが、右はハバロフスクの露支交渉の反映と見られ一行は免渡河に立往生し或はこれより餘儀なく引返さねばならぬかと

露支交渉成否觀測
哈市支那官邊では樂觀

【ハルビン特電十五日發】蔡運升全權一行は十三日午後四時半ハバロフスクに到着し驛にはシマノフスキー氏が出迎へ驛頭に於て**兩國全權**は外交的辭令を交換し翌々十四日から正式會議を開催したのであるが、會議の進行は案外二樣の觀察が下され一部では一瀉千里に交渉は解決すると報じ他方では双方の懸案に相當距離あり樂觀を許さずと稱し、ロシア側は幾分讓歩をせぬ限り早急に解決することは至難であると説くものあり、樂觀者は蔡全權は**二三日中**本協定を成立せしめ歸還の途につくであらうと云ふが當地支那側官邊の消息によると交渉は案外スラスラと解決し、メリニコフ氏は蔡氏と共にハルビンに來るであらうと語つてゐる從つて

一、國境に於ける兩軍隊の撤退
二、損害賠償問題
三、兩國拘禁者の釋放

の三大綱原則のみを取極め細目に亘つては勞農側代表がハルビンに到着した後解決し又支那拘禁者の釋放については政治的性質を有するものは**全部釋放**することにしストッペドイツ總領事が松浦鎭のロシア人拘禁者を十七日調査視察し釋放の具體的方法を決するであらうと觀られてゐる

石軍に降服勸告
飛行機で傳單を撒布

【南京十六日發電】津浦線上の石友三軍の情況偵察に從事中の飛行機報告なりとて航空部側より發表したところによれば石友三軍は今のところ南京攻擊の模樣なく中央軍飛行機は盛んに傳單を撒布し石軍兵士に中央歸順を勸告しつゝありと

遼寧省内債
二百萬元發行

【奉天特電十六日發】遼寧省政府首席は財政整理のため内債發行計畫中であつたが今回内債二百萬元發行した

我全權一行
シカゴを見物

【シカゴ十五日發電】若槻全權一行は本日午前九時當地通過、警察では自動車四臺に私服巡查二十餘名を乘込ませ一行の前後を嚴重に警戒し市中觀光の時も同樣の警護をなした、停車場には木村領事夫妻以下日本在留民有志が出迎へた

張行政長官 留任決定

【ハルビン特電十六日發】行政長官張景惠氏は呂榮寰氏と共に辭職表を出したが吉林張作相氏が極力慰留を勸告したので露支交渉進展と其後の狀勢により一先づ留任することになり莫德惠氏も張行政長官の留任を希望し東北政權の對外的面子を保つことに決したと

荻川放談 (133)
商賣 (其三)

商賣の競爭から、一般小賣商が滿鐵消費組合の課税なんかを云ふな、其競爭からだとすれば他に云ふべき筋があるとは、曩に述べたところなるが、くれぐれも此等のことを戒む、官憲の收入を增加して、之で或る施設をとならばまだしも、消費組合に課税して貰ひ、それで業者を[illegible]まさんとする如き、業者がそれに同むものでないのみか、それは道理が通ふゆえに、世間の同情も小賣商側を去るべし、一體にしても、余輩にしても、小賣商は自己の窮況を脱せんとして、業者にのみ衝突く。

◇

そうして自己が時代の趨勢に順應するに、如何の方法を以てすべきやを究むること薄し、そこへ時代の趨勢は、遠慮會釋なく新しき競爭者を送つて來る、滿鐵消費組合のみならんや、新聞紙の報ずるところによると、年が改まると、大連にはチュリン商會や、松坂屋や、白木屋やの進出を見ると云ふではないか、時代は斯うである、荻川放談は滿日のものなるが故に、滿日が滿鐵の機關紙ぢやとて、滿鐵消費組合の肩を持つのでない、滿洲に於ける邦人發展の爲に、此言葉を費すのである、大連と限らず、こゝ在滿洲邦人小賣商の覺醒が大切ぢや。

◇

書き序に更に筆を進めると、小賣商ばかりぢやない、まだ一般に在滿邦人が滿鐵に縋り過ぎはせぬか、尤も滿鐵の使命がらせば、その縋らるゝに惡い顏を見すべきでない、滿鐵は之を知るが故に過去は縋らるゝ度に餘り笑顏を見せ過ぎた、それが習ひとなつて、一時は縋るよりも喰ふが如きことにもなり、その惰力からして喰はんが爲に先づ吠えるようなことも行はれ、一にも滿鐵、二にも滿鐵、滿鐵を向ふに廻さねば、在滿邦人ぢやないと云つた惡い量見も出て動もすると現在の對滿鐵問題にも正體を摑めぬものがある、之に就きこゝでちよつと或る一支那人の言草を紹介しよう。

◇

それは這次の石炭値下問題で、其支那人の言草は、あれだけの値下なら、支那人として之を一般の問題として取扱はない、生活程度の低き支那人にとりては、此値下とて實に難有いが、在滿日本人の生活程度からすると、上流どころは云はずもがな中流どころでは、一週の活動見物を控ゆれば、そのくらゐの節約は出來る、下流どころとても、苟くも石炭を焚き得るものならば、日々の菓子や果物の購買を減じても、そのくらゐの節約は出來る、されば、と云つて、石炭を使ひ得ぬものとて、あれだけの値下からの一般物價低落で、どれだけの利得を受け得ようぞと、氣焔は更に續くのである。

國際聯盟新東洋支部長大内博士
警視廳衛生部防疫醫、醫學博士大内恒氏は今度國際聯盟東洋支部長に榮進しいよいよ今月下旬任地シンガポールに赴くことゝなつた、大内氏は警視廳の産んだ細菌學の泰斗として有名な人である【寫眞は警視廳衛生部に於ける大内氏】

軍縮の最大難關は 佛の補助艦要求量
日本の對米七割要求に比して 實に十四萬の超過

【東京十六日發電】來るべき軍縮會議の最大難關はフランスの補助艦要求量の如何にかゝつてゐることが最近明瞭となつて來た、即ち華府會議に於て補助艦の**制限協定**が成立しなかつたのは英、米が佛に對して水上補助艦、潛水艦合計十八萬八千餘噸を押しつけんとせるに對し佛は水上補助艦三十三萬噸、潛水艦九萬噸合計四十二萬噸を要求せるに原因してゐる、然るに最近に於ける佛の補助艦要求は華府會議當時の要求量を遙かに超過し、水上補助艦三十九萬噸、潛水艦十三萬噸合計五十二萬噸にして之を英米假協定の英國保有量五十六萬九千噸に比すれば**九割二分**強となり、英、米が來るべき軍縮會議にて佛に對し英の三割五分即ち十九萬九千噸を押つけんとする意圖から見れば比率に於て五割七分、噸數に於て三十二萬二千噸を增加することになり、而も日本の對米七割要求の三十八萬一千噸をも遙かに超過すること實に十四萬噸である、來るべき會議に於て此間の**各國主張**殊に佛國の要求態度こそ其成行は重大視さるゝに至つたのである

根據薄弱な反對
英米一部の宣傳か

【東京十六日發電】我國の補助艦對米七割要求はワシントン條約に規定された主力艦の六割を增率するものであり又主力艦英、米、日各一〇、一〇、六と關聯して決定したワシントン條約第十九條の太平洋に於ける防備**現狀維持**を變更するものであるとの理由を以て英、米殊にアメリカは我國の七割主張に極力反對してゐるものゝ如くであるが元來華府條約は主力艦のみを制限したもので補助艦に及ばざるものであり而して太平洋の防備制限は主力艦のみに關聯した補助艦とは何等關係なく更に來るべき軍縮會議は華府會議とは獨立に不戰條約に出發點を置き茲に始めて補助艦の英、米均勢を生じ其結果日、佛伊を加へて新たに補助艦の制限協定をなさんとするもので日本はまだ嘗て主力艦の**六割比率**を補助艦に於て受諾せんとした事なく英、米が今や突如根據薄弱な理由を以て我七割要求を拒否せんとする如きは認めにせんとする英、米一部の宣傳ならんと政府當局は見てゐる

米大統領に對し 極力諒解を求む
英に影響せぬ範圍で

【シカゴ十五日發電】若槻全權等は十六日午後二時十五分ホワイトハウスに大統領フーヴァー氏を訪問する筈である、日本全權と大統領との會見は各方面より深甚の注意を拂はれ居り其成行如何はロンドンの本會議に至大の影響を及ぼすやも知れぬが、若槻全權等は此會見に於て出淵大使の下交渉に引續き日本の正當の主張につきフーヴァー大統領の諒解に努むべく大統領の出樣如何で其他の論議を進むることとならう、然し日本全權としてはワシントン滯在中直接イギリスに影響する問題には關與せぬ方針である

一國の代表でも お關所は通せぬ
國境守備支那兵に阻止され 蔡氏一行立往生の巻

◇…露支交渉の全權代表としてハバロフスクに特派された蔡運升、李紹庚氏の一行を乘せた特別列車が去る十日ハルビンを出發し十一日朝ポグラの國境に到着し愈々これから露領の會議地へと乘込まんとした際、國境を守備してゐた吉林軍丁超氏部下の邊防隊は「この隧道は總司令から何等の命令が來てをらぬから全權であらうが何であらうが通過はまかりならぬ」と關所止めをした

◇…面喰らつたのは蔡運升代表で「何だい一國を代表してロシアと交渉に行くを通過せしめぬとは怪しからぬ」と氣色ばんでみてもそれは總て釘で、結局吉林總司令部の命令が下らぬと一歩も進むことはできない

◇…一行は電話で總司令部に「どうか隧道を通過できるやう命令を出してくれ」と交渉し、總司令部では吉林の張作相主席に打電すると云ふ大騷ぎ、ヤツと蔡代表の意が通じ第一隧道の石コロが取り除かれたのが十二日午前八時、ホッとした蔡代表は第二隧道を拔け出ると、ハバロフスク市から一行の到着が遲いので途中で何か間違ひが出來たのではないかとシマノフスキー代表が隧道の入口まで出迎へそこで兩代表はシャンペンの盃を擧げて握手した

◇…支那側全權がポグラ國境一帶の立往生は道に支那ならではみられぬ醜態であつたとの話、これは支那軍律の嚴重な半面も窺はれるが惡るく言へば命令が行渡つてをらぬ爲めである國境の隧道は露支紛爭の發生と同時に支那側は國境を封鎖するため隧道内に爆藥裝置の石塊を充滿し萬一の場合に備へてゐたのであつた(ハルビン特信)

政友會の對議會策
樂悲兩論に岐る
和戰兩樣の準備せん

【東京十六日發電】政友會は議會開會前に越後鐵道疑獄事件が進展して内閣は崩壞するものとの期待を持つてゐたが、事態は期待を裏切り此儘の狀態を以て議會に入るべき形勢となつたので改めて**對議會策**を樹て議會に絶對多數を制する在野黨としての陣容と戰略とを整へる必要に迫られてゐるが、大體の意嚮を綜合するに最高幹部間に種々議論を重ねてゐるは假令議會開會前に進展せずとも疑獄事件は現閣僚の身邊に關する疑獄事件で來春早々十日頃より二十日頃にかけて即ち休會明け前迄には必ず一切が明るみに驅け出される、内閣は瓦解すべき運命にあるを以て議長候補を始め院内役員常任委員長等も之を考慮に入れ銓衡すべきである

との樂觀的觀測をなす者と

一旦議會に入る以上政府は疑獄事件を有耶無耶に葬る政略上よりしても必らず議會を解散すべきを以て之を基準として準備すべし

と見る者と

假令疑獄が進展せずとも議會解散と極つてゐる譯ではない政府は解散するにはそれだけの理由がなければならぬ無鐵砲に黨略上解散すべきでない、殊に外、軍縮會議を控へ、内、金解禁の重大問題を解決すべき時に必要なき解散を斷行するは國政に忠なるものにあらず此點は在野黨としても十分考慮に入れ徒らなる政爭を激成するが如き態度は愼しむべきである

と自重論を唱ふる者と**種々意見**は分れ未だ黨としての的確なる態度を決定するに至らず要するに和戰兩樣の態度を以て對議會策を整へると共に廣く時局の推移を注視するの方針を以て方針を練る事となつた

貴族院各派が 政界淨化を叫ぶ
近く運動具體化せん

【東京十六日發電】疑獄事件に對しては同成會方面にても鄕清寛見が強硬に主張されつゝあつて今や政界淨化の氣運は貴族院各派を風靡しつゝあり殊に藤田謙一氏が過般東京商工會議所會頭に再選された事に對しても不快不滿の聲が揚げられて居り來る十八日の同和會の會合に依つて淨化運動が具體化さるゝに於ては研究會も又之に刺戟され相當問題化さるべく旁々貴族院の淨化運動の成行は頗る注目されてゐる

大衆黨の 年次大會

【東京十六日發電】日本大衆黨では十五日本年度大會を芝公園協調會館に開會參集せる代議員二百五十名、中央執行委員出久氏議長となり濱口内閣は恰も自由主義の如くなるもそのなす所悉く露骨なるブルジョアジーの代辯者であると喝破して拍手を浴び更に來るべき選擧に於ける無産黨の活動を高調して正午休憩、午後三時半再開質問に入り分裂反對同盟(舊無産大衆黨)問題に關する本部の報告の質問が出たが、統制攪亂者として、あつさり除名され五時半散會した、然し十六日の大會には堺利彥氏一派に對する除名取消要求が提出され一波瀾免れぬであらう

華府の共產黨員 政府攻擊の示威
檢束者の釋放を命じた後 フーヴァー大統領の皮肉

【ワシントン十四日發電】當地の共產主義青年多數はスチムソン國務長官の露支紛爭に對する勸告書の失敗や排日暴動に對する米官憲の非を鳴らした多數の旗を立てゝ大統領官邸の周圍を練り廻つて政府攻擊の大示威運動を試みた警官隊は之を追ひ散らし内三十名以上を無許可隊伍行進の理由で檢束した、フーヴァー大統領は此事を聞くや直に檢束者の釋放を命じ左の如く皮肉つた

若い連中を一晩牢屋へ入れることは彼等に「主義に殉した者」と云ふ名譽を極めて廉價に與へることになるばかりだ、彼等は要するに「導き方を過られた者」であるに過ぎぬのだからホームへ歸し親達の膝元へ送り屆けてやれば良いのである

遼陽工場閉鎖は 事情止むを得ぬ
その善後策は總裁も考慮 大平滿鐵副總裁談

滿鐵遼陽工場の閉鎖問題は何も最近擡頭したといふ譯のものではない、前から當然今日の運命を免れることの出來ない事情のもとにあつたもので仙石總裁も「よからう」といふことから來年一月十五日限り**閉鎖する**ことに決定したのである、遼陽工場が日露戰前露國が建設經營してゐたのを戰後滿鐵に引繼いだもので同工場の建物は勿論工場の機械設備も全く古くて、又一方大滿鐵として沙河口に工場を新設し設備が最新式によつて完成された今日、而も同工場が諸作修理等を引受けてゐる事情は滿鐵社内のみならず在滿邦人も充分知悉してゐる事と思ふ、工場閉鎖は遼陽在住民から云へば**お困りで**あらうから遼陽側から見ると沙河口工場の設備が完成して仕事を待つてゐるに拘はらず舊式の遼陽工場を新設備に改善して遼陽在住民のためその繁榮を助長せしむるといふ譯にもいかぬ、假りにまた遼陽工場の閉鎖を今後一ケ年延期した所で遼陽在住民永遠の繁榮策が生れるといふこともあるまい、滿鐵事業の**大局から**見ても遼陽工場を存續せしめるため沙河口工場を遊ばせて置くといふ譯にもいくまいぢやないか、遼陽駐在住民も充分其の間の事情を酌んで諒とせられたいと思ふ、工場閉鎖後については總裁も相當考へを持つてゐられるやうだが驛の移轉增改築もせねばなるまい、[illegible]所長の補充は十六日總裁に相談する積りである、總裁の上京期は大體二十一日出帆のばいかる丸と豫定してゐる**重役會議**は十九日迄に濟む豫定であるから十日は休會されるんぢやないかと思つてゐる、總裁の大連クラブ會長は十五日御承諾を得た、支那人を入れないから承諾されなかつた譯ではない從來支那人も加入していゝことになつてゐるが只加入者がなかつたまでゞある

滿鐵豫算案 けふ提出
關東廳當局へ

滿鐵神鞭理事及び竹中經理部長は十六日午前九時半滿鐵來年度豫算書を携帶し旅順關東廳に提出同日歸連した

人事

▲吉村米吉氏(國際運輸重役) 十六日入港香港丸にて歸任
▲高見三吉氏(大阪商船支店長) 同上
▲葛間茂發氏(關東廳測候所長) 同上
▲有馬逸氏(大連市會議員) 同上
▲田丸信俊氏(海事協會員) 同七

大觀小觀

國際列車の免渡河立往生は話だけでも寒いく。

◇

雪の興安嶺を越えて蒙古の胡風は零下五十度に下る。

◇

それを阻止しやうとするのは支那側か、ロシア側か。

◇

掠奪狼藉の跡は北滿の雪でも掻き消すべくもないか。

◇

これから先は危險、危險と逃げ口上はよいが、然らば海拉爾や、滿洲里の邦人を何として與れる。

◇

尼港事件の二の舞は先殊御免蒙りたいから。

◇

小幡氏の評判、支那では惡いといふ。日本ではよいから不思議だ。良藥は口に苦しか。

◇

良藥といへば上海臨時法院會議で米國が最も支那の要求を拔き頭した。

◇

支那の現實が分つて來ると、苦言を呈したくなるのが當然か。

天氣豫報

十七日(北西の風)曇後晴雪模樣

各地の溫度

	昨日最低	十一時
大連	零下九、七	零下七、〇
旅順	同八、八	同一〇
營口	同一五、五	同九、〇
奉天	同一四、二	同八、二
長春	同一五、〇	同七、四

滿洲共産黨事件 公判第四日目開廷

審問中に被告の松良が卒倒 傍聽席女性で賑ふ

滿洲共産黨事件公判第四日目は十六日午前十時より法院一號法廷に於いて開かれたが、當日は神明高女五年生三十七名が石川校長に引率され傍聽に來り其他若い女性の傍聽多く厳めしい法廷に珍しく和かな氣を湛へてゐた

先づ松良一萬太の審問に入り生立に就いて訊問ありマルクス

主義研究 の動機に就いては

仲間と讀書會をやつて居たのであつてマルクス主義をのみ研究したのではなく當時福本和夫の書等讀んでみたが分らず途中で止めた

と陳述し更に裁判長よりマルクス主義とは怎んなものかと聞かれ「分りません」と答へた時松良は突如卒倒し床板に後頭部を打つて人事不省に陷つたが、傍に居た八幡、秀島等に介抱され廷丁に連れられて

辯護士室 に休憩し裁判長は松良の取調を一時中止を宣して次中島保往の審問に移る、中島は滿鐵大連圖書館から營口圖書館に轉じた經歴を述べ營口に行つてから野球や庭球に熱中したので餘り讀書もせず又マルクス主義に就いても法政學院在學當時下村教授から「マルクス主義とは經濟學に基礎をおいた社會學だ」と聞いたのみで詳しい事は知らぬ

と供述しケルン協議會に就いての陳述を前被告同様否認した、此時松良恢復して出廷、裁判長及び他の被告等に「すみませんでした」

と挨拶して椅子を許されて審問に答へ、傭人聯盟を組織する目的に就いては前被告と同様、我々傭人の利益を擁護する爲めと答へ次いで明晰な口調で

松田さんは九人も家族のある家計

不如意 な中にも當時から我々の爲にも一身上の危險を忘れて盡してくれ松田さんの人格を尊敬してゐた者は私ばかりでなく澤山の人は皆松田さんを慕つて居ましたが、松田さんが收監されてから夫等の人々が家族の爲に寄附金を募集せんとした時多額な金が集つたのですが何故か當時金を集めた人等は馘首されて了ひ家族の許には遂に一錢も届きませんでした

と力を籠めて松田を

賞揚して 裁判長より豫審の私有財産制度の否認云々の記錄を讀み上げられ「そんな事の意味も判らないし考へもしませんでした」と否認して下る、次に小林周三は永い間の未決生活に窶れを見せて審問に答へ

三重縣桑名小學校五年生の當時から近所の織物工場に雇はれて苦學を續け貧しい穀物商であつた父にも十二歳の時

死別し 多くの弟妹と共に育つたが更に十九歳の時工場閉鎖と同時に小學校時代の恩師の世話に依り米滿三十里堡の野田弥吉氏方の農園に雇はれ毎月十五圓貰ふ給料の中から十圓を郷里母の許に送金してゐた生活の苦勞を述べ最初クリスチヤンであつたが其後マルクスに關する本を讀む内信仰を失ひ同時に主人の氣持を害して遂に昨年六月農園を出て

營口に 松田を頼つて同家に寄寓するに至つた經路を細々と陳述した

裁判長より豫審終結書を讀み上げられ「そんな難しい言葉は判りません」と答へ更に

お前は改造等を讀んでゐたのだからこんな直譯的な言葉を知らない筈は無いぢやないか

と聞かれ「直譯」と云ふ語が解せず傍聽の

女學生等 を笑はせる、次に阿部義照呼ばれ

日給六十錢の鐵道省驛手時代より大正十三年一月滿鐵に入社した迄の經路を述べ昨年末約八百圓蓄つたので上京して早稻田工手學校に入學せんと驛を辭め營口の兄の許に行つてゐたが田中輝男から頼まれてビラ郵送を手傳つて遂に擧げられた事實を陳述する

更にケルン

協議會の 事を聞かれ「ケルンなんて知りませんが松田さんに勸誘され傭人聯盟に入つて居ましたが滿鐵を辭めたので聯盟の方も自然脱會した事と思つてゐました

と答へ十二時閉廷す

昨夕の雪に禍されて また電信線が不通

陸線全滅で奥地との連絡に 苦心を重ねる當局

十五日午後四時に於ける遞信局管内電信狀態は既報の如く城子疃を除く外は各線開通し、電話は大連旅順間三回線のみ開通してゐたが午後四時過ぎより又降り始めた雪の爲めに電信線は漸次障碍を起し午後十時頃に至り大連東京線及大連旅順線を殘し其の他の陸線は再び全部不通となつたので遞信局では大連東京線の大連奉天間を奉天局に切替へ奥地との聯絡に備ふると共に朝鮮方面發着信は長崎線經由内地を迂回せしめて通信の疏通を圖る一方障碍地點には係員を總動員して之が復舊工事に努めつゝあるが昨今の天候では或は回復までには相當長時間を要するかも知れない模樣である、又電話線も旅大間以外の開通は目下のところ見込立たず電信線開通より相當後れるのを免れないと

―雪に埋る師走の街頭―

不可抗力と 遞信當局の辯明

復舊の見込み立たず 非難の聲さへ揚がる

空前の大被害を蒙り通信杜絶に陷つた遞信局では不眠不休の努力により十五日午前中に電信の殆ど全部を復舊せしめ、午後中には殘る大連城子疃間の實信と實信全線を開通せしむる見込であつたが昨夜の降雪に一たまりもなく別項の如く電話電信とも再び全部不通に瀕するに至つた、而して之が復舊も

目下のところ確實な見込立たず、當局の損害は固より商業上や一般通信上の有形無形の損失は莫大なものであるために斯る事態に陷つたのは遞信見をに遺憾の點なきやとの聲を聞くにやつたが專門家の當局評せば絶對に不可抗力であると辯明して居る

雨が氷結し その重量で斷線

空前の混亂狀態は遺憾 櫻井遞信局長語る

未曾有の通信混亂狀態に陷つたのは遺憾である、かねてより架線工事には慎重の考慮を加へて居り、十八米突の風速や膝沒の積雪には何等

大被害を 受けたことなく將來も脅威を感じない自信があるが從來にない降雨の氷結には施すべき術がない、この點はかねてより憂慮されてゐたことで不幸にして今回而も多くは堅固なる新線がやられた譯である、然しそれが不可抗力であることは今回氷結重量が電線自重の五六倍以上に達した爲め其の重みに堪へ兼ね且つ極度の冷却が電線の弱點を益々脆弱にしたため續々として斷線したもので斷線は

電柱を倒 し或柱は各柱の連絡した均衡を容易に破つて被害を擴大して行つた、なほ電柱と碍子の氷結は漏電氣を地下に導いて地氣を生じこれが爲にも通信の進行を大いに妨げた譯である

然しご覽の通り局内も現業員も總動員して復舊に死力を盡してゐるから天候がこれ以上に惡化しない限り早急に開通せしむる見込である、次に復舊工事費の支辨に就ては繰くりが出來ることになつてゐる、無論

將來も かゝる被害を豫想されるので十分研究を進むることはいふ迄もないが太線を用ひたり電柱を增すことは經費上實現が困難であらう

埠頭の「年末警戒」

昨年よりも嚴重に 愈よけふから開始

恒例の如く埠頭における年末警戒は愈々十六日具體的に成案なり即日施行さるゝ事となつた、即ち本年に比較して到着荷數量は夥だしいもので從つて特に警戒を要する意味から水上署においては警戒期を二期に分ち第一期は廿日迄としこの四日三人一組の私服巡邏隊二班を編成一班は北大山通海岸より西海岸附近に至る一帶を取締り一班は夜間の出港船舶の取締をなす事となり廿一日以後は一組三人のものを四組編成夜間は深更に至るまで徹底的取締ると倚埠頭監視係りにおいても既に年末警戒を行ひ二人一組の監視隊を常に構内に放つて居ると

雪に凍てついた街に 漸く歳晩氣分漂ふ

商店街を彩る歳の市

四谷より馬糞路つゞき枯野讀といつた藏武野に山の手銀座の新商が出現する世の中であるから大連に連鎖商店の一角ぐらゐが出來たからとて何も驚くことではないが歳の瀬は刻々として切迫し來り、歳晩氣分は全市に横溢といふところ、數日來の險惡なる寒天にも拘らず、納めの十五日も過ぎて師走は愈々、まづ振り出しは浪速町から、歳の市、大賣出しと兩側には人氣吸散のデコレーション、自動車馬車、自轉車、道ゆく人も何となく／＼イソ／＼してゐる、大山通は浪速町のやうに華町賣出しでこそなく個々別々に思ひ出したやうに暮の氣をつけてゐる、三越なども夜間營業といふ勉強振りボーナスの一杯機嫌で何とか行進曲を唄つて蹣跚たるところも覗くはない、伊勢町から磐城町こゝも全町内が聯つて大賣出しに景氣をつけてゐる、信濃町市場は依然として雜然たる雜氣分を發揮し、それから常盤橋の電車交叉廣場は例によつて暮のあわただしさを示し、それから連鎖商店はなか／＼の人出、何とか通りの何とかいふ角の店で、例のマネキンが出演とあつて人の黒山、歳晩といつても未だ十五日過ぎた許り、いよ／＼となられば年末の現實氣分に映られぬ、たゞ物見高い大連人がゾラッと立つ、マネキンの顔は拝見出來ぬ、連鎖商店を裏手に廻ると、共進會の跡といつたやうな感じ、半成といはんか未成といつたところである、そして全市に凍てついた歳末氣分である

航空觀測を 大連でも始める

中央氣象臺や各飛行場と 草間所長の打合せ

航空觀測の重要件に關し中央氣象臺並びに各地飛行場と種々交渉中であつた關東廳觀測所長草間茂登氏は十六日入港香港丸で

歸任した が船中語る

今度の上京は主として航空觀測に關する要件を帶びたもので、特に來年四月よりは三日毎の定期航空が毎日と云ふ樣になるため、これによる當地測候所の重大性は愈々大きくなつたので航空氣象觀測器を設備する事となり、中央氣象臺等に了解を得て購入契約を果して來たものである、同器は航空に必要な上層の氣流等を觀測する望遠鏡の樣な仕掛のもので今後定期航空路の

發達と 共に非常に重要な役目を果すものである、それに今度は中央氣象臺その他の測候所飛行場等と連絡を計へ際用いる電文の符號に關する詳細な約束をして來た、これは航空事業上一番肝心な事であると思ふ、それに私は所澤その他の飛行場を視察したが航空に關する色々な設備に非常に參考になつた、箱根龜山等にも航空氣象臺が新設されるが、やがて大連を初め空路における重要な地點にはドシ／＼

設置さ れねば嘘である、とにかくこれからは私達の仕事は更に忙しくなり更に責任を負はされたのである

また元の商賣に舞ひ戻つた 東亞を振出の女優都さくら

十六日入港香港丸、サロンで記者と語キネで女優をしてゐた都さくらが鎭坐する

「どうして商賣換をしたんです」

「そうしなければならなくなつたんですわ」

「好い人でも出來たんでせう、それとも借金でも出來たんですか」

「いやよ、そんな事はありませんだけど前の商賣で來たんでしたら好いけど商賣を換えて來たんではつまりませんわ」

「今度は何處から出ますか」

「北村樓からよ、こちは初めてなんですからいじめない樣にして下さいね」

「あなたの主演した何とかの朧月とか云ふ寫眞が今こちらに上映されてゐますよ」

「まあそうですか」

東亞を振り出して、都さくらは岡山の藝妓からそして東亞キネからまた元の左褄へ舞ひ戻つたのである【寫眞はけふ船で都さくら】

貨物列車 運行順調

けふ廿個列車到着の筈

吹雪のため大障害を被つてゐた滿鐵線列車運行は十五日夜頃より復舊全線各驛に停滯してゐた貨物列車は順調になり十六日は埠頭到着だけでも二十個列車位を見る豫定で埠頭作業は大繁忙を呈するだらうと見られてゐる

下り貨車中止

十六日午前十時滿鐵鐵道部に達した情報によれば、昨夜來の吹雪で大石橋驛のインターロッキングがまた／＼凍結し上下線の列車運行に幾分の支障を來したゝめ下り線貨物列車三個列車の大連發を中止せしめるに至つた

臺灣も同樣 不景氣

吉林國際重役談

國際運輸重役吉村英吉氏は約三週間に亘り臺灣における同社支店を視察中であつたが十六日入港香港丸で歸任した、同氏を訪ふと臺北高雄に行つたが何と云つても臺灣も緊縮が祟つて不景氣な事と云つたらお話にならぬ、あちらの店を縮小する件に對しては色々批評されると思つたが案外スラ／＼と運んだ此等を考へても不景氣ぶりが窺はれるよ、縮小の内容はお話は出來ないが、本社の方にしたところで矢張緊縮方針で進まなくてはなるまいそれに私はこちらの總會に出席しなかつたので其模樣は解らなかつたが順調に行つたのは喜ぶべきである

漁船の難破

損害約六千圓

去十三日前よりの大暴風雪のため十二日旅順を出帆した發動機漁船大德丸（十五噸船長本田仲七）は十四日午前二時頃西三山島附近で難破し約六千圓程の損害を受けたが幸ひ乘組員七名はどうやら生命丈は助かつたと

伏見町郵便局 電報配達開始

遞信局では伏見町郵便所に電報配達事務を開始し十六日より電報配達、大連運動場間一圓の電報配達を初めた

献金者氏名

十三日以後の献金左の如し

▲十圓愛宕町金光教青年會一同▲三十圓修養團大連電氣支部▲十一圓四十六錢神明高女三年梅組▲十圓千草町二〇川井肇▲十圓初音町二五七平田光雄▲一圓黄金町一五一瀬川貞子

大連丸延着

大連丸は豫定より遲れ十六日午後三時埠頭に入つたが、同船には國際運輸事務局次長杉村勝太郎氏が乘船してゐると

現金を拐帶

市内小崗子綏德街二五番地朱洪仁方義永房昭緒（二三）は十五日午後二時ごろ朱の依頼によつて西崗街一七一番興店盆興へ現金百六十圓小切手百二十圓を預金すべく赴いたが、小切手のみを預金して現金を持つたまゝ何れへか逃走姿を晦ましたので朱洪仁は十五日小崗子署へ取押へ方を願ひ出た

人妻の家出

市内監部通り五一番地小野英夫内縁の妻山下芳子（二三）は十五日午前九時ごろ無斷家出したまゝ行方不明となつたので夫英夫は十六日各警察署へ捜査願を出した

靴泥棒檢擧

十五日午後一時ごろ市内尾上町六十番地附近を靴を多數もつて徘徊して居る擧動不審の支那人を小崗子署員が發見本署に引致して取調べたところ此の男は山東省生れ市内奥町九四無職趙謙祥（二〇）と稱し靴專門の玄關荒しであることが判明した倚現在までに自白した餘罪數十件に上ると

酌婦逃亡

原籍大阪市當時逢坂町太平樂の抱酌婦加留多彌谷本タミ（二七）は本月十三日午前八時頃何氣ない樣子で外出した儘到頭今日まで歸つて來ず十六日大連署に捜査願を提出したが本人は中肉中脊色黒き女であると

救世軍バザー

西廣場の救世軍家庭園にては十七日十八日の兩日西廣場救世軍會館でバザーを開き子供洋服編物手藝品を一般に賣販く外に市内一流商店の出張もあり市價の一割安にて文房具セト物履物毛糸類を提供すると

夫村上勝太郎儀急性肺炎にて本日午後八時四十分永眠致候に付御通知に代へ謹告仕候

追て葬儀は明後十七日午後三時愛宕町金光教會に於て相營み可申候

昭和四年十二月十五日

大連市楓町四七

妻 チヨカ

親戚 齋藤邦三

仝 齋藤新太郎

友人 伊串定七

總代 松浦開地良

平安異香（201）

葉多默太郎作　中一彌畫

さすらひ（七）

五條通を東へ出拔けて、加茂川堤に立つたおつねは、それから、一、二、三と、柳を數へながら川上の方へ歩いて行つた。

歩いてゐるうちに、妙に氣が沈んで、佗しい氣持になるのだつた自ま〻な浮氣はして來たが、まだ魂を賣物にはしたことのないおつねである。

一避々落ちるところへ落ちてしまつたよ、あたし……」

呟いたが、すぐ、また被衣の襟の中で唇が動いた。

「だが、仕方がないぢやないか、あの生娘の幸坊を瀉すのは可哀さうだから——さうだね、秋風のせいだらう。秋風つてものは、妙に人の心を滅入らせるものだから」

四、五、六と數へて七ツ目の柳へ來ると、つゝつゝと、堤の斜面を滑り下りて、

「父ちゃん！」九六父ちやんて人の船はこれだね」

蘆の蔭から灯の洩れてゐる川舟へ呼びかけたと、

「誰だ。大きな聲をしやがつて」

大きないがぐり頭がぬつと出る。

「あんたが、九六さん？」

「さうだよ、お前は誰だ」

「山の内のお鹿婆さんから聞いて來たんだがね山の内のお鹿婆さん知つてゐるかね」

「あゝ、判つてゐるよまあ入んな。お鹿婆から來たといや、用向も大體知れてゐる。お前職業が一てんだらう」

「あゝ、まあさうなんですよ」

いひながら、猫のやうに伸びた九六の手をかりて、ぽんと川船へ飛込んだのがおつねの見納め。何處かに鴉が鳴いて、川面が白め初めるまで姿を見せなかつた。が、九六は出たり入つたり、宵の口から夜中まで、忙しさうに立働つてゐた。

「ちや旦那、またお近いうちに」

といつて滑り出したと思ふと、

もとの五條通を眞直に西へ、それから八條へ下つて眞西へ行くと

「あ、さうだ」

何時か幸と一緒に來たとのある幸の家の前へ出てゐるのだつた。

あひ變らず、葎の茂つた中に門が傾いてゐる。

「可哀さうに。家は潰れて、一家離散か」

呟いて行過ぎようとした時、門の中に一人の男の立姿が見えた。

何處からか代りの舟を浮れて來て

「へい、旦那、お危なうござんすよ。足下に氣をおつけなすつて——いへ滅相もない、嘘など申しますものか、まつたく初心な奴なんで」

ぽんと船の中へ突き落す——といふ按排式。おつねは堤の露の中に立つて、

「父ちやん、ぢや歸るよ」

「おうさうか。で、なにか、今夜も來るだらうな」

「これだけあると二日や三日はもつだらうから、無くなつた頃にまた來るとしようよ」

「慾のねエ野郎だ」

外は川風、そつと秋が身にしみて、思はず被衣の襟をしめたが、肌のぬくみを身に感じると、川船のしめつぽい寢床をでも思ひ出したのか、

「厭なもんだね」

ペツと唾を吐いてすたく歩き出した。

男は、卒塔婆のやうに、雑草の中にぼんやりと立つてゐるのだつた。どうするでもなく、ぢつと立ちつくしてゐる。

「氣違ひか知ら」

そのまゝ歩き出さうとすると、その足音に驚いて、はつとなつて振返り、おつねを見ると驅出したが、その瞬間、ふと思ひ當ることがあつて、

「あゝ一寸、一寸お待ちよ、兄さん！」

おつねは呼びかけた。

映畫と演藝

松竹映畫の配給問題

浪速館に毎週一本だけ配給

大連映畫界は斷續の如く映畫配給係に當る大櫃屋の吉田氏が中心となつて小田演藝館主と契約をなし浪速館に松竹映畫の全プロを吉田氏より配給すべく計畫したものであるが結局南帝國館主の手を經て來る十七日より毎週一本づゝ二番線松竹の映畫を貸託にて浪速館に配給することとなり問題は一段落となつたもので上阪運動中であつた吉田氏も昨夜歸連した、尙浪速館にて松竹映畫をプロに編成するH取は未定であるが、帝國館よりの配給豫定は配給開始第一週は右太衛門映畫「三下野郎」第二週は蒲田映畫「森の鍛冶屋」第三週は阪妻映畫「近藤勇」である、右に關し南帝國館主は語る

浪速館に松竹の全プロが配給されるといふことは絶對にありません、そして配給は私の手を經ることになつてゐます、いろく な噂があるやうですが、何れも所謂流言蜚語に過ぎません

噂話

今しばらくは言はぬの花といふ正月番組の噂に上る作品は▲「ショー、ボート」「四枚の羽根」「レツド、スキン」「キートンのカメラマン」「街の天使」「野球王」「ベンハー」が西洋の▲H本映畫では「山の凱歌」「一本張鍬法」「都會交響樂」「不壊の白珠」「愛慾地獄」「摩天樓」「地に潜く者」「情熱の一夜」「大尉の娘」「西南戰爭」等々▲常盤座の第一週プロを撒ビラから見ると「ヴオルガ」と嵐寛壽郎の「右門一番手柄」で解説者は堅田愛洋氏が光つてゐる▲けふの香港丸で帝キネにゐた都さくらが北村席に來たが、女優名そのまゝでお披露目といふ說もあるさうだ▲何處迄も興味をそゝり興行價値をつけようといふ作戰ではある

映畫說明雜考（下）

速水一雄

「醉はすこと」は說明技藝の内ではこれが最も熟練を要することであり、同時に重要な役割を演じてゐて、說明の巧拙は實にこの如何にあると云つても決して誇張した言葉の綾ではない。

これに就て少し考へて見たい。これは演藝に於ても同樣であるが例へば過日上映された「第七天國」の可憐な乙女ダイアンが姉の暴虐な鞭に打たれ、路上に蹴々として悲痛の叫びを上げてゐる、婦人等は大半涙を流してゐる、然してその瞬間は乙女に同情して、勿論醜い姉に對する憎惡が……しみは、涙は、決して世上自己が經驗する如き惡い感じのものでなく、終了の後に來る感情は、アゝ、好かつた！面白かつた！といふに言はれぬ快感に浸透される。前記の場合、可憐な乙女に同情する、それと反對に姉の不徳を極度に憎惡する然しこの憎惡の感情も決して觀客を不愉快にはしない、返つて姉の打下す鞭が激しいほど、乙女が悲痛を絶叫すればするほどこの映畫が觀衆に快感を興へ得ることに間違ひはない。觀客は何故この苦悩と悲慘に直面し乍らそれが演劇や映畫の場合にのみ愉快を感じるか、即ち滑稽な感情は主として人間の有つ虐美的感覚に快感！この不可思議な感情は主とするのである。これが言はれ得る「醉はすこと」が說明に何故必要であるかが判る、私達が映畫の生命的價値を享受するには映畫の内容に沒入し、更に自己自身の生活にまで體驗し、生活しなければならない。例へば「非常線」に就て云へば、私的慾望とか倫理的好惡とかいふ觀念を一掃して全く映畫に現れを委ねてノーラン探偵と共に悲しみ、喜び、疑ひ、そこに映畫もなく、自己もなく、即ち主客觀體の無關心なる融合が行はれて始めて、ノーランの生命は躍々として激越崇高な美を私達の胸に移植することが出來るのである。これを思へば、客觀的敍事的映畫說明が如何に無力であるかゞ判かである。バーゲマンも（俳優論）俳優は舞臺の上で瞬間の俳優と口を利くだけのやうに見えるが、その實それと同時に幾千百の觀衆に話しかけるといふ、頗る困難な二元主義を實行せねばならない。と云つて、舞臺話術が如何に熟練を要する困難な事であるかを說いてゐる。これは勿論俳優についてであるが、映畫說明に於ても決して無意義な言葉ではない。

映畫そのものは數百年の後もなほ存續するが、說明者の不思議な藝術は瞬間に官能の傍を通り過ぎる、その魅力は彼と共に死し、對談者が耳の中に消えると共に刹那の破滅な創作は過ぎさる。技藝は全然であるのに、その報ひは一時的である、故によき說明者は現在を惜んで用ひねばならない。

だが、大連に於て、果して誰にこの要求を感し得るであらうか。大連說明者達よ如何？

滿洲日報
株主な會社
【利益金は加入者に配當す】
▽現在契約 七億五千餘萬圓
▽現在資産 一億五百餘萬圓
▽加入者配當準備金（前年末現在） 千六百十九萬餘圓
本年度配當金
甲種養老 保險金千圓に付 五百七十三圓
乙種養老 年額保險料百圓に付
最低（契約後二年目） 四圓五十錢
最高（同十九年目） 八十一圓
千代田生命
本社 東京市京橋區衛生町二丁目
關東廳編纂
昭和三年 關東州貿易統計
昭和三年 關東廳人口動態統計
滿蒙の研究資料
北滿洲支那農民經濟
最近支那財政概說
在滿朝鮮人と教育問題
仲士（積卸）苦力の研究
滿蒙より何を期待すべきや
商租權に就て
發行所 中日文化協會
大連市紀伊町
ラヂオ
內地聽取最適
高級セット各種
交流式
蓄音機
內藤商會
寶文館四大日記
當用日記
果然出現！日記界の覇王！！
その日その日
最もスマートな青年自由日記
新四六判 定價金壹圓 送料金十錢
令女日記
淑女の氣品をつかんだ瀟洒な日記
一目で必ず御氣に召します
これぞ一九三〇年型の先驅！！
少年少女ダイヤリー
かはいゝ日記！美しい日記！
皆さんが喜んで書ける日記
發行所 寶文館
中央大學 普通文官養成講義
小學卒業
最高權威・合格多數！！
中央講學館
天下に轟くキングの評判
見よ！新年號・眞劍熱誠の大努力！！
どれもく堪らなく面白い！感激に胸躍る大快篇揃ひ
日蓮
酒井大僧正推奬！
▲今に見ろ！屹度成功して見せる（奮鬪美談）
▲萬人大感動！健氣な少女の鐵石心（池田宣政）
▲巨人は何を語ったか？（勝海舟と小村侯の初會見）
▲成功秘訣＝目・耳・口の動かし方（池田藤四郎）
◎自然に金の貯まる法（蓄錢術）…谷孫六
◎世界王づくし
◎古今の名勝負物語（荒石常陸の全勝串ひ）
◎奇拔な名人・意外な神技
▲心の日月 菊池寛
▲血ろくろ傳奇 土師清二
▲燃ゆる花 菊池幽芳
▲ガラマサどん 佐々木邦
▲宙に浮く首 大下宇陀兒
◎時代小說 風雲天満双紙（佐々木味津三）
◎長篇小說 霧の中の曙（野村愛正）
◎妖艶怪奇 怪盜夜叉王（前田曙山）
◎長篇小說 春遠からず（加藤武雄）
◎時代小說 大醜女物語（本田美禪）
◎傑作長篇 二宮尊德（武者小路實篤）
◎決死の五千米大熱戰（鳴弦樓主人）
◎大驚嘆の大冒險實話（小山莊一郎）
キング獨特 修養記事
◎時局に鑑み同胞に訴ふ（七名家）
◎日本帝國に還れ
◎明るき日本を目指して
◎奕談おでんの代
◎ふらんす土產話
◎西鄕南洲とその訓言
◎感動物語恩愛の復讐
三萬圓大懸賞
第一別冊附錄 新發見の運命判斷
第二別冊附錄 キング名訓集
賣れるゝ破竹の勢！！
この外素敵な讀物口繪寫眞まだく澤山！兎に角實物御覽あれ
美本附錄二冊つき五十錢！今直ぐお求め下さい

豫備交渉で英米は對日共同戰線を張る

若槻、財部兩全權は華府滯在中 我が主張貫徹に努力

【東京十五日發電】ロンドン會議に關する我が豫備交渉は松平、出淵英米兩大使數次の内交渉にも拘らず帝國政府の根本原則たる

一、制限より縮小

二、補助艦對米七割要求

は依然英米兩國の容認する處とならず、英米交々或は

シンガポール軍港工事中止、或は華府條約既定の太平洋防備制限に絡んで我が七割要求は増率を要求することになるとなし英國は日本の主張を全く度外視し八吋砲巡洋艦に於て米十八隻、英十五隻、日本十二隻を明示し、我が國の十二隻には八吋砲巡洋艦として劣弱な七千噸級の古鷹級四隻をも入れんとするものゝ如くである、斯くて對英米豫備交渉は恰も英米の對日共同戰線を張らしめた形となり遲々として進展せず、十六日華府到着の若槻、財部兩全權が直ちにフーヴァー大統領並にスチムソン國務長官と會見後

滯在四日に亘り帝國の主張貫徹に努めるが、果して此の四日間の交渉に依つて如何なる成果を齎すか世界注視の的となつてゐる

十六日首府に到着

沿道における盛大な歡迎ぶりに 兩全權とも感激

【ワシントン十四日發電】若槻、財部兩全權一行は愈々十六日ワシントンに到着重要任務を帶びた首都入りをなす事となつたが、米國側は國務長官スチムソン氏自ら停車場に出迎へフーヴァー大統領の代理として出迎へる海軍副官ケイアラン、ブカナン大佐と共に日本全權に對し厚き歡迎の意を表する事になつてゐる、尚全權一行はシヤトルより當地迄各停車場で何れも熱誠なる歡迎を受け續け若槻、財部兩全權とも感激裡にワシントンに向ひつゝあると

佛國の軍縮協議 十六日の閣議

【パリー十四日發電】國務總理タルヂユー氏は十六日閣議を開きロンドン會議に先立ち海軍々縮に對するフランスの立場を更に研究する事となつた、當日は海軍長官レーギユ氏より海軍專門家の意見を述べた報告書を提出し討議の材料となす筈であるが、右はフランスの巡洋艦潜水艦要求の最小限度に關するものである

米國全權 一月八日に英國へ出發

【ワシントン十四日發電】アメリカ國務長官スチムソン氏は本日左の如く發表した

ロンドン會議に赴くアメリカ全權一行は一月八日出帆のジヨージ、ワシントン號にて渡英する事に決した、然し都合で一月十日迄出發を延期されることあるやも知れぬと

正攻法により喧嘩は買つて進む

疑獄事件は最早一段落と樂觀して 政府對議會策を練る

【東京十五日發電】來議會の召集も愈々旬日の後に迫つたので政府は先般來閣議並びに黨出身閣僚と與黨幹部との間の懇談會席上に於て對議會策に關して種々意見の交換を試みる處あつたが、大體政府側にかては各種疑獄事件も越鐵事件島事件を最後に一段落を見るべく、從つて今日以上政府及び與黨方面に飛火する樣な事はなかるべく、各種の惡宣傳に對しては何等顧慮する處なく安心して萬遺算なき對議會策を考究する必要があるとしてゐる、而して政府部内の意嚮は來議會の解散は必然の勢ひなりとし只如何なる機會を捉へて之れを斷行すべきかと云ふ事にかゝつてゐる、然し解散の鍵は政府が握つてゐるのだから反對黨に裏を掻かれない樣正攻法に依り喧嘩は買つて出ず買つて進む方針を執る事となる樣である

總選擧の準備に着手

内務省警保局に於て

【東京十五日發電】内務省警保局では來議會は解散され總選擧が擧行されるものとして早々總選擧準備を調査研究してゐる、最も猛烈に行はれる言論戰は今回は更に熾烈化するものと見られてゐるが前回の總選擧に於ける演説會數は全國總數七萬九千三百八十八個で一候補につき最多數三百九十六回最少一回で平均は八十一回と云ふ數字を示してゐる

特別會計の豫算

大藏省議で一通り終了

【東京十五日發電】特別會計明年度豫算編成に關する大藏省議は十四日午後一時から藏相官邸に開會井上藏相以下出席、關東廳、南洋廳、樺太廳、八幡製鐵所の四關係豫算を一通り終了し七時散會した尚二三留保されてゐる問題に就ては藏相と關係當局との直接交渉の上決定をなし、印刷が間に合へば十七日の定例閣議に上提する豫定

夥しい銀行合併數

過去十年間に普通銀行は三分の一に減少す

【東京十五日發電】大藏省は銀行の資産の堅實化と相互競爭排除の爲め地方別に銀行合同を干渉してきたが、最近二三年特に金融恐慌の影響もあり急速に合同進捗し昭和三年より施行された新銀行法による嚴重な處分も加つて十一月末では八百九十三に激減し、本年末までには八百七十行臺に減ることが確實と觀らるゝに到り、過去十年に普通銀行數は三分の一に減少した譯である、銀行合同は金融界恐慌直後以上の成績を示し本年は合同一巡終了したため稍不成績であつたが、金解禁の打撃に依つて今後再び合同は增加するものと見られてゐる、最近の合同成績左の如し(括弧内は合同に依る減少數)

	合同參加數	
大正十二年	一五八	(九一)
大正十三年	九六	(四七)
大正十四年	一五四	(八五)
大正十五年	一九四	(一〇三)
昭和 二年	二一八	(一二〇)
同 三年	三四九	(一九七)
同四年(十一月末迄)	九八	(八七)

尚右は普通銀行貯蓄銀行の合計數である

十月末現在の國庫現計

【東京十六日發電】大藏省主計局調査に依れば十月末現在の本年度國庫現計は(單位千圓)

歳入	經常部	四九七、八一〇
	臨時部	一五、八一八
	計	五一三、六二八
歳出	經常部	二二三、四九七
	臨時部	四八四、七四三
	計	七〇八、二四〇

で何れも昨年より減少してゐるが歳入は三億四千六百四十九萬圓の減少で之は剩餘金がまだ繰入れられざると公債の未發行が其主因で歳出の減少二千九百萬圓は實行豫算編成に依る節約に基くものである尚租税收入は三億二千五百二十四萬七千圓で昨年より千二百七十六萬圓の增收を示してゐる

六千萬圓の大藏證券

預金部引受發行

【東京十五日發電】大藏省發表=政府は國庫の出納上の都合に依り本月十六日一般會計分大藏省證券額面六千萬圓を預金部引受を以て發行する事に決定した、其の要項左の如し

一、發行額六千萬圓、內、ニ號四千五百萬圓ホ號一千五百萬圓

一、割引歩合一錢二厘

一、支拂期日、ニ號昭和五年三月一日、ホ號昭和五年三月十五日

右の結果十一月末現在の千五百萬圓と合せて大藏證券現在額は七千五百萬圓となり、一般會計の發行餘力は二千五百萬圓となつた、尚今回の六千萬圓は年末關係上市場公募困難であるから全部預金部引受けとして發行されるが、越年後再び金融緩慢となつた場合預金部より右大藏證券を賣出して金融統制の一助とする方針であつて、其の際の市場金利との均衡を慮り日歩一錢二厘と決定されたものである

滿洲の將來

太平洋調査會の反響

(C)……保々隆矣

明くれば十一月五日午前九時京都都ホテルに集れる各委員は從來と異り四個の圓卓會議の各員悉く三階ロビーに集まれとの通知があつた、全員會議の下に前夜の討論が繼續されるのである。議長は世界的教育學者キルパトリツク博士である、溫厚なる博士は先づ徐氏に向つて、前夜の所說を確めた、これに對し、松岡氏は「昨夜の徐氏の演說は早口で多少聽取し難い點もあつたが余に對する攻擊的意見に答辯せうと前置して此度は原稿もなく毅然たる態度と莊嚴正確の英語で述べ始めた。曰く。

一、滿洲に於ける治安維持の問題であるが、日本の鐵道守備隊は約七千人である、此僅々の七千の軍隊が狹小なる鐵道附屬地に配置され居るから、これが滿洲全般の平和を維持することは不可能であるとの言であるが、此守備隊の背後には日本政府あり日本の陸海軍がある、此背後の力と能く訓練されたる軍隊の威力が治安の保持者である、徐氏は滿洲の地形が然らしむると言ふ、然らば日本軍駐屯以前に滿洲に內亂が繰返されなかつたのか、又た滿洲の人々の激增は支那人口の稠密と言ふが、年々數十萬の人々が海を越えて山東より寒き滿洲に來るのは何故か彼等の故鄉が兵亂と匪賊の橫行の爲め、安寧の地を求める結果ではないか

二、又た滿洲に於て日本が經濟的發展に努力し貢獻して居る、徐氏は余の言を以て虛僞なりと言ふが、徐氏の示す貿易表は實は支那全般に關するもので、余が示せるは滿洲の正確なる表である、余が指示せるは一九〇七年の支那貿易を一〇〇とし、一九二五年度の支那貿易額を比較すれば前者は一〇〇——二二六であり、滿洲のそれは一〇〇——五三六である、即ち支那本土では二倍強なるに反し滿洲は五倍強である

三、徐氏は日本が支那と協力し居ると言ふは虛であると言ひ[illegible]鐵道を例示せしが、此問題は日露戰役後小村全權が北京政府と談判した結果、北京政府は滿鐵の並行線を敷設せぬ事を約束せしが、後に此事情を秘密にして米國資本家を誘ひ敷設せむとしたので、日本の反對にあひ中止したのである、支那が不誠實であるのみである

四、徐氏は支那が滿鐵を通じて日本より得て居る便益に比し支那は過分の支拂ひをなして居ると言ふが、事實は明白に反對である、例へば滿鐵のみを見ても株主は僅少の配當であるに反し使用支那人には年額二千萬圓を支拂ひ、其他各般の方面より支那人のポケツトに入る金は莫大である、猫額大の日本の權益地域內に日本がどれだけの犧牲を拂つて居るか、徐君よ一考して貰ひ度い

回顧すれば日清戰役の結果南滿洲の大部分は日本に割讓されて居たのである、而して三國干涉後は支那は滿洲を擧げてロシアに委ねた、日本は自己生存の爲め十萬の生靈と卅億の金を投じ國運を賭して戰つたのである、而して此結果、支那は一文をも支拂はずして滿洲をロシアより受取ることが出來たではないか松岡氏の舌端は今は火を吐くのである

更に奇怪なる一事がある、それは日露戰爭に先立ち支那は密かに李鴻章をしてロシアのロバノフ氏と攻守同盟の密約を結んで居つた、當時吾人にして此事を知り居れば、今此席上に於て徐君と滿洲問題を論ずる機會はなかつた筈である、滿洲は完全に日本の領土となつて了つて居た筈である

かゝる事實を知らずして滿洲問題は決して解決しない、見よ北滿洲に於て戰雲たなびいて居るではないか、脅威が來りつゝあるではないか太平洋の不凍港へ進出はスラヴ民族の宿願ではないか、向後支那は斯かる場合よく領土保安をなし得るや、第二の李鴻章なきを保するや

と前夜の徐君の論旨を徹底的に駁擊し滿座水を打つたる如く謹聽し日本ビイキの外人中には「これで溜飮が下つた」と言つた人もあり又前戶博士の如き「日本人の國際會議で此の如き立派なる(英語)演說を聞いた事がない」と激賞せられて居る相である(金井清氏談)

斯て松岡氏は一躍して京都會議のヒーローとなつて終つたのである否これによつて動もすれば受太刀にならんとした日本側が內外人に好評さるゝの一大轉換をなし列席の有力者を首肯せしむることが出來た、想へば前夜の徐氏の非禮奇襲が反つて良好の結果を招いた世上の事は矢張り「塞翁が馬」一か

漁民暴動事件更に重大化

各地より應援の申出

【富山十五日發電】神通川沿岸漁民の水利權擴張許可取消運動に關し勞農黨及び全國農民組合始め各地より應援の申出であり、愈々近日的貫徹を目指し問題は更に重大性を帶びて來た

高岡電燈會社に疑獄か

【富山十五日發電】高岡電燈水利權擴張に反對する神通川漁民の縣廳に押寄せた暴動事件は、檢束者六十名につき富山檢事局で取調の結果十五日朝迄に內十三名は暴力行爲として檢事局送りとなり十九名は釋放された、此の高岡電燈水利權許可並に之に關する神通川用水問題に絡まり、高岡電燈から某政黨方面に金がばら撒かれた形跡あり、漁民暴動事件副產物として疑獄事件が發生する模樣である

知事の進退伺

【富山十五日發電】山中富山縣知事は今回の縣下神通川沿岸漁民の暴動事件を惹起するに至つたにつき責任を負ひ進退伺ひを提出した模樣である

正式會議は歸哈後に開催

蔡全權哈府で語る

【ハルビン特電十五日發】蔡全權はハバロフスクにてロシヤ記者に對し左の通り語つた

今回の會議は假議定書に基く本會議開催の豫備正式會議で、交涉解決の上は歸哈の正式會議を開き正式會議代表も決定するもので平和的解決を希望する

露國政府より兩氏を推薦

東鐵の正副管理局長

【ハバロフスク十四日發電】支那側全權蔡運升氏は本日公式にシモノフスキー氏に對し東鐵理事林仲[illegible]を罷免し暫定的に呂榮寰氏を任命する旨申出でた之に對しロシア政府は新正副管理局長としてエムシヤノフ、エスモンドの代りルデー、ゲニソオフを推薦する處あつた

滿洲里邦人の被害

婦人一名即死し一名は負傷 田中駐割領事の報告

【ハルビン特電十六日發】去月廿七日田中領事からの電報が浦鹽を經由し十一日、當地に着したによると滿洲里の食糧は本年末まであるも燃料は二ケ月よりなく日本領事館に流彈飛來の際は日本婦人一名即死し一名負傷したと報じて來た

ハンガリー賠償 强制を勸告

【パリー十五日發電】第二回海牙會議の紛爭と見らるゝハンガリーの賠償問題に關しフランスは五大債權國がハンガリーに對し何等かの强壓手段に出ることを勸告したがイタリーは大賛成である

紐育でも示威

【ニユーヨーク十四日發電】當市でも本日共産主義者の示威行列行はれ政府の失政を攻擊し多數の旗を押し立てシチーホール附近で解散された

滿鐵課長級小異動

奉天地方事務所長には小倉氏 十六日午後發表さる

滿鐵では過般來大平副總裁の手により欠席中であつた興業部庶務課長、東京支社庶務課長、經理部會計課長代理及び太田奉天地方事務所長の洋行による後任に對する補充者の人選中であつたが十四日最後の成案を得たので十六日午後仙石總裁の出社と共にその決裁を仰ぎ同三時木村人事課長より左の如く發表を見るに至つた

鐵道部勤務職員參事 小須田常三郎 興業部庶務課長を命ず

總裁室人事課勞務係主任職員參事 二村光三 總裁室社會課長を命ず

勞農通商出張所員 勞農ロシア日本通商部大連出張所員 總裁室社會課長職員

參事 小倉鐸二 奉天地方事務所長を命ず

東京支社運輸課長職員參事 平山敬三 東京支社庶務課長兼務を命ず

地方部衞生課庶務係主任職員參事 廣崎浩一 經理部會計課長代理を命ず

奉天地方事務所長職員參事 太田雅夫 地方部勤務を命ず

興業部長兼興業部庶務課長 田村羊三 兼務を免ず

東京支社長兼東京支社庶務課長 入江正太郎 兼務を免ず

小幡公使に反對

奉天外交協會が飛檄

【奉天十六日發電】佐分利公使の後任に小幡公使が擬せらるゝや支那各團體は何れもこれに反對して居るが奉天外交協會に於ても本月十日各地團體に對し左の如き反對宣傳書を發送した

聞くところによれば日本政府は佐分利公使の後任として小幡氏を銓衡してゐるといふが小幡氏は先年駐支公使たりしことあり廿一箇條問題を始め巨額の日支秘密借款を締結したる經歷を有し支那にとりては頗る注意を要する人物である、依つてこの際各地の外交協會及び對露後援會及び民衆は聯合して小幡氏の駐支公使就任を拒絕すべし云々

華商の金融難に日支貿易も不安

貸倒れて相當損害

【奉天特電十六日發】最近奉支紛爭と財政難で奉天省城は極度に金融逼迫し華商間の倒產者は續出する有樣であるが新正月を目睫に控へ益々深刻化しつゝあるので華商間では一大恐慌を來しつゝあり一方內地邦商も緊縮と消費節約で不況を呈し金融全く杜絕の狀態である、がため日支商取引も前途不安に驅られ沿線各地から商工會議所に事情調査に來る商人絕え間なく貸倒れも相當免れまいと云はれてゐる

講武堂學生思想惡化

手當不拂から

【奉天十六日發電】奉天講武堂及び研究班の學生は去月末十月分の給料の三分二を支給されただけで其後一文の支拂もなきため一般に不平を抱き不穩の言動を洩らしてゐる、それが爲め當局は之に對し嚴重の注意を怠らぬが學生側の云ふところは東三省の財政が窮迫してゐることは事實なるも最近張學良氏の態度を見ると省民の窮狀を顧みず種々の名目を附して重税を徵し、而も自己は酒色の巷に耽溺し政務を顧みず軍人の給料にまで事缺くとは怪しからぬといふのであつて極端なものは此際東三省內に事變が勃發する場合には必ず張學良氏に反旗を飜へすといふ過激分子さへも現れるに至つたので嚴重警戒されてゐる

消費組合の積極活動と對策

社會問題として解決せん 商議役員會で決定

大連商工會議所役員會は十六日午後三時から開會、鈴木臨時書記長から過般開催された日滿商議聯合會の經過報告があり、更に今後の議題たる昭和製鋼所設置及びこれに伴ふ關稅制度改善の件につき植田議員會頭より今日までの運動經過の報告があり、更に今後も飽くまで初志の變らざる方針の下に運動を繼續するに決定、次いで關稅制度改善に關する件に移つた、右件は對外關係があるため秘密會となすことゝなり報告を承認し[illegible]とし、次は市中商人間に問題となつてゐる滿鐵消費組合の對策に關する件に就き左の如く千田議員より緊急提案があつた、即ち

消費組合のデパート式經營は市中商人に影響甚大で會議所としても滿洲は特殊地域といふ見地から之を社會問題的に解決すべく何等かの對策を講ずる必要があり依つて調査機關を設置して具體的運動を進めたい

之に對し滿場異議なく贊成し直ちに商業部委員會に一任することゝなつたが同委員會では之が對策の成案を得次第更に役員會に諮るに決し四時三十分閉會、これより關稅制度改善問題につき秘密會が開かれた

奉派の軍制改革

明年二月迄に卅萬人徵兵 四月より訓練實施

【奉天十六日發電】奉天軍の軍制改革、徵兵制度の實施は既に久しき以前よりの懸案とされてゐたが張學良氏は今回の西部國境における對露軍事行動に支那軍が惨敗したるは畢竟兵卒の素質が劣く何等軍事的訓練を經てゐないものであることに基因するものとして急遽右徵兵制度を施行することに決し各關係部所に其旨通達を發したがそれによると徵兵は土地二十天地以上の所有者より一名宛を徵兵し之に一ケ年訓練を施したる後正規兵とする豫定で明年二月までに三十萬人の徵兵者を選定四月一日より實施することになつてゐる

◎奉天兵工廠內で共產黨員を逮捕

【奉天特電十六日發】露支紛爭に乘ずる共產黨員多數潛入說で奉天當局は官衙大工場學校その他の關係に就き取締を嚴重にしてゐるが十四日趙世興(三一)及び劉吉辰(三[illegible])の兩共產黨員を兵工廠內に於て逮捕した、彼等は共產黨の宣傳ビラ多數を所持してゐるが、官憲の取調べに對し容易に自白せず目下遼寧高等法院に送り引續き取調中であると

各縣商團で安寧維持

遼寧當局訓令

【奉天十六日發電】奉天省一帶は對露關係から各地の駐屯軍が國境に出動、警備力手薄となりたる關係から例年に見ざる多くの匪賊が跋扈するので奉天當局は先頃來これが警戒につき腐心中であつたが結局各縣當局に於て自衞の途を講ずるより他なしとの事に協議一決此程各縣に對し左の如き訓令を發したと

一、各縣商會に命じ左の組織により商團を組織せしめ自衞を保ち匪賊を嚴正せしむべし

一、商團の銃器、服裝及費用は商戶にて擔當す

一、商團は商家の安寧を保持するをその主旨とす

一、各縣商團は凡て各縣商戶に於て之を編成す

仙石總裁社員招待

十八日滿洲館で

仙石滿鐵總裁は着任以來病後の保養に專念し一切の宴會を廢止してゐた關係から滿鐵社員に對する就任披露も延びてゐたが一方來る二十一日頃上京の豫定であるため十八日午後六時より高級社員(參事以上)を滿洲館に招待披露宴を開催することゝなつた

拓大の忘年會

拓殖大學同窓會大連支部では來る十七日午後六時より埠頭ビル六階食堂において忘年會を開催する事になつた會費一圓の緊縮ぶりである

[illegible]箱子

露國政府の穀類買上はあく迄强制的に行はれ集め得た穀類をモスクワ市內に貯藏するため適當な不用の建物が見つかつたらドシドシ國家保安部に通知するやうにとの布令を出した▲然しモスクワの住宅難、事務所難は有名なものでさうした餘地は一寸一分もない。だから教會や寺院などは片つぱしから徵發される▲それから穀物を入れる袋も問題でボーイ、スカウトが市內を戶別訪問して袋の寄贈を求めるやら消費組合員が一圓二十四錢位で買上げるやら大した騷ぎである▲兎に角かうした活動はモスクワその他の都市では手つ取り速いが田舍へ行くと可なり閑暇が多い▲中露のペンサでは製米所が穀類隱匿の廉で婦人官吏から告發されたのに恨みを抱き同官吏の住宅を燒き拂つた爲め主人は銃殺、共犯の件は十ケ年禁錮に處せられた▲さうした事件は隨所に報ぜられ政府筋でも大分手を燒いてゐる

特産

定期後場(鈔建)

▲大豆(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百二、七車

▲普通大豆 出來不申

▲豆粕(保合)(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 [illegible]

▲豆油 出來不申

▲高粱 強(?)(單位[illegible])

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百四十九車

▲包米 出來不申

現物後場(銀建)

	寄付	大引
混保大豆(袋込)	六四五〇	六四六〇
出來高	三十車	
普通大豆(袋込裸物)	出來不申	
豆粕	二一六五	二一六五
出來高	二[illegible]枚	
豆油	一七七五	一七七五
出來高	三百箱	
高粱	四三二〇	四三二〇
出來高	二[illegible]車	
包米	出來不申	

錢鈔

定期後場(單位錢)

期	寄付	前値	大引
近	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 近 百卅一萬圓

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(銀對金)二萬七千圓 (銀對洋)三千圓

商品

後場

銘柄	約定期	値段	枚數
麻袋(保合)			
鐵筋	延十二月末	三〇、七	一〇
同	同 延四月末	[illegible]	一〇〇

綿糸布、麥粉 出來不申

神戸特産(十六日)

	後場寄	後場引
大豆現物	[illegible]	六五〇
先物	[illegible]	五五〇
豆粕現物	[illegible]	一八[illegible]
先物	[illegible]	四〇
滿洲小麥	[illegible]	六二[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	[illegible]	[illegible]
鐘紡新	[illegible]	[illegible]
日糖新	[illegible]	[illegible]
郵船新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
中	[illegible]	[illegible]
先	[illegible]	[illegible]
豆	[illegible]	[illegible]

東京株式(短期)

	東新
寄値	[illegible]
引値	[illegible]
高値	[illegible]
安値	[illegible]

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]

東京期米

限月	後場寄	後場引
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]
四月	[illegible]	[illegible]
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]

満洲日報

軍閥抗争の業火

社會の事象にも求心する所の勢もあれば遠心の傾向もある。蔣介石氏が中央集權に努力すれば地方の大小軍閥は反撥して割據する。結局は遠心と求心と孰れが强きかによつて決せられるが、支那の如き國情にあつては遠心力は現實であり、求心は理想、中央集權は容易に期し得られぬことゝもいへる。殊に蔣介石氏が國民政府の主班としての中央集權なるものに對しては地方の新舊軍閥は必ずしも中央と認めず同じ一地方の分權勢力の少しく强大なるに過ぎず、何を以て統一の綱準のといふや怪しむ程のものではないか。」

◇

支那五千年の歴史は求心力と遠心力との抗争であつたともいへる。文化の程度において中央と地方との差が非常に甚だしい場合においては中央集權が地方分權を壓倒し得たであらう。しかもその文化なるものが餘りに度を失し例の文弱に陥るや北狄、西戎などの攪亂するところとなり漢民族の司配權を喪失するやうなことが起つたのである。但し往昔の文化なるものは今日の如き組織、機構を有するものでないから清朝の末期等にありても浙江、湖南方面にありては燕京を凌ぐの文運を示したことさへある。かゝる場合にあつては自然地方分權の遠心力が中央集權の求心力を抑制する傾向さへ認められるのである。

◇

國都を北京から南京に遷移することの出來たといふことは反對に現在の國民政府を北平に逆戻りさするも大小、新舊の軍閥は兎もかく一般民衆は必ずしも痛痒相關せぬものともいへる。いや國都を洛陽に移すも可なり杭州に持ち行くも悪くなく、太原や奉天も漢口、廣東でさへも占據する軍閥の勢力如何によつては天下に號令することの出來る中央都市たらしめ得ぬことはない。かくの如き狀態は何を物語るかといふに經濟や交通あらゆる文化の點からして一ツの首都となり得ぬだけの條件を具備した中央がないといふことに歸着するのである。孫文の遺訓なりとして北京から南京に移轉したけれども蔣介石氏らに好都合なりといふのみにて支那全國の首府たるためには缺陷が多きに失するやうである。今たゞ寧ろ北平の方がといふ聲のあるのは必ずしも北方に偏した議論ではないのである。」

◇

國都論といふものは昔から支那において相當に考へられて來たのであるが昔からまた中央にあるものは地方分權の遠心力に抑壓せられ久しきを保つことの出來ぬのも史實の示す通りである。清朝のやうな中央集權、地方統一といふことにおいては五千年の歴史中、最も隆盛を極めたといはるるにも拘らず長髮賊の亂を初めとし地方遠心力の反撥は殆んど全清朝を通じての年中行事であつたともいへ得る。共和革命以後にあつても中央に蟠踞したものは悉く倒されてゐる。袁世凱のやうな人物にしても然り曹錕、段祺瑞、悉く然り、而して張作霖、馮玉祥、閻錫山氏らまでが成るべく北京から遠ざかつて中央入りの野心を抑制した所以のものは中央集權の地位に立つも責任に比例して實力を養ふことの不可能を知り寧ろ紛糾の渦中に投じ衆怨の標的たらんことを避けた保身術に過ぎなかつただといはねばならぬ。」

◇

北京から南京に遷都したが今日の南京は未だ必ずしも國都としての文化的資格を具有するものといふことは出來ぬ。されば蔣介石氏の勢力も國民政府といふ看板を背景にしてゐるけれども中央集權は名ばかりであり地方分權の把握者たる閻錫山氏にさへ劣る程度の實力しか所有せず況んや張學良氏などに比較せば思ひ半ばに過ぐるものが存するであらう。かくの如く必ずしも他地方に優越したる地盤に占據せぬ蔣介石氏の國民政府であるから石友三軍の叛亂ぐらゐでも直ちに基礎の薄弱を暴露せざるを得ぬのである。時日の經過と共に多少、脅威は去つたものゝ如くであるが蔣氏の國民政府も他の新舊大小軍閥と擇ぶところなく名義上の中央政府を以て自任するのみにて實の伴はず却つて責任の負擔に名義倒れとなりつゝあるのである。廣東に汪精衛氏を仰ぐ張發奎氏の軍政府が發生するや否や、閻錫山、馮玉祥氏らが如何なる態度に出づるや。徐源泉、唐生智、何健氏らの抗爭が如何に展開するや將來の政局は事實に徴するの外はないが併し蔣介石氏らが辛うじて國民政府の存在を南京に維持し得たりとしても、その實勢力は長江下游一帶より遠くに及ぼし得ぬことだけは豫見し得るやうである。果して然らば蔣介石氏の智略により支那が南京における國民政府の下に中央集權の實が擧げられ地方分權は統制せらるべしなどの豫想は空想と斷ずるの外なく中華國の民衆には氣の毒千萬ではあるが新らしい革命支那も依然として五千年來の歴史を繰り返し相當に長い當分の間、大小、新舊軍閥の抗爭は排絶すること不可能なりと諦めねばなるまい。とにかく共和革命十八年ぐらゐでは尨大なる支那の歴史を次ぎの時代に馴致することは出來ぬのである。軍閥抗爭の業火は容易に終熄せぬやうである。

副管理局長の權限を擴張

支那側の意嚮だが露國側では肯かぬ

【ハルビン發】露支正式會議に支那側が提案する問題は

一、一九二四年の露支、奉露協定の精神を遵守すること
二、東支鐵道は七月十日前の原狀に恢復する(これは其後約五ヶ月間支那側が管理してゐた東支の收入及新規事業、新に人事採用をした點其他一切の問題は放棄することを意味する)
三、白系ロシア人は採用しない
四、鐵道警備權の折半は支那の主權を尊重し斷然拒絶する
五、東支管理局長及副局長は新に任命のこと

等でロシヤ側は第五の條項に既に

承認を與へ

支那側は呂榮寰督辦を罷免したので紛爭當初の兩國責任者は双務的に自決した爲め問題は赤化宣傳の取締、白系ロシア人の解散は合理的に解決しされたものは管理局長の權限と損害賠償の二點であるが、局長の權限縮小は奉露協定調印後直に支那はロシヤに提案し解決を計るべきが當然であつたが、其の代り支那側の副局長の任命をロシヤは承認したので支那側は其の副局長の權限を擴張しやうとするのが問題となつてゐるのである、これは理事會を有し支那側が東支の最高代表たる

督辦を任命

してゐる點からロシヤとしても管理局長の權限を縮小されることには反對する態度を有してゐる

露支交渉は容易に樂觀は出來ない

スト獨逸總領事語る

【ハルビン發】ハバロフスク市に於ける露支交渉に就きストツペドイツ總領事は

露支交渉は十四日から開始され一週間後には何とか解決し多少は判るだらうが、双方の提案條項はさう簡單に行かぬから樂觀は容易にできない、松浦鎭の拘禁ロシア及十月革命のために逮捕されたもの等の釋放に就いては松浦鎭のものは七月十日以後のものであるから釋放するに支那は同意するも、五月のソウエート總領事館の檢擧で逮捕した三十六名のものに對しては支那側は除外するであらう、七月十日以後の原狀と云ふ點に關係をもつてゐる、自分はこの火曜日(十七日)に松浦鎭を觀察することにしてゐる、尚ほ傳家甸の監獄は傳へられる程設備は惡くない

と語つた、因にハバロフスクに於ける露支正式會議の原則取極めは一週間後に決定し直に拘禁者の釋放が決定するであらうと

東北電政監督處改稱と異動

【ハルビン發】東北電政監督處を撤廢し東北電政管理局と改稱し局長に顧宗林氏任命され、電政監督の李德言氏は副處長に任命され、管理局は東北四省に於ける無電、有電、電話其他一切の通信機關を統制し郵政に關する行政を監督することになつたが、地方の長途電話の建設に關してはこれを東北交通委員會に於て決定すべきであるが、或は電政管理局が處理すべきであるか目下當局者にて研究中である

コロンバイルに蒙古軍駐屯

一掃は容易でない

【ハルビン發】支那側西部最前線からの報道によると、海拉爾以西はロシア側に依り占領されコロンバイルには既に蒙古兵が駐屯し兵器を擁つてゐる、蒙古軍は全部外蒙とは云へぬが彼等の組織がコロンバイル政廳及び護衛と稱して駐屯してゐることは支那當局としては苦痛で、しかも其等の蒙古軍は外蒙から支援のため派遣されてゐるとすれば愈々露支交渉が成立してもコロンバイルの蒙古軍は恐らく無條件では撤退しないであらう支那側としては勢ひ其の場合は力によらねばならぬが蒙古軍の背後に與のリーダーとなつてゐるものは赤軍であり、ソウエートとの關係も相當深い譯であるとすれば支那としては容易に手が出されぬのである、從つてコロンバイルの蒙古軍一掃は困難であるがハイラル一帶に蒙軍の駐屯せることは直接ソウエートと關係はないので支那としてこれを如何に處分するか問題であると見られてゐる

各鐵道を調査

東北交通委員會

【吉林發】傳ふる所に依れば最近吉長、吉敦、吉海各鐵路局は東北交通委員會より中露事件發生後東北省に於ける各鐵道の營業上に大なる影響を及ぼしたるは無論なるが、茲に各鐵道の運輸狀況及軍隊輸送辦理の狀況等を明確に調査する爲め今回王中人等多數の調査員を東北各鐵道に派遣する事に決定の旨通令に接したと

監禁露人の復舊を要求

支那側では承知せぬ

【ハルビン發】拘禁中のソウエート國籍人を支那側が釋放することはソウエートに監禁されてゐる又承認を與へてゐるが、松浦鎭に拘禁中の一千二百餘名のロシヤ人を若し釋放した場合ソウエート側は其儘七月十日以前の東支原狀回復を理由として直に原職に復せしめることを支那側に要求し、支那側はこれに對し東鐵の原狀回復は七月十日前とするに反對はないが、拘禁者は赤化宣傳の陰謀を計畫したものでロシヤ政府が一九二四年の奉露協定を蹂躙し第六條の赤化宣傳を禁止する誠意を有するものとせば拘禁者は全部一時本國に歸還せしめることが正當で且つ合理的であると反駁し釋放問題に關しても意見の相違を來してゐると傳へられるが、和平交渉の成立を妨げる程度には至らず圓滿解決するものとみられてゐる

市會議員辭職せよ

茂里 端

(投書歡迎 新聞行數五十行以内のこと 中傷を目的とするものは採らず)

己れ等が選擧した市長を自分勝手にやめさせ樣とする不信任案が大連市會に提出される相だが甚だ解し難い事だ、何と考へても不可思議だ、問題は石本氏が市長に選擧せらるゝ時の口約であるが之は市長になる迄の單なる過程で銃口を放れし彈丸は射手の意思により左右することが出來ないと同じである。

若し石本市長が十一月になつて有給市長制案を出して退任するといふ口約とした事が事實であつたとしたならば、そんな口約をする市會議員の頭の程度が知れる、僅か半年位市長にして置いて何をさせ樣としたのだ、不眞面目千萬と云はねばならぬ。

今や各都市は市長の有給制度になさんとする趨勢にある、然るに時代に逆行して有給市長制度となすが如きは自治の圓滿なる發達を阻害するものと云はねばならぬ、市會は公器である、市會議員の私情を訴ふる場所ではない、個人の體面や何かは問題とする處ではない、市民清き一票は市民の爲に善政を布いて貰ひたい眞心よりの投票である、然るに豫想を裏切り輕率なる口約をしたり輕率なる市長選擧をしたり事毎に事端を醸し徒らに市政を攪亂する諸君は何をもつて市民に謝する、半歳でやめる口約をしてあるのにやめないから不信任案を提出するといふ諸君はそんな約束を重んじない樣な者を選擧した不明を愧ぢないか、市長の不信任案より先に石本市長を選擧し今又不信任案提出に贊成する諸君は潔く辭職した方がよいと思ふ、自治體には闘爭の觀念を容れてはならない爭ひのある自治體は壊滅するとギイルケは云つて居る、協調を保てないものは自治に參與せしめてはならぬ。

石炭購入者注意

市内實見生

當時緊縮節約で各家庭に種々研究される樣ですが、多期必要品たる石炭購入に邦人は餘り無關心なるに驚く、電話にて半噸なり一噸なりの注文すると各販賣店は斤量に不足無く麻袋に入れ封緘するが支那人運搬夫中には途中でボロ買ひと聯絡を取り例ば神明町方面へ配達する品を近江町派出所の下町古籍古賣買の宅に持廻り封緘を開き一噸中百五十斤以上窃み取り又元の通り封緘して購入者へ配達すると云つたあんばい、斯樣な事は購入者の損失のみならず販賣店の信用にも關する事故當局では十分取締つて貰ひたいと思ふ、勿論購入者自身は十分注意すべきである

南征雜録 (60)

難波勝治

未開の東岸(上)

若し臺灣島を中斷して之を東西に分類すれば、基隆港は正に東部臺灣に組入れらるべき位置にあるが、實際問題としては少くとも澳底以南を東海岸と稱する事が適當であらう、それだけ基隆以西と以東とは觸目の風物が旅行者に異つた氣分を與へる、尤も同じ東岸でも宜蘭鐵道の終點蘇澳と、それから先の

斷岸地帶

以南とは更に著るしく相違し、後者は最近まで化外の蠻域視されて居たのである、基隆から蘇澳までの宜蘭線は延長六十一哩二分、八堵までの二哩二分間を縱貫線に沿ふて走り、同線に於て始めて本支兩線が東西に岐れるのだが、それから澳底までの二十哩三分間は、山を繞え、谷を渉り、十六七ケ所の大小隧道を出入して、佳景奇勝の特に目を惹くほどの者はないが、この邊一帶は臺灣中屈指の有用礦物埋藏地で、四脚亭、猴硐、三貂嶺等の各驛から、何れも年額二十萬噸近くの炭を產出し

殊に瑞芳

を中心に九份、金瓜石、武丹坑等の諸金山があつて一時ほどの盛況はないが毎年約百萬圓の金鑛を内地に移出して居る、山勢が迫つて猫の額ほど狹い頂雙溪は、その西方に清朝時代の史跡ある三貂嶺が峙へて居り、又明治二十八年澳底から御進軍遊ばされた北白川宮殿下の遺跡もある、炎威燬くが如き眞夏の一夜を過された鐵治屋敷何股の廟址は、今猶漫々たる溪流を前にした丘上に殿下が上陸された地點は大里頁寮庄と澳底との中間にあつて、明治三十九年樺山總督に依つて記念碑が建られた澳底……それは如何にも

地勢に適

ほしい名稱である、狹い險しい谷間を潜つて出た汽車の窓から、白砂黒礁の濱邊を隔て、望んだ太平洋の一碧は、そよふく海風を滿喫して一しほ胸の清々しさを覺しめる、宜蘭入墾の一たる東溟曉日は大里驛の大里に與へられた諡稱だが、驛の南方一里三十町に古來險難を以て聞えた草嶺があつて、隧道の延長七千百二十呎、大正十三年に竣工した本島の最長の掘鑿工事である、大溪を過ぎ、龜山を過ぎ、外澳を過ぎて、頭圍驛より始めて宜蘭平野に差懸るのだが、其處から宜蘭までの約七哩間は、東部臺灣中最も多くの

名所古蹟

を有する地帶である、平野開拓の始祖吳沙を奉祀した佛祖廟、礁溪溫泉、楓樹林、五峰旗山の瀑、龜山島の遠望など、野趣横溢の間に悠揚たる別天地の趣がある、宜蘭は人口二萬四千二百餘、孔子廟、五穀廟、公園、神社、溫泉等を有する東岸第一の都會だが、併し最も將來ある新市街はそれから約八哩を距る羅東である、前に述べた太平山檜林への森林鐵道は、この地から濁水溪を傳ふて西南二十二哩餘に延長し、羅東を落花生油、檜材、樟腦、麻油及び米等の集散市場たらしめたが、人口一萬三千餘、年々急速の進步を遂げつゝある

宜蘭線の

終點蘇澳は人口約一萬二千、南北西の三面に山岳をめぐらし、灣内深く東海岸第一の良港だが、基隆港を距る海上五十浬、宜蘭地方への物資を吞吐して重要の地位を占めて居る、停車場の南三十二町に南分澳の漁港があつて、港内の面積一萬四千坪、干潮時の水深六尺乃至九尺、延長六百七十餘間の岸壁を有して漁船の繫留に便して居る、蘇澳港の主なる物產は樟腦、木材、炭酸水、大理石、スレート、鰹節、鰤魚等だが、近年珊瑚樹の漁撈に手を染めて基隆と對抗して居るとか、若し目下開鑿中の花蓮港への自動車道路が完成したら、その繁榮は更に今日に倍するものがあらう。

【寫眞は蘇澳南方澳漁港】

けふの放送

支那語會話 第三十一回

秩父固太郎

1 一向少見 2 偺們老沒見了 3 府上都好啊 4 托福、您府上好啊 5 托您、不敢當、您很忙 6 短遇去請安 您惦記着 7 8 倒沒甚麼忙的 9 請到我家罷 10 改天去請安 11 您今、偺有工夫 12 禮拜有工夫 13 偺們禮拜日罷 14 好、我找您去 15 您甚麼時候見 16 甚麼時候見都行 17 我一天都沒事 18 那麼早九點罷 19 好、我在家裡候着您 20 今日偺們兩便

譯文

1 近頃お目に掛かりませんね
2 お互樣にとんと御會ひしませんね
3 御宅は皆樣御達者ですか
4 お蔭樣で、お宅はお變り有りませんか
5 有難う御座ゐます(御心に掛けられて)
6 御機嫌伺にも上りませんで失禮して居ります
7 恐れ入ります、貴方は非常に御多忙ですもの
8 別に何も忙しくは有りませんが
9 私の宅へ入らつしやいませ
10 こんどお伺致します
11 貴方はいつがお閑ですか
12 日曜は閑です
13 日曜にお會ひしませう
14 エヽ、私がお尋ねに出ます
15 貴方いつ頃お出で下さいますか
16 何時頃でも宜しう御座ゐます
17 私は一日中用事が有りません
18 それでは朝の九時としませう
19 結構です、宅でお待ちして居ります
20 今日は此處で失禮します
(新字) 。府 托。 。福 惦。

雪のお話（一）
滿洲の雪と内地の雪

皆さん、雪といふものはどんなものか御存じですか、なんていふと何あんだ、雪ぐらゐ知つてら、此の頃時々降るぢやないか 雪はお砂糖のやうに白くて、冷たくて、日が照り出すと溶けるもので、雪だるまなんかこしらへるものだよ、と皆さんは肩をいからすかも知れないが、

＝それ位の＝ ことなら赤ちやんだつて知つてますよ。では雪とはどんなものか、それを少しばかり聞かしてあげませう 皆さんは滿洲の雪も内地の雪も同じやうに考へてゐるかも知れませんね、もちろん、内地の雪だつて冷たいし、白いし、日が照り出せば溶けても行きませうだが、雪の出來かたがよほどちがつてゐるのです。ところで内地には

＝どんな雪＝ が降るかといふと、たいてい綿を千切つたやうなボタ／＼した雪が降ります。雪の降る日に、傘をさしてあるくと、傘の上に雪がつもつて、持てない位になり、足駄をはいて雪の中をあるくと、足駄がまるで雪だるまのやうになつて、しまひには、歩けなくなつてしまひます。だから、そんな時は道の電信柱などに足駄をぶつつけて雪を拂ひながら歩かなければなりません。この雪が

＝松の木や＝ 棕櫚などに綿をかぶせたやうにつもつた景色は、實にたとへやうのない美しさです。お酒のすきな人などは雪見と稱してふくべを下げて雪見に出かけたりします。ところが滿洲の雪はどうです。まるでザラメのやうにさら／＼してゐて、外套についた雪でも一寸拂へばすぐきれいに取れてしまひます。地上に積つた雪も風が吹出すと、埃と一緒に

＝空高く舞＝ ひ上り屋根の上に雪がたまるやうなことはめつたにありません、これは何故でせう。まあ明日までにゆつくり考へて置いて下さい。

童謠　つらら

大廣場小學校一年　森　照男

つららがたくさん
下つてる
お屋ねの下に
下つてる
とてもとても
あまそうだ
つららがたくさん
下つてる
お屋ねの下に
下つてる
ほんとにつららは
つめたいな

ニドメノ 大チヤンノタンケン（163）

ハルミチ作　ジラウ書

大チヤン ハ カタテ ニ ピストル ヲ ニギリナガラ ホラアナ ノ ナカ ヲ ノゾイテミマシタ。ソレト イツシヨニ 大チヤン ハ「アーツ！」トイツテ オドロキノコヱヲアゲマシタ。

オウ ソレハ ナント オソロシイ マモノデアツタデセウ。ランラント ヒカル メ、オホキナ アタマ、ケダラケノカラダ、ヒトメ ミタダケデモ ミノケノ ヨダツヤウナ オソロシサデス。

カヘリミチハ マモノニ フサガレテキマス。カイガンハ キリタテタヤウナ ゼツペキデス。ニゲミチハ ドコニモ アリマセン。大チヤンタチハ イヨイヨ マモノト タタカハナケレバナラヌトキガ キマシタ。

童話　船の出る日（上）

眞木浩二

外には小やみもなく、こまかい雪が降りつゞけてゐました。次郎さんは、白く曇つた窓ガラスを通して、港の雪景色を朦朧と眺めて居りました 油の様に靜かに動いてゐる青い波。黒い煙りを吐き出してゐる大きな汽船。大きな煙突から吐き出されて灰色の空に消へて行く煙。黒い雲から雲へ飛び廻つてゐる鷗。それらのすべての面白い雪景色も次郎さんは泣くまいとしても、獨りでに涙が眼の裏からにぢみ出るのでした。

次郎さんのお父さんは、大きなお船の船長さんでした。それですから、いつもお船に乘つて、遠い遠いお國へ行くのです。そして今日も又、大きな船に乘つて、暖かい、南のお國へ行くのです。そしてお父さまが歸るまで、お母さまとたつた二人きりで寂しくお留守居をしなければならないのです。それを思ふと次郎さんは何だか淋しくなつて、眼の奥からひとりでに熱い涙が湧き出て來るのでした

次郎さんはいつも「お父さまはどうして僕やお母さまを殘して遠いところへ行かなければならないやうな船長さんなんかになつたのだらう」と思ふのでした。然し、次郎さんは、お父さんが船長さんなので一つ樂しい事があるのでした それはお父さまのお船が出る度にめづらしい外國のお土産を買つて來ていただく事を約束する事でした。

今日も次郎さんは、お父さまとお約束をするお土産の事を紙に書きました。それには

「オトウサマ、僕ニ、今度、暖イオ國ニアルオイシイオ菓子ト、果物ヲ買ツテ來テクダサイ。ソレカラ、オモチヤノ、ピストルト、汽車モ買ツテ來テクダサイ。ダケレドモ、僕一番オ父サマニオ願ヒシタイノハ、オ父サマガ、早ク歸ヘツテ來テクダサル事ナノデス。サヨナラ

パパサマヘ　　次郎」

と書いたのです。次郎さんは、その手紙を赤い小さな封筒に入れると、お父さまの洋服のかゝつてゐるお部屋に行つて、服のポケットの中にそれを入れておきました。

歐米　ところどころ……（七）
空より見下したキャンプ地の壯觀

阿左見福馬

少年團國際大會の開かれた英國アローパークの緑の森のふところに平和の夢を結ぶ五萬の健兒、黄、黒、白、茶色さて／＼、何とまあ之は人種の展覧會ではないか。かはす言葉は、ヘイ、イエス ウイ／＼、ヤア／＼等々、日、英、佛、獨ゴシヤ／＼ながら、何と明るい愉快な大集會であつた事だらう。

兒童の作品

算盤

松林小學校六女　江口ルイ

もう始まつてゐる。先生のおごそかな聲が室一ぱいにひゞいてほんとうに靜か、

「五圓五十七錢也、八圓七十六錢也、六圓とびの五錢也……では」

「はい／＼／＼」

皆の手は一齊に上つた。私はうらめしく思ひながら、つゞきを入れてゐた。今のはいくらだつたかな——。不意に、

「六十圓五十錢です」

「よろしい」

「こはさん」

私は吃驚して、算盤をふり、五珠をメチャ／＼にはじいた。

「二十三錢也、二十八錢也、三十九錢也……」

もう始まつてゐる。私はやつとこ／＼入れながら、十四錢入れる時、算盤は九十八錢である。そう／＼十錢を入れると、一圓で「九に一たすの十」だから、先づ四を拂つた、五珠を拂つて四の方はえゝと……考へてゐる間に、もう先生は先をずん／＼おつしやる「一を上げて五を拂ひ十を……」と思つてゐると、先生は、

「……では」

とおつしやる。もうがつかりして顔をあげると、隣のAさんは威勢のよい聲で「ハイ／＼」といつてゐる。間もなくBさんが答へた。

「三圓五十七錢です」

「さうです」

皆は元氣のよい聲であるが、私は上を向く勇氣も出なかつた。

その後、二つ三つして終つた。お道具を手にして教室を出た。歸る途々、厭な思ひをして家へ歸つた。母は居ない。だまりこくつて鞄を投げ出し、早速算盤をし始めた。

「一六五、一六五、一六五」又は「一錢、二錢、三錢、四錢、五錢」

とつぶやきながらしたけれど、どうも思ふ樣に手が動かない。二三回でやめてしまつた。算盤を見つめながらこんな物がなかつたらいゝけれど、誰が發明したのだらう。うらめしいなあ、など思つたりした。けれども、此の間新聞に出た中山さんの「努力」といふ作文のことを思ひ出して「さうだ、しやう、そして上手にならう」ときつと考へ直ほした。一生懸命にしやう、上手になる日を樂しみに。

雪の日

松林小學校二年　小西キヨ

朝おきて見たら 雪がふつてゐて、空は黒くて、風はひどく音をたてゝゐました。家のうちも 雪がお山のやうに つもつてゐます。家の内だけは ストーブがたいてゐて、大そうあたゝかです。とうとう學校へ來る時になりました。オーバを着て お父さんにつれられて學校へ來ようとしたが 電車が來ません。その前の大連タクシーの所に行つて 自どう車をまつてゐても・それもまいりませんでした。そこへ一だいの電車が來ましたから それにのつてすはりました。その電車も雪のために、すこししかうごきませんでした。とうとう學校へ着きました。その時は書方がはじまつてゐました。

豫定を變更して免渡河を出發す
十五日午後三時支那軍に護衞され國際列車の一行

【免渡河十五日發電】國際列車乘員一行十八名は物情騷然たる中に一夜を明かした、東支管理局は哈爾賓より國際列車の免渡河以西への運行は不能であると云つて來たが、免渡河支那軍當局との間に諒解成立し哈爾賓領事館よりの回訓を待たず豫定を變更して日英米佛伊の國旗を揭げ且つ露支兩國語を以つて國際列車と大書し、支那軍の物々しき護衞の下に十五日午後三時免渡河發滿洲里の東方二百六十九基の雅克石に向ふ事となつた雅克石海拉爾間の鐵道は故障がある模樣であるが右は赤露軍恐怖病に罹つてゐる支那軍が露軍の奇襲を恐れ國際列車の海拉爾方面への運行を阻止せんため故意に破壞したらしい、然し一行は鐵道破損の個所は徒步でも目的を貫徹する意氣込みで頗る元氣であるが、支那軍最前線の免渡河以西は

通信聯絡なく

海拉爾に近するに從つて寒氣益々甚だしく、長距離の徒步聯絡は到底不可能と見られてゐる

米、伊の各國々旗を車上に揭げした國際列車は全山白雪に覆はれた興安嶺の嶮を越へ、東北軍の守備堅固な第一線を突破し胡第二軍長の裝甲車を先頭に六時烏諾爾驛着免渡河には七時に到着ここに一泊し、明くればいよいよロシヤ側と國際交渉を開始すこの劇的シーンは感情の高調せる一行にとつていかに興味深きものであるか、曾く行けば十六日海拉爾に入る豫定、興安嶺吹き下しの寒風を受けて平原の裡に生々しい露支交戰の跡に泊れる國際列車のこの一夜は意義深し

布哈圖に到着

【布哈圖特電十五日發】邦人の安否を問ふ國際列車は前進し札蘭屯に於き軍用列車に連結、六時布哈

御經過御順調
東伏見宮大妃殿下の御容體

【東京十五日發電】宮内省發表腸チブスにて御療養中の東伏見宮大妃殿下十五日朝の御容體は左の如くである
十五日午前九時拜診、御體溫三十七度、御脈搏九十六、御呼吸二十六、御氣分宜ろしく御食氣も御昇進遊ばされ、重湯葛湯、牛乳、スープ、果汁、肉汁、鷄卵、ブラン、鷄卵等を御攝取遊され、御經過御順調に拜せらる

免渡河に一夜を明す

【免渡河特電十四日發】日、英、國到着、支那軍事當局は國際列車に神經を尖らしてゐるのでこれより以西の運行は總司令部と交渉中

尼港事件の二の舞ひか
露國側の怪しい態度

【ハルビン特電十五日發】滿洲里における二百有餘名の邦人の狀況については十一月十七日以來日本當局は殆ど確報を手にせず、或ひは尼港、南京事件の如き慘劇が發生してゐるのではないかと疑はるるに至つた、ロシヤ側が田中滿洲里領事の本省に對する報告を電事

生活戰線に活躍する女性の新しい職業
最近の宣傳第一主義時代が生んだビラ撒きに進出

【東京十五日發電】生活戰線に活躍する女性に依つて又新らしい職業進出が完成された、宣傳第一主義時代の生んだ婦人宣傳員が夫である、婦人宣傳と云へば街頭に沙囉と嘲笑を浴びて

行き交ふ人に

ビラを配布するビラ撒きで、小石川水道橋の東京府職業紹介所が彼女等の總元締であるが、目下同所に登錄されてゐる數は三百名に達してゐる之等女性の年齡は十七歲から最高三十歲迄で其の半數は既婚の婦人で占められてゐる、朝の六時から指定された場所で午後五時迄突つ立つて日給は平均一圓五十錢で、成績の好いのには其他に二十錢から五錢の賞與が支給されるが、彼女等の腕の良い手で渡されるビラの數は一日一人四千枚で人夫の千五百乃至二千枚に比し能率頗る上り

其處に女の

新職業が生れた譯である、華客先は出版屋、化粧品店等で相當申込みが多い

雪の拂曉に非常呼集
育成學校で

滿鐵育成學校では十五日午前五時非常呼集を以て全員百三十餘名が寄宿舍前に集合、鈴木教官の引率を以て折柄の吹雪の中を驅足で大連神社に參拜し神官より供物の授與を受け次で忠靈塔に參拜終つて中央公園附近に於て戰鬪教練を行ひ行進喇叭勇ましく歸舍したのは午前八時半であつた

デ盃戰の日本選手
四氏決定す

【東京十五日發電】一九三〇年デビスカップ歐洲ゾーンに派遣の日本選手は、十五日日本庭球協會役員會にて原田武一、太田芳郎、安部民雄、佐藤俵太郎の四氏に決定した

委員會の手に於て握り潰したこと露支交渉の成立するまでこれが滿州を世間に發表されるを恐れるため特に隱蔽してゐるのではないかといはれてゐる

宗匠杖輕やかにお綾さんと散步
病氣ご噂された園公

【興津十五日發電】病氣を傳へられてゐる西園寺公は十四日午後のポカポカと暖かい日和に結城紬の給、鳥打帽子と云ふ輕いいでたちで例の宗匠杖も輕やかに女中頭お綾さんと海岸を散策した記者が御邸を通ずるとお綾さんが公を遮つた
「貴公は何しに來たのかね」と物優しく尋ね
「御病氣だと云ふ事で數日伺つてゐます」
と云ふと
「そんな事はないこの通りだ」
とお綾さんを促して砂路を別邸に歸つた

師走を行く
正月は矢張り島田や丸まげ
今からウエーブの癖直しモガ連の惱み
(15)

不況、緊縮、決算、借財——何も本年に限つた事では無いが年の瀨の慌たゞしさは、誰も彼から火がついた樣に追ひまくられる。紅白彩々の歲暮大賣出のビラ、街頭が商策に朝飯を喰ひ損ねた道化役者の樣な醫商を吹曝してゐる。所謂の巷には豆をいる樣な騷音
◇
のジヤズ、黑の樣な雜沓の間が火花と散る。法廷では辯護士が賃金取立訴訟に口から泡を吹いてゐる年末警戒のオートバイの爆音、サーベルの音。一九二九年の最後の呻だ。——生きたいく、足りないく
◇
古いペンキは剝げた、煤掃きと共に一九三〇年の新しきペンキを塗り替へねばならぬ。さて來るべき三十年の色は百尺竿頭更に一步を進めた次の尖端は？モダンガールの髮の色が赤くなる？雜煮の餅が三角になる？門松の竹が短くなる？だが我々は矢張り三十年のアーストよ、デイにもお餅をくだらう、門松も立てやう。そしてモダンガールは？マツセ

頃今日、猶も果も、市内某髮結さんが油手を揉んでの立話「お正月を控えて此頃毎日五、六人斷

なお客樣が多く忙しくて結構でござんすが、夫が皆若い方樣やお孃樣等の今迄洋髮の黑い髮かけてゐた髮の癖をとつて日本髮を結ひますので、手がかゝつて遣り難くて困ります」
◇
成程、押迫る師走の街頭に一脈の柔かさを醸し出す此の女の丸髷、島田、銀杏返し。
「今から癖をつけておかないとウエーブの跡が仲々消えないのでお正月に結へないのよ」昨日髮でおでこをやけどなさつたお孃さんは斯く仰言います。成程——
「忍ぶれど色に出にけり我が戀は……」香油豐かな島田髷の下に乙女の包ましやかに躍る三十年型の新春も萌らしく明けて來るらしい。

沙河口工場軍終に優勝す
息詰る樣な緊張裡に
州内卓球大會終る

滿洲卓球協會主催本社後援州内卓球選手權大會は夕刊既報の如く十五日常盤小學校講堂に於いて開催されたが、一勝者戰に入るや試合は益々白熱化し殊に中央試驗所B組の吉丸沙河口工場の高橋の激戰は實に天下無敵破竹の勢の戰振を示してゐたが、偶然優勝戰の第一人目に此の

兩雄相見え

る事となり午後六時半より滿場の息づまる樣な緊張裡に戰ひの火蓋を切つたが高橋のフオアーハンド、プレーシング良く極まつて遂に勝ち、沙河口工場は後の試合を棄權して沙河口工場の優勝となり同七時閉戰、終つて沙河口高橋主將に優勝カップは授與されて目出度散會した、一勝者以後の戰績次の如し

一勝者戰

中試B			大商
吉丸	3	0	白
黑岩	0	3	片
佐藤	0	3	喜
栗山	1	3	谷
藤丸	2	3	上
吉丸	3	0	片
吉丸	3	0	喜
吉丸	3	1	谷
吉丸	3	0	上

工場(沙河口)			用度B
林	3	1	田
[illegible]			崎

山本			滿鐵
大川	3	2	菱川
和泉	0	3	中井
田中	0	3	藤村
高橋	3	0	小川
林	3	2	中井
大川	3	0	藤村
峰村	3	0	貫山
河田	0	3	川上
河	3	0	福島
網	3	0	仙頭
安岡	3	0	野間
峰	0	3	川上
河田	3	2	川上
皇	[illegible]		鐵

埠頭			鐵教
岩瀨	3	0	新川
相島	3	0	皆妻
金子	3	0	福川
青木	2	3	本間
二方	1	3	矢川
岩瀨	0	3	本崎
相島	3	0	矢川
相島	3	0	本川

準優勝戰

中試B			埠頭
藤丸	3	0	二方
吉丸	0	2	青木
佐藤	3	0	金子
黑岩	0	3	岩瀨
栗山	0	3	相島
吉丸	3	0	二方
吉丸	3	0	金子

工場			山本
吉丸	3	0	岩瀨
吉丸	3	0	相島
和泉	1	3	河村
林	3	1	安岡
高橋	3	0	峰
大川	0	3	河田
田中	0	3	網
林	3	2	河村
高	3	0	河
林橋	3	2	網田

優勝戰

工場			中試
高橋	3	1	吉丸
大川	0	×	佐藤
和泉	0	×	黑岩
田中	0	×	栗山
林	0	×	藤丸

ニコライ聖堂復興の歡び
莊嚴な聖清式終る

【東京十五日發電】六年振りに復興したニコライ大聖堂の聖清式は十五日午前八時半から盛大に擧行された、大鐘樓の鐘が朗かに復興を讚んで左右に溢れた二千餘の信徒は一齊に禮拜を捧げる、セルギー大司教は不朽體を頭上に揭げ再び新聖堂に歸り之れを法座の上に安置し新讚美歌の中に九時十分終り、次で三時間に亘るカトリツク教の嚴肅なる儀式が續けられ午後二時からは一般の祝賀會に移り田中文相、堀切市長等の祝辭があつた、此の日會衆中には多數の白系露人が異色に包まれて參列してゐたのは人目を惹いた

鏡ケ池で滑り危なく落命
氷の割目に落ち込む
きのふ鏡ケ池の椿事

十六日正午すぎ鏡ケ池で育成學校の一生徒がスケートの練習中未だ結氷充分でない氷が割れて中に落ち込み危ふく一命を失はんとしたが折柄晝休みを利用して散步中の滿鐵々道部經理課の岩尾富忠、前川泰人、武田勳の三氏に救ひ上げられ事なきを得た
大連署保安係にては直ちに市内各學校、大連市役所等に電話して夫々注意を促がした尙保安係

四人組兇賊が夜警と交戰
賊は一名夜警は三名即死
公主嶺の支那商店で

【公主嶺特電十六日發】公主嶺市内市場町三丁目十六號地雜貨商榮方に十五日の午後四時四十分顧客の如く裝つて來店した四人組の兇賊は商品を物色しつゝ家人の隙を窺ふ不審の擧動を細かなく監視してゐた同店の夜警は兇賊であるとを認知するや一賊を射殺したので他の兇賊らは激怒し各自所持のモーゼル拳銃を取り出し發砲亂射の擧を演じ夜警二名を射殺し二名の店員と一名の來客および夜警一名に重傷を負はせた兇賊一名を射殺した夜警の拳銃を奪ひ威嚇發砲をなしつゝ同店の東北方に向け脫走した、この急報に接し警察署は總動員をなし兇賊を追跡嚴探續行中である

星ケ浦西海岸で邦人が縊死
昨日共同便所内で發見
會社員風の青年

十六日午後零時半から星ケ浦西海岸共同便所内に邦人の縊死體あるを公園見廻りの園丁が發見し沙河口署詰派出所に屆出でたので同所の安東巡査は竹澤囑託醫立會ひのもとに檢視を行つたが新調の花色綿縞三ツ揃背廣に縞のワイシヤツを着て同じく新調の輪無し長靴をはき一見年齡廿七、八歲位の會社員風の男であるが懷中には敷島の煙草に萬年筆にて遺書に「不孝の罪は御許し下さい」と記入しその他金側腕時計遞信省の十月十九日附の赤切符と旅行用繪ハガキ等を所持するのみで身元判明すべき物もあまさず徒らに燒却してあるため身元判明せず、體は市役所に引渡したが、傍らに旅行用のステツキ兼用の洋傘が立てかけてあるところより最近内地より來連したものらしいと

運命判斷

紀元節の心理學應用「科學的運命判斷」は實に百發百中、易者顏負けも皆驚嘆！キング新年號の附錄

北大西洋橫斷飛行

【スペイン、セヴイル十四日發電】南米ウルグエー國の和國飛行家ボルジエス氏とフランス人シヤール氏は北大西洋無着陸飛行のため本日午後零時二十五分當地を出發した

十七娘の駈落
大連署に搜査願

福岡縣八幡市前田小谷町二丁目平三長女天神キサヲ(一七)は本年四月頃から同市鯉子町六丁目浦野重勝方に寄寓してゐた宮崎吉來(二〇)と戀愛關係に陷り男の鄕里熊本縣に逃げて行つたが警察の力で一先づ實家に歸つたのも束の間本月十二日午前十時頃再び行方をくらまし男も同時に所在が不明となつたが、男の妹が大連市内某カフエーに女給として働き本人も嘗て大連に來た事があるので或ひは大連に居りはしないかと兩人一緒に寫した寫眞を添へて女の實家から大連署に十六日搜索願が提出された

では目下未だ充分でないから市民一般、御注意、切望し、いと語り市るケート會では十七日より同地に番人を置いて監視せしむると

愛慾の窓（190）

戸川貞雄作
浅枝次朗畫

犧牲（二〇）

実知子の膳をわつしよいく\と擔いで來た連中は、やがて二階にそのまゝ昇つて行つて、殘つた三四人の仲間と談笑してゐた黒田の傍へ彼女の膳を擱り出すやうにして坐らせた。

「……さあ、連れて來たぞ!」

「ようく、似合ひますあ!」

酔つてゐるので、彼等は口々にそんなことを云つて囃し立てた。

「はゝゝゝゝ、馬鹿だな、君たちは!」

と、いつもなら怒る謹嚴な黒田も、喜びの事實なので、明るく笑ひに紛らしながら

「仁科さん!大變な騒ぎだつたんですよ、あなたが見えないといふので……」

といふ。

「まあ……今夜はみなさんよつぽと何うかしてゐらッしやるのね」

と、実知子も微笑した「いつもならゝわたしなんか邪魔もの扱ひのくせに!はゝゝ、でもいゝわ、わたしにも今夜は大變うれしいことがあるのよ!さ、お酌しますわみなさん、何卒、澤山召上つて下さい」

「ようく、その意氣、その意氣!」

「……ところでね、黒田さん!あんたは」と、云ひ出したのは小森と同じ植字工中の古顔の一人だつた「第一ぢやよ、一體、いつまで披露もせんとゐるんぢやね、なあ諸君!今夜は實に目出度いお祝ひぢやで、この機に一つ、黒田さんの結婚披露をかねてやつて貰ひたいものぢやと思ふがどうですかね」

「……賛成々々!」

「異議なし……!」

パチくくと拍手の音。

「冗、冗談いつちやあ困るよ!どうも酔ふとみんな下らん挨拶ばかり云つて困るね」

黒田は、眞赤な顔をして手を振つた。

「僕はかまはんが……仁科さんが迷惑するぜ、そんなつまらんことをいふと」

「あら……わたし、ちつとも迷惑ぢやありませんわ!」

実知子は冗談とも眞面目ともつかぬ調子で云つたが、彼女の眞意を解しかねた黒田の眞面目な、酒落や冗談は許しませんぞ、と云はんばかりの視線を感じると、おぼえず顔色を嚴粛に引き緊めて

「……皆さん!わたし、最近黒田さんの奥さんにして貰ひます!何卒よろしく」

そしてぴよこりとお辞儀をした瞬間、一座シリヤスな沈黙が領した。

黒田は、大きく瞠つた眼で、ぢつと実和子の顔を瞶めた。その眼を、実和子は涙の一杯に溢つた眼で見返した。

「仁科さん!あなたのそのお言葉が眞實なら……僕は有難い、さうして僕は諸君の前で誓ふ、僕は仁科さんを同志の一人として、末長く扶け合つてゆかう!」

黒田は感激に顫へる聲で、極めて眞面目な率直な調子で云つた。

「……さうだく、誰か仲人になつてやれ!」

一人の仲間が叫んだ。

「さうだね……若い小森があれば あの人が仲人になつてくれるかも知れない」

と、黒田がしんみりと云つた。

「おれたちみんなが仲人になつてやるぞ!さうして今夜は引續き披露の宴だ!」

「愉快々々!面白いなあ……」

だが、その時しくく泣きながら源公が戻つて來た。

「……おい、龍吉の兄貴が行つちやつたよ!兄、黒田さんに、どうか姉さんをよろしくつて云つて……そのまゝ何處かへ行つてしまつたんだ……」

「えッ?龍吉君が……」と、黒田は座を立つた「何をお前はぼやくしてゐたんだ!で、何方へ行つた?今から皆で追ッかけてゆきあ大丈夫つかまるんだ!」

「お待ち下さい!お待ち下さい!……龍吉は、何卒そのまゝにしておいて下さい……それがいゝんです!いゝえ、それでいゝんです!わたしにはあの子の氣持がよくわかつてゐます!」

実知子は黒田をはじめ一同をおさへながら、さう涙含んだ聲で喘んだ……。

新刊紹介

◆新家庭日記 味の素本舗發行の料理を中心とした日記で年毎に内容も整備して來た、附錄の各種便覽も鄭重定價一圓東京京橋南傳馬町鈴木商店出版部發行

◆時代（十二月號） 鳥居文學博士及東日の千葉學藝部長の苦心談山室軍平氏其他の傳記談又は夫々の自叙傳が載つて居る（定價五十錢東京講談社發行）

◆無線電話（十一月號） 東京日本橋本石町日本無線電話普及會發行定價五十錢

◆佛蘭西文學（十二月號）東京府井荻町・荻窪郊社發行定價卅錢

◆天皇のプロレタリア（里見岸雄氏著） 著者は序文に於て「國體は資本家や有産階級には有難いであらうが、今夜の米にも困つてゐる無産階級には何の用もない、否むしろ無産者の生活向上を阻むイデオロギーだ」といふ考を根本的に打破して無産階級の唯一の味方としての國體をゑぐり出してみたのが此の一卷の書である」と述べてゐる定價一圓五十錢東京神田今川小路アルス發行

◆トマトの栽培と調理（片山鶴太郎氏著） 定價八十錢東京京橋北紺屋町有誠堂發行

◆作歌問答（窪田空穂氏著） 初心者のために作歌上の疑問に答へたもの、定價八十錢東京本郷森川町紅玉堂書店發行

◆戰友（十二月號） 定價 錢東京牛込原町帝國在郷軍人會本部發行

◆滿蒙（四月誌（第十年第二號） 定價 錢 大連滿鐵事務所研究室發行